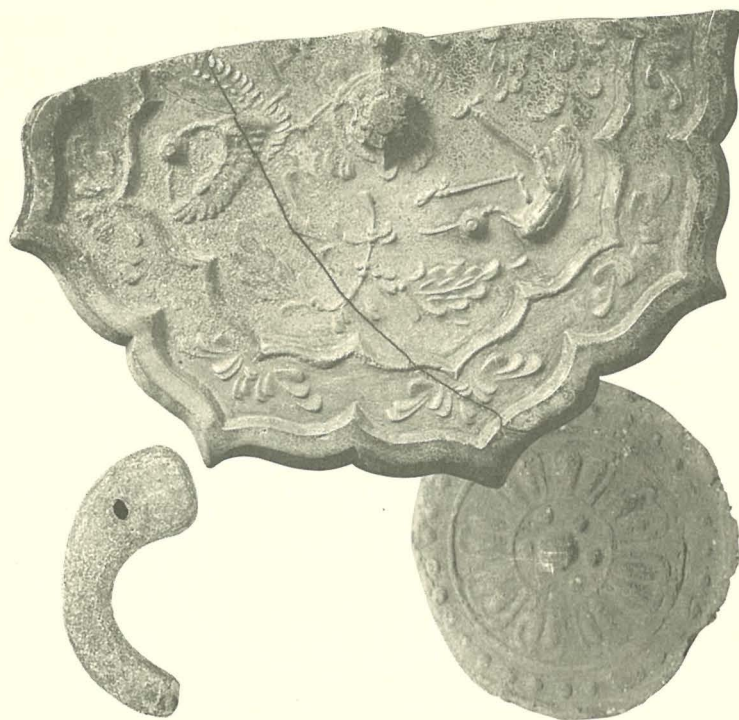


平成19(2007)年度

福岡市埋蔵文化財センター一年報

第27号



2008

福岡市教育委員会

序

アジアの玄関口である福岡市は、古来から対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを物語るように、市内には数多くの遺跡が残されています。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたって増改築を行い、収蔵庫・展示室・研修室・保存処理室などの充実に努めてまいりました。

展示におきましては常設展示のほかに講座に合わせた企画展示や速報コーナーを設けて新しい情報発信に努めています。また、エントランスのプチ展示と称したコーナーでは講座に合わせた遺物展示のほか遊び心をもった展示を心がけ、新しい企画を試みていこうと考えています。

また、平成17年度から小・中学校を中心に、ふるさとを誇りに思う心を育てる教育の一環として、出前授業を始め、平成19年度では81校に出かけていきました。そこでは各校区で実施された遺跡調査の成果をパネルを用いて説明したり、出土遺物を教室に持ち込み児童や生徒に触れさせて古代の人々の生活を体験できるようにしました。今後、積極的に機会を得て外へ出かけ、多くの市民の皆様が、歴史を体験できるように努めていきたいと思ひます。

末尾になりましたが、今後なお一層、当センターをご利用されることをお願い申し上げますとともに、関係各位のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月31日

福岡市教育委員会 教育長 山田 裕嗣

目 次

I 平成19(2007)年度の活動

1. 資料の収蔵・整理	1
2. 保存処理	5
3. 教育普及活動	23
4. 入館者数	34
5. 平成19年度当初予算	34

II 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員	35
2. 施設	35

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	37
--------------------------	----

付2 平成19年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書一覧	裏表紙見返し
----------------------------------	--------

例 言

1. 本書は平成19年度(2007年4月1日～2008年3月31日)の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の作成は、力武卓治、荒牧宏行、瀧本正志、比佐陽一郎、田上勇一郎、片多雅樹が担当した。

※表紙写真は、吉武遺跡群9次出土八稜鏡・銅製勾玉、吉武遺跡群第6次出土軒丸瓦

I 平成19(2007)年度の活動

1. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

昭和44(1969)年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和57(1982)年、福岡市埋蔵文化財センター(以下、センターと呼ぶ)が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は教育委員会文化財部(組織はⅡ-1章参照)で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている。(発掘事業は行っていない)。

発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和60(1985)年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」(『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号1985所収)を策定した。この要項はその後、実状にあわせて細部を改変したが、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、また収蔵された考古資料の活用も年々増加している(Ⅰ-3章参照)。

(2) 平成19年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後に、要項に沿った整理作業を行い搬入・収蔵したもの(埋文課と表記)と、要項策定以前に発掘調査が行われ仮収蔵されていた資料をセンターで要項に沿って整理したうえ収蔵したもの(センターと表記)

とに区分される。

平成19年度までにセンターに本収蔵されたのは1,436遺跡(追収蔵まで含めた収蔵数は1,490件)で、その内訳は登録遺物898,518点、甕棺1,448個、コンテナ93,241箱、ネガフィルム324,683点、スライドフィルム410,719点、図面類147,907枚、写真カード178,979枚となっている(表1)。平成19年度までの市内での発掘調査は2,122件であり、全体の約67%が本収蔵され、検索が可能となった。

平成19年度の本収蔵は、埋文課から搬入・収蔵されたもの101遺跡、センターで収蔵したものの16遺跡のあわせて117遺跡(新規収蔵104遺跡、追収蔵13遺跡)である。主な収蔵品は遺物がコンテナ6,574箱と甕棺69個(コンテナ換算する場合は甕棺1個を12箱とする)、写真類が48,383点、図面類が9,722点、写真カードが11,254枚である(表2)。

出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納している。また写真類は第一記録類収蔵庫、図面類は第二記録類収蔵庫、写真カードは第一資料整理室へ納めた。

(3) 写真デジタル化

収蔵されているポジカラーフィルムには年月の推移とともに退色、劣化が著しいものがある。このため平成12年度より平成19年度まで主に35mmのポジカラーフィルムのデジタル化を進めてきた。その数は1969年度から1995年度までの849件の調査に及ぶ。このデジタル化した写真データはJPEGとTIFF形式でCD-RとDVDに保存した。

平成18年度は昨年度までのデジタル化した写真データの中で特に退色が著しい14遺跡調査の651カットを選別し、色調補正を行った。

平成19年度には26遺跡、1856枚の35mmボジカラーフィルムをデジタル化し、その内の1086枚は色調補正した。

(4) 収蔵遺物写真撮影

増え続ける収蔵遺物について、その活用を図っていくことは今、大きな課題となっている。その課題に対して、バックヤードに収蔵された遺物を少しでも多く公開していくことを目的に平成19年度から収蔵遺物写真撮影と次項(5)の収蔵遺物写真検索システム構築業務を実施した。

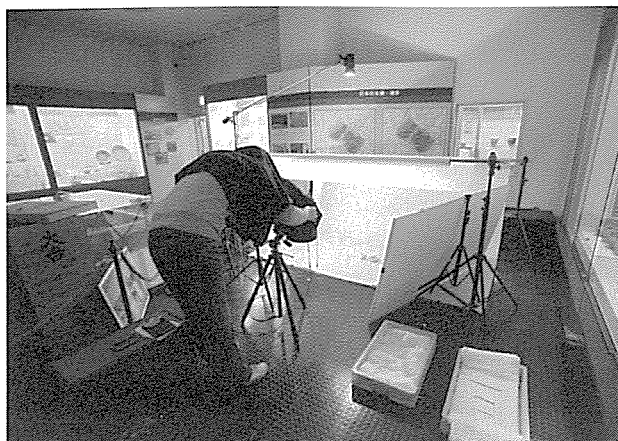
膨大な収蔵遺物のなかで撮影するものは重要な遺物や優品に限られるが、それでも、かなりの量が予想される。そのため、先ずは特に重要な展示遺物や貸し出し件数が多いものから始めていくことにした。

平成19年度は業者委託で第2展示室の遺物をテーマに合わせて集合し、80カットの撮影を行った。撮影は4×5インチカメラで行い、出来上がったカラーリバーサルフィルムをスキャニングし、高精細画像データを作成した。さらにこのマスター用の高精細画像からデータが小さく、扱い易い閲覧用画像を作成した。

各画像データの概要は以下の通り。

	高精細画像	閲覧用画像
解像度	400dpi	150dpi
画像サイズ (pix)	6,614×5,291	1,125×900
ファイル形式	RGB TIFF	RGB JPEG
その他	24bitフルカラー	

これらの資料はアーカイブのほか、図録、学習シート、ホームページ、次項の写真検索システム等に掲載し展示、広報や学習用として活用を図る予定である。

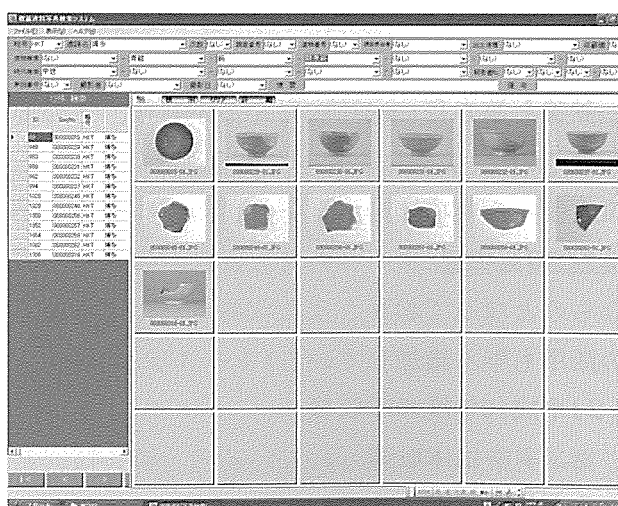


収蔵遺物写真撮影風景

(5) 収蔵資料写真検索システム構築

前項の写真撮影業務と連動して増加していく収蔵遺物の写真データを容易に整理、検索するソフトを開発し、収蔵管理のほか研究、展示、貸し出し、広報等に利用していく計画である。

平成19年度に業者委託して「収蔵資料写真検索システム」のソフトを作成した。入力する写真データはマスター用からデータ量を小さくした閲覧用データを用いる。1個の遺物に対しては概要のほか、俯瞰、側面など切り替えて多方向からの写真情報を添付することができる。検索のために材質、種類、遺跡名、長期貸し出しを含めた収蔵場所など29項目まで入力することができ、絞り込みによって該当するものを選び出していく。



収蔵資料写真検索システム

(6) 図書検索システムの更新

増加していく図書に対し、管理上の項目を増やすなどの更新を業者委託で行った。

表1 本収蔵数一覧(1987～2007年度)

年度	収蔵 区分	新 規 遺跡数	追 加 遺跡数	登録遺物 点数	遺 物		ネガフィルム			ポジフィルム			図 面		写 真 カード
					喪 棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	
1987	埋文課	12	0	8,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0	994	1,223	2,744
	センター	9	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2	427	290	1,630
	年度合計	21	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	16,380	6	1,121	231	7,507	99	4,634	966	63	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	23,081	6	1,989	386	11,066	191	7,540	966	63	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	723	955	1,924
	年度合計	90	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	666	865	1,856
	年度合計	63	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	558	985	1,950
	年度合計	87	6	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	26	308	156	654
	年度合計	58	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	560	427	985
	年度合計	49	1	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	4,715	4,464	12,001
1999	埋文課	109	2	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	1,279	1	366	44	704	0	991	82	0	87	88	455
	年度合計	112	2	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	5,294	4,867	12,130
2000	埋文課	75	5	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	897	299	337
	年度合計	86	5	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	6,966	6,195	13,305
2001	埋文課	44	1	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	3,328	3,969	7,253
2002	埋文課	50	6	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	2,559	3,456	6,964
2003	埋文課	82	3	61,651	66	7,356	755	15,498	665	14,786	6,002	483	3,644	4,436	8,124
	センター	8	0	2,178	16	165	96	2,598	0	1,980	52	0	247	289	1,522
	年度合計	90	3	63,829	82	7,521	851	18,096	665	16,766	6,054	483	3,891	4,725	9,646
2004	埋文課	48	2	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	439	183	1,251
	年度合計	61	2	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	3,148	2,825	6,720
2005	埋文課	70	2	59,235	16	4,276	620	10,065	277	13,796	4,936	133	2,924	3,422	7,092
	センター	24	0	4,208	5	537	385	458	11	4,410	20	6	380	481	859
	年度合計	94	2	63,443	21	4,813	1,005	10,523	288	18,206	4,956	139	3,304	3,903	7,951
2006	埋文課	64	2	44,692	45	4,006	743	10,171	8	15,269	4,936	63	2,965	3,419	6,906
	センター	27	2	3,885	6	632	212	325	359	2,456	0	0	906	545	805
	年度合計	91	4	48,577	51	4,638	955	10,496	367	17,725	4,936	63	3,871	3,964	7,711
2007	埋文課	101	7	66,886	10	5,634	1,089	17,247	0	17,808	8,902	16	5,889	3,220	10,426
	センター	16	6	8,285	59	940	140	879	17	1,970	315	0	333	280	828
	年度合計	117	13	75,171	69	6,574	1,229	18,126	17	19,778	9,217	16	6,222	3,500	11,254
計	埋文課	1,194	38	781,941	1,064	78,588	15,409	254,457	3,539	264,733	77,997	1,674	62,505	62,828	149,249
	センター	235	18	108,488	384	13,599	4,488	39,985	3,071	57,378	3,411	106	10,051	10,803	27,385
	総計	1,429	56	890,429	1,448	92,187	19,897	294,442	6,610	322,111	81,408	1,780	72,556	73,631	176,634

註) 1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行われなかった。

数の単位は遺物喪棺(個)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ、4×5は枚)、図面・写真カード(枚)

表2 平成19(2007)年度本収蔵一覧

収蔵番号	収蔵区分	調査番号	遺跡名	回数	報告書(集)	登録遺物 点数	遺 物 資材数	コンテナ数	ネガフィルム			ポジフィルム		図 面		写真 カード	収蔵日	遺跡数	調査担当者	
									35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構					遺物
200701	埋文蔵	0110	元岡・桑原道跡群	26	963	432		37	19	314		112		64	50	200	4月13日	1	二宮忠司	
200702	埋文蔵	0457	那珂道跡群	105	869	1,047		33	16	372		136		63	72	213	4月18日	1	山崎龍雄	
200703	埋文蔵	0425	那珂道跡群	100	935	148		92	11	323		189	199	43	62	173	4月24日	1	長屋伸	
200704	埋文蔵	0446	住吉神社道跡	1	884	633		40	7	133		108	135	27	74	68	4月24日	1	長屋伸	
200705	埋文蔵	0455	那珂道跡群	103	888	344		18	3	68		54	71	24	33	34	4月24日	1	長屋伸	
200706	埋文蔵	0473	中村町道跡群	3	891	275		17	4	90		66	82	25	21	49	4月24日	1	長屋伸	
200707	埋文蔵	0490	那珂道跡群	108	935	25		1	1	18		13	18	7	5	9	4月24日	1	長屋伸	
200708	埋文蔵	0501	比恵道跡群	98	954	159		5	2	34		28	34	6	17	18	4月24日	1	長屋伸	
200709	埋文蔵	0369	箱崎道跡群	45	451	584		24	4	30		86	30	26	53	25	4月25日	1	吉武孝	
200710	埋文蔵	0422	那珂道跡群	99	887	370		36	8	180		244	142	64	64	102	4月25日	1	吉武孝	
200711	埋文蔵	0452	席田大谷道跡群	7	907	240		16	4	58		87	30	25	31	37	4月25日	1	吉武孝	
200712	埋文蔵	0468	山王道跡群	3	879	393		18	5	87		148	50	19	54	48	4月25日	1	吉武孝	
200713	埋文蔵	0489	井灰B道跡群	24	年報Vol.19	20		1	2	10		35	10	10	1	8	4月25日	1	吉武孝	
200714	埋文蔵	0532	比恵道跡群	102	956	779		78	4	20		92	18	35	75	20	4月25日	1	吉武孝	
200715	埋文蔵	0566	博多道跡群	159	946	1,034		107	5	60		195	60	41	78	41	4月25日	1	吉武孝	
200716	埋文蔵	0458	都地泉本	1	927	2,210		155	15	566		421	477	1,140	52	315	6月1日	1	宮井善朗	
200717	埋文蔵	0511	博多道跡群	152	941	1,009		90	6			94		34	22	12	6月1日	1	中村哲太郎	
200718	埋文蔵	0540	博多道跡群	154	943	104		8	1			10		11	2	2	6月1日	1	中村哲太郎	
200719	埋文蔵	0253	箱崎道跡群	37	951	1,340		52	8	40		92	44	54	40	34	6月1日	1	中村哲太郎	
200720	埋文蔵	0008	福岡城跡(南護国館)	44(18)	733,783	541		256	20	12		479	203	46	18	162	5月29日	1	池崎謙二	
200721	埋文蔵	0109	福岡城跡(南護国館)	47(19)	745,783	1,598		641	24	349		730	325	48	51	216	5月29日	1	池崎謙二	
200722	埋文蔵	0345	福岡橋本道跡群	3	961	831		20	5	18		111	15		59	23	6月13日	1	池田祐司	
200723	埋文蔵	0507	飯氏道跡	10	922	754		8	7	134		136		45	40	82	6月26日	1	田上勇一郎	
200724	埋文蔵	0543	西新道跡群	18	939	437		19	9	169		168	170	42	43	128	6月26日	1	田上勇一郎	
200725	埋文蔵	0568	野井道跡	14	年報Vol.20	9		1	2	28		32	28	9		18	6月26日	1	田上勇一郎	
200726	埋文蔵	0027	井灰B道跡群	17	918	1,322		88	6	44		103	44	76	93	29	7月3日	1	横山邦雄	
200727	埋文蔵	0027	井灰B道跡群	17	918	941		54	7	89		93	91	65	57	46	7月3日	1	横山邦雄	
200728	埋文蔵	0327	下月限C道跡群	9	932	453		9	18	280		291	111	75	22	184	7月13日	1	山崎龍雄	
200729	埋文蔵	0219	下月限C道跡群	8	932	4,062		217	70	1,893		1,455	797	360	317	1,125	7月13日	1	山崎龍雄 荒牧隆行	
200730	埋文蔵	9934	元岡・桑原道跡群	17	861	41		2	9	167		158	167	32	3	101	7月13日	1	松浦一之介	
200731	埋文蔵	0002	元岡・桑原道跡群	21	910	342		10	21	312		362	321	77	41	201	7月13日	1	松浦一之介	
200732	埋文蔵	0322	西新道跡群	16	846	274		44	6	75		141	56	1	22	58	47	7月13日	1	松浦一之介
200733	埋文蔵	0440	羽根戸古墳群N群	9	915	89		7	3	42		78	42	8	18	27	7月13日	1	松浦一之介	
200734	埋文蔵	0441	羽根戸古墳群N群	10	915	208		4	4	60		108	60	13	12	33	7月13日	1	松浦一之介	
200735	埋文蔵	0231	有田道跡群	204	784	3		1	1	2		4		4	1	2	7月13日	1	松浦一之介	
200736	埋文蔵	0417	有田道跡群	210	870	92		2	1	10		27	10	4	9	7	7月13日	1	松浦一之介	
200737	埋文蔵	0466	有田道跡群	215	870	26		1	1	6		9		2	5	4	7月13日	1	松浦一之介	
200738	埋文蔵	0428	有田道跡群	211	871	181		8	2	4		33	4	4	16	5	7月13日	1	松浦一之介	
200739	埋文蔵	0223	箱崎限道跡群	12	793	26		3	1	8		14	8	2	2	6	7月13日	1	松浦一之介	
200740	埋文蔵	0352	徳永古墳群H群	5	913	48		2	8	86		180	98	19	4	65	7月13日	1	松浦一之介	
200741	埋文蔵	0472	田島A道跡群	7	885	171		2	1	10		9	4	15	11	6	7月13日	1	松浦一之介	
200742	埋文蔵	9903	元岡・桑原道跡群	13	861	153		4	1	369		338	349	4	57	13	248	7月13日	1	松浦一之介
200743	埋文蔵	0524	博多道跡群	153	942	320		21	15	108		160	108	17	40	84	7月18日	1	小林義彦	
200744	埋文蔵	9301	有田道跡群	171	870	35		5	2	44		46	30	15	3	24	7月18日	1	小林義彦	
200745	埋文蔵	7953	原東道跡	1	953	195		86	6	147		145	8	72	40	90	7月18日	1	小林義彦	
200746	埋文蔵	0503	福岡城跡	53	960	28		4	2	28		54		6		13	7月31日	1	大塚紀寛	
200747	埋文蔵	0518	コノリ道跡	5	930	56		1	2	10		26		4		8	7月31日	1	大塚紀寛	
200748	埋文蔵	0526	比恵道跡群	101	957	214		17	3	36		70		11	17	24	7月31日	1	大塚紀寛	
200749	埋文蔵	0536	上月限B道跡	2	年報Vol.20	12		3	1	6		16		2	1	5	7月31日	1	大塚紀寛	
200750	埋文蔵	0542	有田道跡群	220	年報Vol.20	13		1	1	10		3		3		6	7月31日	1	大塚紀寛	
200751	埋文蔵	0546	元寇防塁	10	926	51		6	2	20		46		7		14	7月31日	1	大塚紀寛	
200752	埋文蔵	0558	那珂道跡群	111	年報Vol.20	5		2	1	9		32		2	1	8	7月31日	1	大塚紀寛	
200753	埋文蔵	0571	山王道跡群	4	931	499		68	4	60		101		33	37	38	7月31日	1	大塚紀寛	
200754	埋文蔵	9363	福岡城跡	25	969	382		51	5	124		188		16	22	66	7月31日	1	田中寿夫	
200755	埋文蔵	9671	福岡城跡	38	969	830		56	4	40		166		18	27	24	7月31日	1	田中寿夫	
200756	埋文蔵	0249	三宅庵寺	3	827	5		1	3			15		8		4	7月31日	1	田中寿夫	
200757	埋文蔵	0250	三宅庵寺	4	827	17		3	2			13		2	3		7月31日	1	田中寿夫	
200758	埋文蔵	0251	三宅庵寺	5	827	135		14	3			23		8	16	11	7月31日	1	田中寿夫	
200759	埋文蔵	0529	美野A道跡群	16	年報Vol.20	24		1	1	10		13		5	7	6	8月23日	1	荒牧隆行	
200760	埋文蔵	0530	三筑道跡群	9	年報Vol.20	9		1	2	17		35		11	4	10	8月23日	1	荒牧隆行	
200761	センター	8132	博多道跡群	17	118	2											8月23日	1	荒牧隆行	
200762	センター	8324	博多道跡群	20	118	3											9月5日	※1	増寛文化財センター	
200763	センター	8324	博多道跡群	20	118	3											9月5日	※1	増寛文化財センター	
200764	センター	8325	博多道跡群	21	118	18														

2. 保 存 処 理

(1) はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

(2) 出土木製品（有機物）

1) 処理の概要

今年度処理を行ったのは16遺跡628点で、詳細は一覧表の通りである。この内、下月限C遺跡6・7次出土の120点は国庫補助事業によるものである。処理法は資料の形態、材質、劣化度などを考慮し、PEG含浸法を中心に主に3つの処理法を用いている。PEG含浸法は一般的な小型・中型の木製品、糖アルコール含浸法は、PEG含浸法では処理が困難な漆器や墨書の施された木簡類、或いは展示など活用のスケジュールに合わせて短期間での処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEGを100%含浸すると、重くて取り扱いが困難な大型材や変形を来す恐れのある広葉樹芯持ち材というように、資料の種類に応じて使い分けをしている。

2) 処理工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前の写真撮影、処理カードの作成といった共通作業以降、次のような工程で行った。

なお処理後の資料は温湿度管理された特別収蔵庫において保管している。

◆PEG含浸法（379点）

①資料の梱包…不織布で梱包し、メッシュの

コンテナなどに納める。

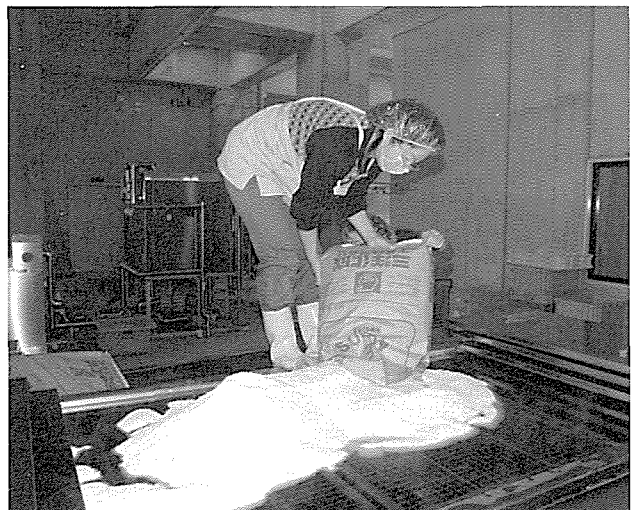
②PEG含浸…専用の含浸装置に梱包した資料を入れ、注水、加熱（60℃）。温度が安定したら初期濃度20%より置換開始。PEGは処理槽の容量から算出した計画表に基づき、日々適量を投入し（写真W-1）、同時に水分蒸発により濃度上昇を図った。濃度は一週間に一度溶液を採取し、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。6月後半に置換を開始し、約7ヶ月後の2月初旬に100%に至り、その後更に数週間含浸。

③取り上げ…溶液から資料を取り出した後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥（PEGの固化）。

④処理後観察…変形、破損の有無を点検し、処理前と比較した上で処理カードに記入。

⑤脱色及び表面処理…湯煎したアルコールによる表面洗浄。

⑥修復（破損資料のみ）…エポシキ系接着剤による折損部の接合、エポシキ系接着剤にマイクロバルーンを混入した材料による、欠損の復元。



写真W-1 PEG投入作業

◆真空凍結乾燥法

①予備凍結…資料を大型凍結乾燥機に入れ、装置を作動。約-60℃下で凍結させる。

②乾燥…資料内の水分が十分に凝結したら、チャンバーを真空にし昇華による乾燥を図る。

◆糖アルコール（ラクチトール）含浸法（86点）

- ①溶液の準備…容器に初期濃度約30%のラクチトール水溶液を作製。恒温乾燥機を80℃に設定し、加熱。
- ②ラクチトール含浸…資料を溶液に浸し、資料が溶液の底に沈むことでその濃度が含浸されたと判断する。蓋をずらして水分蒸発により溶液濃度の上昇を図り、資料が浮いてきたら再度蓋を閉める。80℃での限界濃度（約80%）まで含浸させる。期間は小型資料で10日～2週間。
- ③結晶化…資料を溶液から取り出し、表面を温湯で洗浄後、余分な水分をきれいに拭き取る。表面にラクチトールの粉末をまぶし、ラクチトール結晶（一水和物）を核として結晶化を資料内部まで進め固化させる。資料は50℃に設定した恒温乾燥機に入れるが、この際、温風が資料に直接あたらないように注意する（過乾燥の防止）。結晶化の時間は他施設での実績や経験的なもので判断している（小型資料で1週間～10日）。
- ④洗浄…表面に固着しているラクチトールの結晶を筆や竹串で軽く除去した後、水で洗浄。
- ⑤乾燥…再び50℃の乾燥機で乾燥させる。

◆その他の処理法

木質が完全に腐朽し塗膜のみ残存した状態で取り上げてきた漆器に対して、水溶性のアクリル樹脂（バインダー17）を塗布、強化した（10点）。対して木質の残存状態の良い資料に関しては、ペーパータオルなどで梱包後、暗冷所にて徐々に水分の蒸発を図った（乾燥処理：153点）。

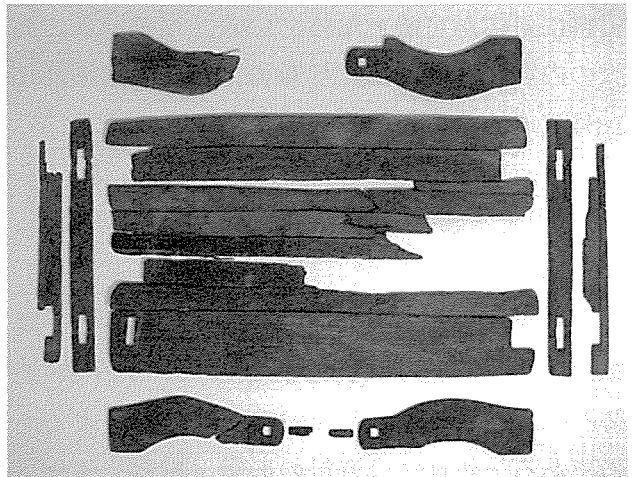
3）処理木製品紹介

今年度処理を行った博多区下月隈C6・7次、西区今宿五郎江遺跡12次の弥生時代後期の木製品を紹介する。

◇組み合わせ式机（案）

福岡市博多区雀居遺跡で組み合わせた状態がわかる案が出土したことで、これまで北部九州

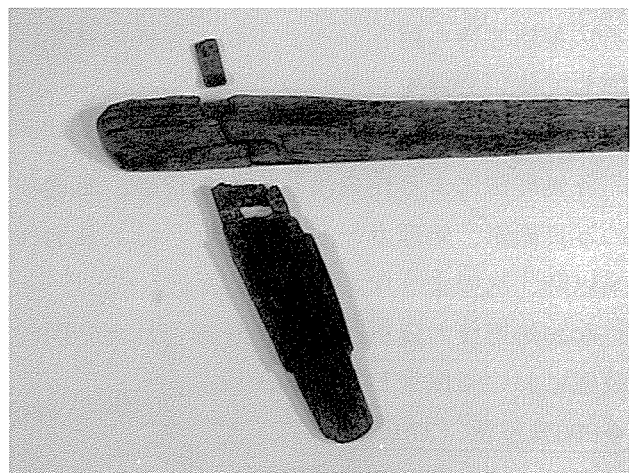
の遺跡で出土していた用途不明木材の用途が判明した。天板に脚を差し込み、棧（押さえ板）で押さえ、鼻栓で固定するもので非常に規格性の高いものである。また、特異な脚の形状も統一されている。福岡市でも西区元岡・桑原、拾六町ツイジ、博多区比恵、那珂君休、下月隈C、久保園遺跡で部材が出土している。そのうち復元できた案は雀居遺跡の2組だけであったが、今宿五郎江遺跡から、8割程度の部材が揃う案が出土した。このほかにも天板や脚の部材があり、複数の案が存在していたことがわかる。



写真W-2 組み合わせ式机（案）

◇斧柄

今宿五郎江遺跡からは多くの鉄斧用の柄が出土した。斧には柄に対して刃が平行する縦斧と、柄に対して刃が直交する横斧があり、どちらの柄も出土しているが縦斧の数が多い。一木でつくったものがほとんどであるが、斧を装着する

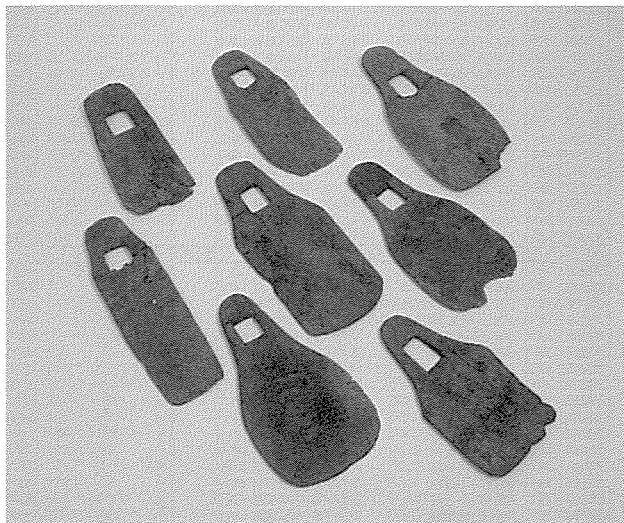


写真W-3 組み合わせ式斧柄

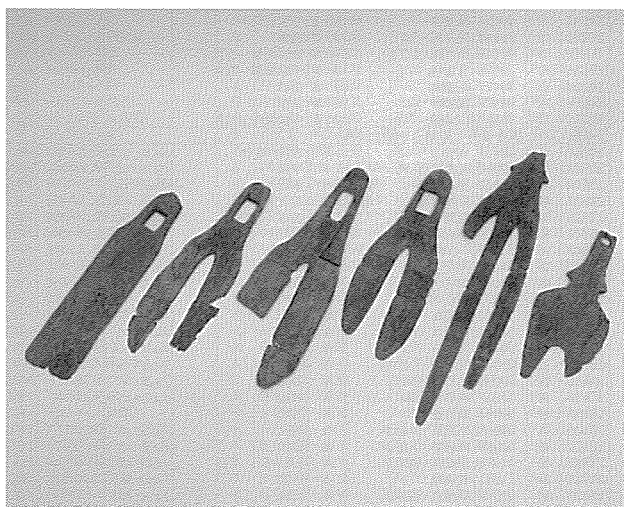
部分と柄の部分を組み合わせるものもある。実際に装着されていたと思われる鉄斧も複数出土しているが、柄の出土数から考えると鉄斧がかなり普及していたと考えられる。

◇鋤

起耕具である鋤は今宿五郎江遺跡、下月隈C遺跡どちらも出土しているが、今宿五郎江は平鋤が多く、下月隈Cは又鋤が多い。水田開発の進行度の違いがあらわれているのであろう。



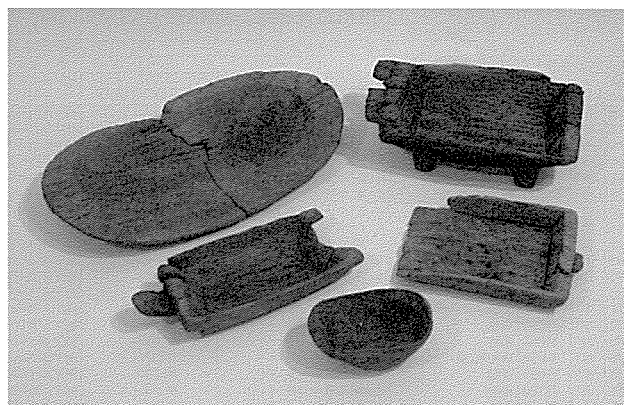
写真W-4 今宿五郎江遺跡出土鋤



写真W-5 下月隈C遺跡出土鋤

◇容器

今宿五郎江遺跡では形や大きさが様々な木製容器が出土している。容器は作り方により刳物・挽物・指物・曲物などに分類されるが、今宿五郎江遺跡ではほとんどが刳物容器である。多くの物が厚手で素朴なつくりで、外面に樹皮を残したままのものもある。



写真W-6 容器

◇履物（沓）

板を削りぬいて作った履き物が今宿五郎江遺跡で出土している。博多区那珂君休遺跡3次（久平）や那珂君休遺跡7次で出土したものと似ているが裏側は平底で滑り止めの突起や溝はない。



写真W-7 履物

◇不明木製品

カーリングストーンのような木製品が今宿五郎江遺跡から出土している。用途不明で今のところ塗鏝や地盤を叩き締める道具などを想定している。



写真W-8 不明木製品

平成19(2007)年度保存処理木製品一覧

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
博多23次(調査番号:8509 市報148集)								
24275	市	257	櫛	木	15~17C前半	—	—	糖アルコール
博多38次(調査番号:8805 市報280集)								
24365	市	397	漆器	木・漆	近世(17C)	—	—	糖アルコール
博多40次(調査番号:8833 市報230集)								
24223	市	30607	漆皿	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24224	市	30608	漆小鉢	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24225	市	30616	漆皿	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24226	市	30618	漆小鉢(杯)	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24261	市	30620	漆碗	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24262	市	30810	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24227	市	30811	漆器片	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24228	市	30812	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24229	市	30813	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24269	市	30818	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24270	市	30821	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24263	市	31074	漆器碗	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24271	市	31086	漆碗	木・漆	中世(15C)	—	—	糖アルコール
24264	市	31090	漆碗	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24265	市	31091	漆碗	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24266	市	31094	漆塗板(漆・バケ)	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24230	市	31095	漆碗	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24231	市	31109	漆碗	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24267	市	31117	漆碗	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24272	市	31168	漆器	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
24232	市	31175	漆碗	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24257	市	31201	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24233	市	31202	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24273	市	31203	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24274	市	31204	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24258	市	31205	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24259	市	31206	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24268	市	31207	漆器片	木・漆	中世	—	—	糖アルコール
24260	市	31211	漆器片	木・漆	中世(14C)	—	—	糖アルコール
天神森2次(調査番号:9352 市報456集)								
24287	市	40001	杓文字	木	中世(14C後半~15C前半)	—	—	糖アルコール
24285	市	40002	曲物底板	木	中世(14C後半~15C前半)	—	—	糖アルコール
24286	市	40003	曲物底板	木	中世(14C後半~15C前半)	—	—	糖アルコール
博多89次(調査番号:9505 市報556集)								
24276	市	30004	漆器蓋(桶蓋)	木・漆	近世(17C中頃~18C前半)	Fig.87-116	PL.93-116	糖アルコール
24299	市	31014	漆碗	木・漆	近世(17C中頃~18C前半)	—	—	糖アルコール
24300	市	31015	漆器	木・漆	近世(17C中頃~18C前半)	—	—	糖アルコール
24301	市	31016	漆器	木・漆	近世(17C中頃~18C前半)	—	—	糖アルコール
24288	市	31017	漆器	木・漆	近世(17C中頃~18C前半)	—	—	糖アルコール
24289	市	31107	櫛	木	近世(17C中頃~18C前半)	—	—	糖アルコール
24277	市	31128	漆碗?	木・漆	中世末~近世	—	—	糖アルコール
24298	市	31161	櫛	木・漆	中世末~近世	—	—	糖アルコール
博多96次(調査番号:9559 市報605集)								
24290	市	30012	漆器皿	木・漆	中世(15~16C)	Fig.72-139	—	糖アルコール
24302	市	30013	漆器碗	木・漆	中世(15~16C)	Fig.72-135	PL.73-135	糖アルコール
24291	市	30015	漆器碗	木・漆	中世(15~16C)	Fig.72-133	—	糖アルコール
24278	市	30016	漆器碗	木・漆	中世(15~16C)	Fig.72-137	—	糖アルコール
24303	市	30019	漆板、何かの箱?	木・漆	近世	Fig.23-43	PL.24-43	糖アルコール
24366	市	30020	漆塗塗り蓋	木・漆	近世	Fig.23-44	PL.24-44	糖アルコール
24367	市	30032	漆器未塗り櫛	木・漆	近世	Fig.95-170	PL.96-170	糖アルコール
24279	市	30039	漆器皿	木・漆	近世	Fig.95-166	—	糖アルコール
24280	市	30046	漆器櫛小片	木・漆	近世	Fig.95-173	—	糖アルコール
24281	市	30052	漆器碗	木・漆	近世	Fig.95-169	—	糖アルコール
24282	市	30055	漆器小櫛	木・漆	近世	Fig.140-308	—	糖アルコール
24283	市	30060	漆器碗	木・漆	近世	Fig.140-307	—	糖アルコール
24304	市	30061	漆器小櫛	木・漆	近世	Fig.140-309	—	糖アルコール
24292	市	30067	漆器碗	木・漆	近世	Fig.95-164	—	糖アルコール
24293	市	31285	漆器片	木・漆	中世~近世	—	—	糖アルコール
24294	市	31287	漆器片	木・漆	中世~近世	—	—	糖アルコール
24284	市	31288	漆器片	木・漆	中世~近世	—	—	糖アルコール
24305	市	31290	漆碗	木・漆	中世~近世	—	—	糖アルコール
下月限C4次(調査番号:9828 市報750集)								
24190	市	30209	盾	木	弥生中期~古墳初期	—	PL.130	PEG(3m槽)
那珂73次(調査番号:9948 市報713集)								
23710	市	10001	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.55	Ph.94	乾燥処理
23711	市	10002	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.54	Ph.90	乾燥処理
23712	市	10003	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.54	Ph.90	乾燥処理
23713	市	10004	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.56	—	乾燥処理
23714	市	10005	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.56	—	乾燥処理
23715	市	10007	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.57	—	乾燥処理
23716	市	10008	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	Ph.93	乾燥処理
23717	市	10009	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	Ph.93	乾燥処理
23718	市	10010	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	Ph.92	乾燥処理
23719	市	10011	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	Ph.93	乾燥処理
23720	市	10012	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	—	乾燥処理
23721	市	10013	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	—	乾燥処理
23722	市	10014	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.58	Ph.91	乾燥処理
23723	市	10015	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.59	—	乾燥処理
23724	市	10016	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.59	—	乾燥処理
23725	市	10017	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.59	Ph.94	乾燥処理
23726	市	10018	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.59	—	乾燥処理
23727	市	10019	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.60	—	乾燥処理
23728	市	10020	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.60	—	乾燥処理
23729	市	10021	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.60	Ph.94	乾燥処理
23730	市	10022	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.60	—	乾燥処理
23731	市	10023	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.60	—	乾燥処理
23732	市	10024	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.60	—	乾燥処理
23733	市	10025	井戸枳材	木	13C後半~末頃	Fig.57	—	乾燥処理
23734	市	10026	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	Ph.90	乾燥処理
23735	市	10028	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23736	市	10029	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	Ph.93	乾燥処理
23737	市	10030	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23738	市	10031	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23739	市	10032	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	Ph.93	乾燥処理
23740	市	10033	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23741	市	10034	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23742	市	10035	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	Ph.94	乾燥処理
23743	市	10036	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	Ph.94	乾燥処理
23744	市	10037	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23745	市	10038	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23746	市	10039	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23747	市	10040	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	Ph.95	乾燥処理
23748	市	10041	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23749	市	10042	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23750	市	10043	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23751	市	10044	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23752	市	10045	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23753	市	10046	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23754	市	10047	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23755	市	10048	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23756	市	10049	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23757	市	10050	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23758	市	10051	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23759	市	10052	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理
23760	市	10053	井戸枳材	木	13C後半~末頃	—	—	乾燥処理

処理番号	区分	遺物番号	資 料 名	材質	時 代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
23761	市	10054	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23762	市	10056	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23763	市	10058	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23764	市	10059	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23765	市	10060	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23766	市	10061	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23767	市	10062	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23768	市	10063	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23769	市	10064	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23770	市	10065	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23771	市	10066	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23772	市	10067	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23773	市	10068	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23774	市	10069	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23775	市	10070	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23776	市	10071	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23777	市	10072	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23778	市	10073	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23779	市	10074	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23780	市	10075	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23781	市	10076	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23782	市	10077	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23783	市	10078	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23784	市	10079	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23785	市	10080	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23786	市	10081	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23787	市	10082	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23788	市	10083	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23789	市	10084	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23790	市	10085	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23791	市	10086	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23792	市	10087	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23793	市	10088	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23794	市	10089	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23795	市	10090	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23796	市	10091	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23797	市	10092	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23798	市	10095	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23799	市	10096	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23800	市	10097	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
23801	市	10098	井戸枳材	木	13C後半～末頃	—	—	乾燥処理
博多124次(調査番号:0006 市報758集)								
24253	市	30036	漆碗	木・漆	近世	Fig.98～965	Ph.119～965	糖アルコール
24295	市	30084	人形	木・漆	中世	Fig.101～1035	—	糖アルコール
24296	市	30134	加工部材(銅金具付)	木・銅	近世(19C)	Fig.101～1048	—	糖アルコール
24297	市	30135	加工部材(銅金具付)	木・銅	近世(19C)	Fig.101～1047	—	糖アルコール
24254	市	30141	漆碗	木・漆	中世後期～近世	Fig.98～990	—	糖アルコール
24245	市	31031	漆塗碗	木・漆	近世(18～19C)	—	—	糖アルコール
24246	市	31032	漆塗碗	木・漆	近世	—	—	糖アルコール
24242	市	31034	漆塗碗	木・漆	近世(18～19C)	—	—	乾燥処理
24255	市	31035	漆塗碗	木・漆	近世(17C)	—	—	糖アルコール
24234	市	31049	漆塗碗	木・漆	近世	—	—	糖アルコール
24218	市	31060	漆塗碗	木・漆	近世(18C)	—	—	糖アルコール
24219	市	31061	漆塗碗	木・漆	近世(18C)	—	—	糖アルコール
24235	市	31111	漆塗碗	木・漆	中世(15C前半)	—	—	糖アルコール
24236	市	31112	漆塗碗	木・漆	中世(15C前半)	—	—	糖アルコール
24237	市	31224	漆塗碗	木・漆	中世後期～近世	—	—	糖アルコール
24238	市	31259	漆塗碗	木・漆	中世後期～近世	—	—	糖アルコール
24243	市	31398	漆塗碗	木・漆	中世後期～近世	—	—	乾燥処理
24247	市	31400	漆塗碗	木・漆	中世(16C)	—	—	糖アルコール
24248	市	31401	漆塗碗	木・漆	中世(16C)	—	—	糖アルコール
24239	市	31402	漆塗碗	木・漆	中世(16C)	—	—	糖アルコール
24240	市	31405	漆塗碗	木・漆	中世(16C)	—	—	糖アルコール
24241	市	31406	漆塗碗	木・漆	中世(16C)	—	—	糖アルコール
24249	市	31444	漆塗碗(土ご)	木・漆	近世	—	—	糖アルコール
24220	市	31449	漆塗碗(土ご)	木・漆	中世後期～近世	—	—	糖アルコール
24250	市	31473	漆塗碗	木・漆	中世後期～近世	—	—	糖アルコール
24244	市	31477	漆塗碗	木・漆	近世	—	—	乾燥処理
24256	市	31479	漆塗碗	木・漆	近世	—	—	糖アルコール
24251	市	31480	漆塗碗	木・漆	中世後期～近世	—	—	糖アルコール
下月隈 C6次(調査番号:0018 市報839集)								
23802	補	50001	銅製	木	古代～中世	Fig.26～w38	PL.71～w38	PEG(3m槽)
23803	補	50066	男根状(陽物)	木	中世	Fig.26～w41	PL.72～w41	PEG(3m槽)
23804	補	50072	通簾下駄	木	古代	Fig.26～w42	—	PEG(3m槽)
23805	補	51001	挽物杵・音車	木	古代	Fig.46～w39	PL.78～w39	PEG(3m槽)
23806	補	51004	銅鑊	木	古墳	Fig.46～w38	PL.78～w38	PEG(3m槽)
23807	補	51009	祭祀具・音車	木	古墳	Fig.40～w9	PL.76～w9	PEG(3m槽)
23808	補	51012	へうた	木	古代	Fig.40～w13	PL.76～w13	PEG(3m槽)
23809	補	51016	串杖	木	古代	Fig.40～w12	PL.76～w12	PEG(3m槽)
23810	補	51017	串杖	木	古代	Fig.40～w11	PL.76～w11	PEG(3m槽)
23811	補	51022	荷札・木簡	木	古代	Fig.40～w10	PL.76～w10	PEG(3m槽)
23812	補	51033	祭祀具・人形	木	古代	Fig.39～w1	—	PEG(3m槽)
23813	補	51041	祭祀具・音車	木	古代	Fig.39～w4	PL.76～w4	PEG(3m槽)
23814	補	51042	下駄	木	古代	Fig.40～w14	—	PEG(3m槽)
23815	補	51043	弓	木	古代	Fig.39～w5	PL.76～w5	PEG(3m槽)
23816	補	51056	馬形(馬形か)	木	古代	Fig.39～w7	PL.76～w7	PEG(3m槽)
23817	補	51067	鋳形木製品	木	古代	Fig.39～w6	PL.76～w6	PEG(3m槽)
23818	補	51065	曲物蓋板?	木	古代	—	—	PEG(3m槽)
23819	補	51068	祭祀具・人形か	木	古代	Fig.39～w2	—	PEG(3m槽)
23820	補	51069	祭祀具・人形か	木	古代	Fig.39～w3	—	PEG(3m槽)
23821	補	51070	祭祀具・音車か	木	古代	Fig.39～w6	—	PEG(3m槽)
23822	補	51081	挽物杵	木	古代	Fig.40～w15	PL.77～w15	PEG(3m槽)
23823	補	51092	祭祀具・音車か	木	古代	Fig.44～w32	—	PEG(3m槽)
23824	補	51095	祭祀具	木	古代	Fig.44～w33	—	PEG(3m槽)
23825	補	51097	祭祀具・人形	木	古代	Fig.44～w31	PL.78～w31	PEG(3m槽)
23826	補	52001	二又鍬	木	古墳	Fig.53～w1	—	PEG(3m槽)
23827	補	53004	平鍬	木	弥生前期初頃～古墳前期	Fig.99～w45	PL.96～w45	PEG(3m槽)
23828	補	53019	文職	木	弥生前期初頃～古墳前期	Fig.119～w39	—	PEG(3m槽)
23829	補	53020	鳳凰肌片	木	弥生前期初頃～古墳前期	Fig.119～w60	—	PEG(3m槽)
23830	補	53028	～嵐状	木	弥生前期初頃～古墳前期	Fig.167～w64	—	PEG(3m槽)
23831	補	53032	文職	木	弥生前期初頃～古墳前期	Fig.167～w66	—	PEG(3m槽)
23832	補	53122	木器	木	弥生前期初頃～古墳前期	Fig.170～w69	PL.104～w69	PEG(3m槽)
立花寺5次(調査番号:0050 市報779集)								
24306	市	30027	板材	木	12C中頃～13C前半	—	—	乾燥処理
24307	市	30045	井筒2段目-1	木	12C中頃～13C前半	—	—	乾燥処理
24308	市	30046	井筒2段目-2	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24309	市	30047	井筒2段目-3	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24310	市	30048	井筒2段目-4	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24311	市	30049	井筒2段目-5	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24312	市	30050	井筒2段目-6	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24313	市	30051	井筒2段目-7	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24314	市	30052	井筒2段目-8	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24315	市	30053	井筒2段目-9	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24316	市	30054	井筒2段目-10	木	12C中頃～13C前半	第8図～16	—	乾燥処理
24317	市	30055	井筒2段目-11	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24318	市	30056	井筒2段目-12	木	12C中頃～13C前半	第8図～17	—	乾燥処理
24319	市	30057	井筒2段目-13	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24320	市	30058	井筒2段目-14	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24321	市	30059	井筒2段目-15	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24322	市	30060	井筒2段目-16	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
24323	市	30061	井筒2段目-17	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24324	市	30062	井筒2段目-18	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24325	市	30063	井筒3段目-1	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24326	市	30064	井筒3段目-2	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24327	市	30065	井筒3段目-3	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24328	市	30066	井筒3段目-4	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24329	市	30067	井筒3段目-5	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24330	市	30068	井筒3段目-6	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24331	市	30069	井筒3段目-7	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24332	市	30070	井筒3段目-8	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24333	市	30071	井筒3段目-9	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24334	市	30072	井筒3段目-10	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24335	市	30073	井筒3段目-11	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24336	市	30074	井筒3段目-12	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24337	市	30075	井筒3段目-13	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24338	市	30076	井筒3段目-14	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24339	市	30077	井筒3段目-15	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24340	市	30078	井筒3段目-16	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24341	市	30079	井筒3段目-17	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24342	市	30080	井筒3段目-18	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24343	市	30083	2段目板材 C	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24344	市	30114	井筒1段目-1	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24345	市	30115	井筒1段目-2	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24346	市	30116	井筒1段目-3	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24347	市	30117	井筒1段目-4	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24348	市	30118	井筒1段目-5	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24349	市	30119	井筒1段目-6	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24350	市	30120	井筒1段目-7	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24351	市	30121	井筒1段目-8	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24352	市	30122	井筒1段目-9	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24353	市	30123	井筒1段目-10	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24354	市	30124	井筒1段目-11	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24355	市	30125	井筒1段目-12	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24356	市	30126	井筒1段目-13	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24357	市	30127	井筒1段目-14	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24358	市	30128	井筒1段目-15	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24359	市	30129	井筒1段目-16	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24360	市	30130	井筒1段目-17	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24361	市	30131	井筒1段目-18	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24362	市	30132	井筒1段目-19	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
24363	市	30133	井筒1段目-20	木	12C中頃～13C前半	(第6図)	—	乾燥処理
下月陳 C7次 (調査番号:0115 市報881集)								
23833	補	90005	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w5	PL.74-w5	PEG (3m槽)
23834	補	90013	杓文字か	木	古代末～中世後期	Fig.17-w15	PL.74-w15	PEG (3m槽)
23835	補	90014	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w6	PL.74-w6	PEG (3m槽)
23836	補	90015	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w8	PL.74-w8	PEG (3m槽)
23837	補	90016	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w10	PL.74-w10	PEG (3m槽)
23838	補	90017	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w9	PL.74-w9	PEG (3m槽)
23839	補	90018	杓文字の一部か	木	古代末～中世後期	Fig.17-w20	PL.75-w20	PEG (3m槽)
23840	補	90019	草履芯	木	古代末～中世後期	Fig.17-w14	PL.74-w14	PEG (3m槽)
23841	補	90023	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w13	—	PEG (3m槽)
23842	補	90024	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w12	—	PEG (3m槽)
23843	補	90025	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w11	—	PEG (3m槽)
23844	補	90026	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.16-w7	PL.74-w7	PEG (3m槽)
23845	補	90027	祭祀具・斎串	木	古代末～中世後期	Fig.17-w22	PL.75-w22	PEG (3m槽)
23846	補	90031	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w35	PL.75-w35	PEG (3m槽)
23847	補	90033	草履芯	木	古代末～中世後期	Fig.20-w33	PL.76-w33	PEG (3m槽)
23848	補	90034	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w36	PL.75-w36	PEG (3m槽)
23849	補	90035	工具・木槌	木	古代末～中世後期	Fig.21-w42	PL.77-w42	PEG (3m槽)
23850	補	90036	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w37	PL.75-w37	PEG (3m槽)
23851	補	90037	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w34	PL.75-w34	PEG (3m槽)
23852	補	90038	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w39	PL.75-w39	PEG (3m槽)
23853	補	90039	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w41	PL.75-w41	PEG (3m槽)
23854	補	90040	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w40	PL.75-w40	PEG (3m槽)
23855	補	90041	曲物底板	木	古代末～中世後期	Fig.20-w29	PL.76-w29	PEG (3m槽)
23856	補	90042	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w38	PL.75-w38	PEG (3m槽)
23857	補	90044	簾か	木	古代末～中世後期	Fig.20-w31	PL.76-w31	PEG (3m槽)
23858	補	90048	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.21-w43	PL.77-w43	PEG (3m槽)
23859	補	90049	草履芯	木	古代末～中世後期	Fig.21-w44	PL.77-w44	PEG (3m槽)
23860	補	90050	曲物底板	木	古代末～中世後期	Fig.23-w48	PL.77-w48	PEG (3m槽)
23861	補	90051	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.23-w49	PL.77-w49	PEG (3m槽)
23862	補	90052	下駄	木	古代末～中世後期	Fig.23-w50	PL.77-w50	PEG (3m槽)
23863	補	90054	竪柱	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.50-w18	PL.84-w18	PEG (3m槽)
23864	補	90056	ナシ型二又鍔	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.60-w19	PL.85-w19	PEG (3m槽)
23865	補	90060	祭祀具・斎串	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.34-w8	PL.81-w8	PEG (3m槽)
23866	補	90068	織機か	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.44-w12	PL.83-w12	PEG (3m槽)
23867	補	90070	農具の柄	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.60-w20	PL.85-w20	PEG (3m槽)
23868	補	90071	板葺	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.61-w22	PL.85-w22	PEG (3m槽)
23869	補	90072	銅鍔	木	古墳後期(8C後半)～奈良(8C後半)	Fig.61-w23	PL.85-w23	PEG (3m槽)
23870	補	90078	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w6	—	PEG (3m槽)
23871	補	90081	鋤	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w12	—	PEG (3m槽)
23872	補	90082	鍬打具か	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w18	—	PEG (3m槽)
23873	補	90083	鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w1	PL.94-w1	PEG (3m槽)
23874	補	90089	鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w7	PL.94-w7	PEG (3m槽)
23875	補	90090	泥除けか	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w17	PL.94-w17	PEG (3m槽)
23876	補	90091	鍬打具	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w19	PL.94-w19	PEG (3m槽)
23877	補	90092	平鍬か	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w14	—	PEG (3m槽)
23878	補	90094	三又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w8	PL.94-w8	PEG (3m槽)
23879	補	90095	鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.80-w22	PL.94-w22	PEG (3m槽)
23880	補	90097	鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w13	—	PEG (3m槽)
23881	補	90098	鍬か	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w9	—	PEG (3m槽)
23882	補	90099	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w5	—	PEG (3m槽)
23883	補	90102	三又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w10	PL.94-w10	PEG (3m槽)
23884	補	90105	柄	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w16	PL.94-w16	PEG (3m槽)
23885	補	90107	容器(皿か)	木	弥生前期～古墳	Fig.80-w20	PL.94-w20	PEG (3m槽)
23886	補	90108	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w3	PL.94-w3	PEG (3m槽)
23887	補	90109	又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w2	PL.94-w2	PEG (3m槽)
23888	補	90110	櫛子	木	弥生前期～古墳	Fig.80-w24	PL.95-w24	PEG (3m槽)
23889	補	90116	ナシ型平鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.79-w11	PL.94-w11	PEG (3m槽)
23890	補	90118	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.78-w4	PL.94-w4	PEG (3m槽)
23891	補	90119	脚付容器	木	弥生前期～古墳	Fig.80-w21	PL.95-w21	PEG (3m槽)
23892	補	90120	平鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.95-w43	PL.95-w43	PEG (3m槽)
23893	補	90121	容器	木	弥生前期～古墳	Fig.95-w44	PL.95-w44	PEG (3m槽)
23894	補	90124	紡錘車	木	弥生前期～古墳	Fig.95-w45	PL.96-w45	PEG (3m槽)
23895	補	90125	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.96-w49	PL.95-w49	PEG (3m槽)
23896	補	90126	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.96-w47	—	PEG (3m槽)
23897	補	90127	把手付容器	木	弥生前期～古墳	Fig.96-w48	PL.96-w48	PEG (3m槽)
23898	補	90129	三又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.95-w46	PL.95-w46	PEG (3m槽)
23899	補	90131	三又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.96-w50	PL.95-w50	PEG (3m槽)
23900	補	90134	農耕具	木	弥生前期～古墳	Fig.84-w37	—	PEG (3m槽)
23901	補	90136	えぶり	木	弥生前期～古墳	Fig.84-w41	—	PEG (3m槽)
23902	補	90138	二又鍔	木	弥生前期～古墳	Fig.97-w52	PL.96-w52	PEG (3m槽)
23903	補	90139	紡錘車	木	弥生前期～古墳	Fig.97-w51	PL.96-w51	PEG (3m槽)
23904	補	90142	杓子型	木	弥生前期～古墳	Fig.99-w55	PL.96-w55	PEG (3m槽)
23905	補	90149	平鍬未製品	木	弥生前期～古墳	Fig.97-w60	PL.96-w60	PEG (3m槽)
23906	補	90150	平鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.97-w39	PL.96-w39	PEG (3m槽)
23907	補	90151	泥除け	木	弥生前期～古墳	Fig.99-w63	PL.96-w63	PEG (3m槽)
23908	補	90152	泥除け	木	弥生前期～古墳	Fig.99-w62	PL.96-w62	PEG (3m槽)
23909	補	90153	鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.97-w61	PL.96-w61	PEG (3m槽)
23910	補	90155	鍬	木	弥生前期～古墳	Fig.97-w57	PL.96-w57	PEG (3m槽)

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
23911	補	90158	不明	木	弥生前期～古墳	Fig.99-w65	—	PEG (3m槽)
23912	補	90159	不明	木	弥生前期～古墳	Fig.99-w66	—	PEG (3m槽)
23913	補	90185	祭祀具・人形	木	古代	Fig.146-w1	PL.114-w1	PEG (3m槽)
23914	補	90196	祭祀具・斎串か	木	古代	Fig.146-w11	PL.114-w11	PEG (3m槽)
23915	補	90197	不明	木	古代	Fig.149-w12	—	PEG (3m槽)
23916	補	90207	祭祀具・人形	木	古代	Fig.149-w9	PL.114-w9	PEG (3m槽)
23917	補	90210	祭祀具・斎串か	木	古代	Fig.156-w29	PL.115-w29	PEG (3m槽)
23918	補	90211	祭祀具・角形	木	古代	Fig.156-w25	PL.115-w25	PEG (3m槽)
23919	補	90218	下駄	木	古代	Fig.156-w26	—	PEG (3m槽)
23920	補	90227	紡織具・部材	木	古代	Fig.149-w14	PL.115-w14	PEG (3m槽)
23921	補	90228	紡織具・部材	木	古代	Fig.149-w13	PL.115-w13	PEG (3m槽)
今宿五郎江9次 (調査番号:0255 市報924集)								
24364	市	971	漆(赤色顔料)	木	弥生後期	—	—	糖アルコール
福岡城址50 (海運館跡21)次 (調査番号:0309 市報875集)								
24222	市	22074	漆木	木	古代(8世紀前半)	—	—	糖アルコール
24221	市	22077	漆木	木	古代(8世紀前半)	—	—	糖アルコール
博多161次 (調査番号:0572 未報告)								
24202	市	漆塗機	木・漆	—	—	—	—	バインダー-17

処理番号	区分	遺物番号	資 料 名	材質	時 代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
24007	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24008	市		掘棒?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24009	市		斧柄頭	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24010	市		柄(鋸)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24011	市		掘棒?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24012	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24013	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24014	市		織具か?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24015	市		板材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24016	市		アカカキ(鹿取り状)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24017	市		竪杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24018	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24019	市		案脚	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24020	市		案棧	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24021	市		案鼻栓	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24022	市		竪杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24023	市		作業台	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24024	市		板材(円形)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24025	市		棒状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24026	市		棒状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24027	市		棒状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24028	市		工具?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24029	市		建築部材(部分)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24030	市		貝掘り具?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24031	市		しゃもじ形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24032	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24033	市		鉄斧柄頭	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24034	市		横杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24035	市		容器	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24036	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24037	市		掘棒?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24038	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24039	市		棒状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24040	市		三又鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24041	市		板材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24042	市		三又鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24043	市		一木鋤	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24044	市		棒状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24045	市		横杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24046	市		ひしゃく形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24047	市		竪杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24048	市		鋸	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24049	市		部材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24050	市		土器蓋(ワチワ型)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24051	市		土器蓋(ワチワ型)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24052	市		容器蓋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24053	市		把手	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24054	市		板材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24055	市		板材(円形)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24056	市		盤(台付き)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24057	市		板状部材(お/あり)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24058	市		板状部材(お/あり)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24059	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24060	市		紡錘車	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24061	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24062	市		クサビ	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24063	市		鋸柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24064	市		鋸柄(把手)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24065	市		竪杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24066	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24067	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24068	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24069	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24070	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24071	市		建物部材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24072	市		建物部材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24073	市		しゃもじ形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24074	市		鋸	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24075	市		ひしゃく形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24076	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24077	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24078	市		平鉋(段付き)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24079	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24080	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24081	市		火鑽白	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24082	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24083	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24084	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24085	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24086	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24087	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24088	市		鋸柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24089	市		鋸取付具	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24090	市		棒状木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24091	市		竪杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24092	市		模形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24093	市		槽状木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24094	市		木製紡錘車	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24095	市		工具柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24096	市		案脚	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24097	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24098	市		斧柄頭	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24099	市		棒状木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24100	市		槽未成品?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24101	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24102	市		斧?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24103	市		鋸柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24104	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24105	市		斧?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24106	市		棒状木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24107	市		棒状木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24108	市		鋸の破損品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24109	市		竪杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24110	市		短甲一節板	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24111	市		鋸クサビ	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24112	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24113	市		建築部材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24114	市		横杆	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24115	市		しゃもじ形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24116	市		竪杆?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24117	市		木鎌	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24118	市		木槌	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24119	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24120	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24121	市		建築部材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24122	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24123	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24124	市		三又鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24125	市		棒状木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24126	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)

処理番号	区分	遺物番号	資 料 名	材質	時 代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
24127	市		ヤス?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24128	市		狭幅鋤	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24129	市		鋸柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24130	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24131	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24132	市		三又鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24133	市		案天板	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24134	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24135	市		部材	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24136	市		狭鋸	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24137	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24138	市		円形板	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24139	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24140	市		斧?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24141	市		しゃもじ形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24142	市		杭状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24143	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24144	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24145	市		鋸柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24146	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24147	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24148	市		平鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24149	市		棒状(鋸状)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24150	市		縦斧柄未製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24151	市		縦斧柄未製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24152	市		槽	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24153	市		鋸取付具	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24154	市		斧柄	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24155	市		鋸クサビ	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24156	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24157	市		匙形木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24158	市		ヤス?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24159	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24160	市		棒状	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24161	市		斧?	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24162	市		鋸	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24163	市		棒(脚付)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24164	市		用途不明木製品	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24165	市		二又鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24166	市		横杆子	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24167	市		槽(未製品)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24168	市		二又鉋	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24169	市		小型竪杆(藁草つぶし)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)
24170	市		不明木製品(半円72状)	木	弥生後期後半～終末			PEG(3m槽)

【区分の補は国庫補助事業、市は市単費による】

(3) 金属器・その他の遺物

今年度、木製品以外で何らかの作業を行った資料は、40遺跡807点である。その内容は別表に示すとおりである。金属器類の保存処理は一部例外を除き、概ね以下の工程により行っている。

●**事前調査**：保存処理はしばしば人間の医療に喩えられるが、事前調査は病院の診察に当たる重要な工程である。肉眼による表面観察が基本となるが、その限界を補うために顕微鏡や透過X線など様々な理化学装置が用いられる。資料の腐蝕や劣化の状態を知ることが主目的として行われるが、それに付随して資料の材質、構造、付着物といった、考古学的に有益な情報も得られる。

●**クリーニング**：埋土や余分な腐食層の除去を目的とする。鉄製品はグラインダーやエアブラシを使用。銅、青銅製品の一部や、これを基調とする金銅製品、ガラス製品など、表面層のデリケートな資料は、顕微鏡下でのアルコール洗浄やメス等を用いたクリーニングを行っている。

●**安定化**：金属製品のメタル部分は塩化物や硫化物イオンにより、著しく腐蝕が進行することが知られており、特にメタルが残存する資料はこれらの不活性化や除去が必要とされる。銅・青銅製品については、ベンゾ・トリ・アゾールにより塩類の不活性化を図っている。鉄製品については、内部にメタルが残存し全てが錆に置き換わっていない資料について、水酸化リチウムのアルコール溶液やセスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬する方法により脱塩処理を行う場合がある。

●**樹脂含浸**：資料の強化や腐蝕の要因物質からの隔離を目的として、合成樹脂を含浸し保護膜の形成を行う。いずれもアクリル樹脂を使用しているが、塗膜の厚さ等を考慮し、鉄製品にはパラロイドNAD-10を、銅・青銅製品にはパラロイドB-72を用いている。内部まで樹脂を浸透させる必要がある資料については50cmHg程度の減

圧含浸を実施。

●**修復**：接着については、特に強度を必要としないものはセルロース系、強度を要する場合はエポキシ系の接着剤を使用。欠損の補填を行う場合、接着剤にマイクロバルーンを混ぜて粘度を高めたものや、鉄粉入りのエポキシ樹脂などを使用している。

以上の工程を経た後も、決して安心はできない。温度や湿度などの周辺環境は資料の保全に影響を及ぼすものであり、処置後の資料もできる限り安定した環境で保管されることが望まれる。そこで埋蔵文化財センターでは、金属器等の資料については24時間温湿度調整を行っている特別収蔵庫にて保管している他、必要に応じて特殊な材質の袋に脱水、脱酸素の機能を持った薬剤と共に資料を封入する方法（三菱ガス化学：RPシステム）での保管も行っている。

今年度作業を行った中で、主要な資料について触れておきたい。

まとまった数の作業としては、元岡・桑原遺跡7次調査がある。鉄器を中心に60点程度の保存処理作業を行った結果、古代（7～8世紀）の時期と見られる、通有の道具にならない形状の不定型な資料などが幾つか散見された。これらはその形状や遺跡内に存在する鍛冶炉の存在などから、鍛冶作業に伴って生じる失敗品や未製品などと考えられる。クリーニング作業の結果に基づき各資料の実測が行われている。その詳細は発掘調査報告書を参照されたい。同じ元岡・桑原の21次調査出土資料は、既に報告書が数年前に刊行されている。しかしこの時には十分な保存処理が行われていなかったため、よりよい状態での活用のために、新たに作業を行ったものである。古墳時代後期の群集墳に副葬された金属器群で、武器や工具など残存状態の比較的良好な資料が多い。

博多遺跡群の出土資料についても、幾つかの調査回数について保存処理を行った。発掘調査報告書の作成にともなう作業として2つの地点を挙げておく。157次調査地点は遺跡群南端の

祇園町に所在する。周辺では古墳時代前期に遡る鉄器の製作痕跡が多数発見されている。この調査でも少量ながら針状や三角形をした鉄片が含まれており、関連が注目される。他、古墳時代後期と見られる五角形鏃の良好な資料なども混じっている。158次調査は店屋町に所在する調査区で、ここでは奈良時代のものと見られる金属加工の痕跡が検出されている。詳細は発掘調査報告書に譲るが、博多遺跡群ではこれまで、古墳時代や中世以降の金属加工痕跡しか見つかっておらず、古代は空白の時代であった。また金属加工以外でも、遺物としてはこれまでも和同開珎や帯金具など古代の役所に関連すると見られるような特殊な遺物は散見されていながら、人々の営みは今ひとつ明確ではなかった。そこに新たな手掛かりが加わったことになる。

また既に報告書が刊行されている地点の資料でも、保存処理により新たな知見が得られたものがある。昭和53年に地下鉄建設に伴って発掘調査が行われた祇園町工区地点出土の鉄釧についてはP.21に詳しく記す。

次に59次調査SC-41は、157次調査の部分で触れた、古墳時代前期の鍛冶に関わると見られる竪穴住居である。ここからは三角形や短冊形の鉄片と共に鉄鏃が出土していた。この鉄鏃を今年度透過X線調査したところ、実測図よりもシャープな定角式の形状であることが判明。クリーニングを行い、その姿が復元された。周辺では147次調査でも多くの鉄片と共にやはり定角式の鉄鏃が複数確認されている。明確な証拠は

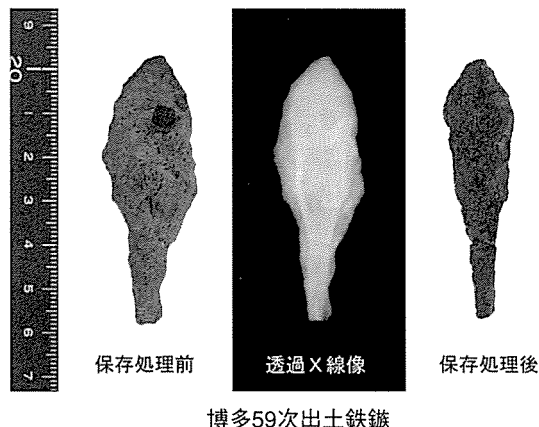
見出し得ていないが、状況から見てこのタイプの鉄鏃がこの地で作られていた可能性は決して低くないと思われる。

金属器以外では、彩文土器について、文様を描くのに使用された赤色顔料の観察や分析を行った他、ガラス製品についてもクリーニングと材質分析を実施している。彩文土器は西区福重稲木遺跡出土の資料で、弥生時代初頭の資料である。調査を行った資料のほとんどが酸化第二鉄の赤色を利用した顔料であるベンガラを用いていたが、数点、硫化水銀の結晶を利用した朱を用いたものも含まれていた。その違いが何に起因するかの解明は、今後の課題である。ガラスの材質分析で特筆すべき資料は福岡城址43（鴻臚館17）次調査出土の容器片である。新たなイスラムガラスの類例として注目される。これについては後ほど別途詳述する。

（4）その他の作業について

この他、発掘現場からの保存科学的作業の依頼については例年通り、逐次対応している。今年度は、博多遺跡群における人骨の取り上げや、元岡遺跡での弥生時代の土器だまりから出土した獣骨の取り上げなどを行った。これらはいずれも資料が脆弱でそのままでは取り上げができないことから、発泡ウレタンなどの薬品を用い、これらを保護材として形状を残したまま取り上げるものである。

また、埋蔵文化財センターにおいて平成11年度に導入された文化財用事前調査機器類は、前にも記したように考古学的に有益な情報も得ることができる。これらの装置をまとめて揃えている施設は九州内でも限られており、周辺自治体の関連部署からは機器の使用が求められてきた。そこで、外部からの利用については、平成12年度に策定された利用基準（巻末参照）に依拠した作業を行っている。平成19年度は福岡県内の市町村を中心に、九州各地の自治体、大学などの研究期間から使用許可申請が提出され、それに基づいて対応した。



平成19(2007)年度保存処理金属器ほか一覧

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig
博多祇園町工区(調査番号:7833 市報193集)					
24358	3035	鏡	銅・青銅	古墳中期	未図化
24359	3036	鉄	鉄	古墳中期	未図化
有田51次(調査番号:8113 市報113集)					
24370	20001	刀子	鉄	古墳前期	54-15
24371	20002	鉄鏃(無茎)	鉄	古墳前期	54-16
24372	20003	鉄片	鉄	古墳前期	未図化
24373	20004	鉄片	鉄	古墳前期	未図化
24374	20005	鉄片	鉄	古墳前期	未図化
24375	20006	鉄片	鉄	古墳前期	未図化
博多築港線3次(調査番号:8648 市報396集)					
24376	80016	骨製飾り	動物遺体	中世	330-196
博多35次(調査番号:8648 市報177・396集)					
24377	9163	銅鉄(崇寧通寶)	銅・青銅	中世	未図化
博多37次(調査番号:8740 市報244集)					
24197	11865	鹿角加工品	動物遺体	中世後期	未図化
大北1次(調査番号:8827 市報1017集)					
24378	20001	不明鉄器(板状)	鉄	不明	未図化
吉武14次(調査番号:8838 市報1017集)					
24379	20001	不明鉄器	鉄	不明	未図化
博多42次(調査番号:8843 市報245集)					
24198	3044	獸骨	動物遺体	中世	未図化
博多43次(調査番号:8852 市報246集)					
24199	3002	獸骨	動物遺体	近世	未図化
福岡城址15(鴻臚館5)次(調査番号:8910 市報275・355集)					
24380	31021	青銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
24381	31022	銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
24382	31023	連玉	ガラス	古墳	未図化
24383	31024	銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
24384	31025	銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
24385	31026	銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
24386	31027	銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
博多50次(調査番号:8918 市報249集)					
24387	2212	鉄鏃	鉄	古墳前期?	未図化
博多59次(調査番号:8957 市報328集)					
24388	21	鉄鏃(大型)	鉄	古墳前期	84-K55
24389	26	鉄鏃(定角式)	鉄	古墳前期	71-K41
博多62次(調査番号:8963 市報397集)					
24390	20198	銅鉄(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
24391	21216	銅鉄(崇寧通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24200	31001	獸骨	動物遺体	近世	未図化
24201	31009	獸骨	動物遺体	中世	未図化
福岡城址15(鴻臚館5)次(調査番号:9005 市報275・355集)					
24392	31008	銅鏡	銅・青銅	古墳	未図化
大原D3次(調査番号:9265 市報481集)					
24393	771	刀装具(鐔)	鉄	古墳後期	81-85
24394	772	鉄刀	鉄	古墳後期	81-86
24395	773	刀子	鉄	古墳後期	81-87
24396	774	刀子	鉄	古墳後期	81-88
24397	775	鉄鏃(短頸三角)	鉄	古墳後期	81-89
24398	779	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳後期	81-93
24399	782	馬具(具)	鉄	古墳後期	81-96
元岡・森原7次(調査番号:9813 市報1012集)					
24400	1001	刀子	鉄	古代	未図化
24401	1002	刀子?	鉄	古代	未図化
24402	1003	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24403	1007	鉄鏃束	鉄	古代	未図化
24404	1008	釘?	鉄	古代	未図化
24405	1009	刀子 or 鏃	鉄	古代	未図化
24406	1010	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24407	1011	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24408	1012	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24409	1014	不明品(板状・鎌?)	鉄	古代	未図化
24410	1015	鉄刀片	鉄	古代	未図化
24411	1017	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24412	1018	刀子?	鉄	古代	未図化
24413	1019	鏃	鉄	古代	未図化
24414	1023	刀子?	鉄	古代	未図化
24415	1024	釘	鉄	古代	未図化
24416	1025	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24417	1026	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24418	1027	釘	鉄	古代	未図化
24419	1029	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24420	1030	釘	鉄	古代	未図化
24421	1031	刀子	鉄	古代	未図化
24422	1033	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24423	1034	不明品(棒状)	鉄	古代	未図化
24424	1035	不明品(工具?)	鉄	古代	未図化
24425	1037	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24426	1089	不明品	鉄	古代	未図化
24427	1090	不明品	鉄	古代	未図化
24428	1091	釘	鉄	古代	未図化
24429	1092	刀子	鉄	古代	未図化
24430	1093	不明品(折り曲げ)	鉄	古代	未図化
24431	1094	刀子片	鉄	古代	未図化
24432	1095	釘	鉄	古代	未図化
24433	1096	釘?	鉄	古代	未図化
24434	1097	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24435	60001	火打ち金?	鉄	古代	85-336
24436	60003	刀子?	鉄	古代	85-337
24437	60004	不明品(微小棒状)	鉄	古代	85-332
24438	60005	鏃	鉄	古代	85-319
24439	60006	火打ち金?	鉄	古代	未図化
24440	60007	鏃	鉄	古代	85-316
24441	60008	不明品(棒状2片)	鉄	古代	未図化
24442	60012	刀子茎?	鉄	古代	85-344
24443	60013	釘?	鉄	古代	未図化
24444	60014	鏃茎?	鉄	古代	85-322
24445	60015	不明微小棒状	鉄	古代	85-331
24446	60016	刀子 or 鏃(2片銹着)	鉄	古代	85-324
24447	60017	鏃	鉄	古代	85-317
24448	60018	不明品	鉄	古代	未図化
24449	60019	不明品(棒状)	鉄	古代	85-339
24450	60020	鏃茎?	鉄	古代	85-323
24451	60022	鏃茎?	鉄	古代	85-320
24452	60023	釘?	鉄	古代	未図化
24453	60024	鏃茎?	鉄	古代	未図化
24454	60026	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24455	60027	鏃	鉄	古代	85-318
24456	60028	不明品(板状)	鉄	古代	未図化
24457	60029	刀子	鉄	古代	85-341
24458	60030	不明品	鉄	古代	未図化
24459	60031	鉋尾	銅・青銅	古代	85-352
福岡城址43(鴻臚館17)次(調査番号:9910 市報695集)					
24460	40036	容器片?	ガラス	古代?	未図化

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig
博多120次(調査番号:9952 市報706集)					
24461	9179	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
博多121次(調査番号:9960 市報669集)					
24462	30006	銅銭(崇寧重寶)	銅・青銅	中世	未図化
元岡・森原21次(調査番号:0002 市報910集)					
24463	20001	鏃?	鉄	古墳後期	未図化
24464	20002	不明棒状品	鉄	不明	未図化
24465	20004	不明板状品	鉄	不明	未図化
24466	20005	刀子	鉄	古墳後期?	57-119
24467	20007	鉄鏃(刃部銹着)	鉄	古墳終末期	未図化
24468	20008	馬具?	鉄	古墳終末期	未図化
24469	20009	刀子	鉄	古墳終末期	18-42
24470	20010	刀子片	鉄	古墳終末期	18-40
24471	20011	刀子片	鉄	古墳終末期	18-41
24472	20012	鉄鏃(長頸柳葉)	鉄	古墳終末期	18-51
24473	20013	鉄鏃(長頸柳葉)	鉄	古墳終末期	18-52
24474	20014	鉄鏃(長頸柳葉)	鉄	古墳終末期	18-50
24475	20015	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳終末期	18-47
24476	20016	鉄鏃(長頸柳葉)	鉄	古墳終末期	18-48
24477	20017	鉄鏃片	鉄	古墳終末期	18-49
24478	20018	鉄鏃片	鉄	古墳終末期	18-46
24479	20019	鉄鏃片	鉄	古墳終末期	18-44
24480	20020	鉄鏃片(長頸柳葉)	鉄	古墳終末期	未図化
24481	20021	鉄鏃片	鉄	古墳終末期	18-45
24482	20022	馬具(鉄地金銅張爪先形帯金具)	銅・青銅	古墳終末期	18-53
24483	20023	馬具(鉄地金銅張爪先形帯金具)	銅・青銅	古墳終末期	18-54
24484	20024	馬具(鉄地金銅張爪先形帯金具)	銅・青銅	古墳終末期	18-55
24485	20026	刀子	鉄	古墳終末期	86-132
24486	20027	刀子	鉄	古墳終末期	86-131
24487	20028	ヤリガンナ	鉄	古墳終末期	86-133
24488	20029	鉄鏃(飛燕形)	鉄	古墳終末期	86-129
24489	20030	鉄鏃(飛燕形)	鉄	古墳終末期	86-130
24490	20031	鉄鏃(長頸柳葉)	鉄	古墳終末期	86-128
24491	20032	鉄鏃片一拵(長頸)	鉄	古墳終末期	未図化
24492	20033	鉄鏃片一拵(長頸)	鉄	古墳終末期	未図化
24493	20034	不明棒状鉄器	鉄	古墳終末期	未図化
24494	20035	鉄鏃片一拵(長頸)	鉄	古墳終末期	未図化
24495	20036	馬具?(不明環状鉄器)	鉄	古墳終末期	未図化
24496	20037	刀装具(鞘金具)	鉄	古墳後期	未図化
24497	20041	馬具?(鐔引手部材)	鉄	古墳後期	未図化
24498	20042	刀装具(鐔)	鉄	古墳後期	未図化
24499	20045	不明棒状品	鉄	不明	未図化
24500	20050	不明棒状鉄器	鉄	古墳後期	未図化
24501	20053	鉄刀片	鉄	古墳後期	未図化
24502	20054	刀子片	鉄	古墳後期	未図化
24503	20055	鉄鏃片	鉄	古墳後期	未図化
24504	20056	鉄刀片	鉄	古墳後期	未図化
24505	30022	耳環	銅・青銅	古墳終末期	19-80
24506	30023	耳環	銅・青銅	古墳終末期	19-78
24507	30024	耳環	銅・青銅	古墳終末期	19-79
24508	30025	耳環	銅・青銅	古墳後期	56-117
24509	30026	耳環	銅・青銅	古墳後期	56-116
24510	30038	耳環	銅・青銅	古墳後期	45-102
24511	30039	耳環	銅・青銅	古墳後期	45-101
24512	30090	耳環	銅・青銅	古墳終末期	86-184
24513	30091	耳環	銅・青銅	古墳終末期	86-185
福岡福木2次(調査番号:0344 市報1006集)					
24514	1	彩文土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	52-1
24515	2	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-2
24516	3	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-3
24517	4	彩文土器(鉢口縁)	その他	弥生前期	52-4
24518	5	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-5
24519	6	彩文土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	52-6
24520	7	彩文土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	52-7
24521	8	彩文土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	52-8
24522	9	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-9
24523	11	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-11
24524	12	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-12
24525	13	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-13
24526	14	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-14
24527	15	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-15
24528	16	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-16
24529	17	土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-17
24530	18	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-18
24531	19	彩文土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	52-19
24532	20	彩文土器(鉢口縁)	その他	弥生前期	52-20
24533	21	彩文土器(鉢口縁)	その他	弥生前期	52-21
24534	24	彩文土器(鉢口縁)	その他	弥生前期	52-24
24535	25	土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	52-25
24536	362	土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	65-362
24537	314	土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	64-314
24538	363	土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	65-363
24539	430	土器(蓋口縁)	その他	弥生前期	67-430
24540	367	土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	65-367
24541	758	丹塗り土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	83-758
24542	759	丹塗り土器(蓋頸部)	その他	弥生前期	84-759
大橋E10次(調査番号:0386 市報1015集)					
24543	20001	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	9-M1
博多127次(調査番号:0426 市報892集)					
24544	10023	板状未製品	鉄	古墳前期	128-76
24545	10092	板状未製品	鉄	古墳前期	128-67
24546	10261	不明円錐形鉄器	鉄	古墳前期	未図化
24547	10277	不明円錐形鉄器	鉄	古墳前期	128-89
24548	10300	板状未製品	鉄	古墳前期	128-81
24549	10344	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳前期	128-68
24550	10384	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳前期	未図化
24551	10385	板状未製品	鉄	古墳前期	未図化
24552	10395	棒状未製品	鉄	古墳前期	128-80
24553	10410	鉄鏃(三角長頸状)	鉄	古墳前期	128-72
24554	10423	鉄鏃(三角未製品?)	鉄	古墳前期	128-69
24555	10440	鉄鏃(三角未製品?)	鉄	古墳前期	128-73
24556	10465	鉄鏃(圭頭小型)	鉄	古墳前期	128-75
24557	10535	板状未製品	鉄	古墳前期	128-82
24558	10580	板状未製品	鉄	古墳前期	127-77
24559	10643	鉄鏃(未製品?)	鉄	古墳前期	128-74
24560	10645	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳前期	128-70
24561	10646	鉄鏃(圭頭)	鉄	古墳前期	128-71
24562	10715	棒状未製品	鉄	古墳前期	128-92
24563	10741	不明円錐形鉄器	鉄	古墳前期	128-91
24564	10892	鉄鏃(定角式)	鉄	古墳前期	128-79
24565	11554	鉄鏃?(圭頭小型)	鉄	古墳前期	未図化
24566	11627	鉄鏃(定角式)	鉄	古墳前期	未図化
元岡・森原42次(調査番号:0451 未報告)					
24567		異形土器	その他	弥生後期	未報告資料
元岡・森原45次(調査番号:0535 未報告)					

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig
24568		刀子	鉄	古墳後期	未報告資料
24569		鉄剣	鉄	古墳後期	未報告資料
24570		不明(銅造品)	鉄	古墳後期	未報告資料
24571		鏃	鉄	不明	未報告資料
24572		小玉	ガラス	古墳後期	未報告資料
24573		粟玉	ガラス	古墳後期	未報告資料
24574		麻玉	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24575		麻玉	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24576		麻玉	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24577		麻玉	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24578		麻玉	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24579		麻玉	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24580		玉破片	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24581		玉破片	その他(琥珀)	古墳後期	未報告資料
24582		空玉	その他(金属)	古墳後期	未報告資料
24583		耳環	銅・青銅	古墳後期	未報告資料
24584		耳環	銅・青銅	古墳後期	未報告資料
24585		耳環	銅・青銅	古墳後期	未報告資料
24586		刀子	鉄	古墳後期	未報告資料
24587		刀子	鉄	古墳後期	未報告資料
24588		鑿状鉄器	鉄	古墳後期	未報告資料
24589		鉄刀	鉄	古墳後期	未報告資料
24590		鉄刀	鉄	古墳後期	未報告資料
24591		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24592		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24593		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24594		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24595		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24596		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24597		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24598		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24599		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24600		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24601		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24602		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24603		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24604		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24605		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24606		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24607		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24608		鉄鏃	鉄	古墳後期	未報告資料
24609		刀子茎	鉄	古墳後期	未報告資料
博多158次(調査番号:0551 市報945集)					
24610	1697	小玉(半溶解)	ガラス	中世	未図化
24611	1246	小玉	ガラス	中世	未図化
24612	1988	小玉	ガラス	中世	未図化
24613	1886	鏃	銅・青銅	中世	未図化
蒲田部本原10次(調査番号:0556 市報976集)					
24614		不明鉄器	鉄	弥生終末~古墳初頭	未図化
24615		青銅製鋤先	銅・青銅	弥生終末~古墳初頭	58-305
博多157次(調査番号:0560 市報988集)					
24616		不明鉄器	鉄	中世?	未図化
24617		不明鉄器	鉄	中世	未図化
24618		釘	鉄	中世	未図化
24619		不明鉄器	鉄	中世	未図化
24620		刀子	鉄	中世	未図化
24621		釘	鉄	中世	未図化
24622		不明鉄器	鉄	中世	未図化
24623		釘	鉄	中世	未図化
24624		鉄刀片?	鉄	中世	未図化
24625		釘?	鉄	中世	未図化
24626		鏃	鉄	古墳~古代	32-M2
24627		不明鉄片	鉄	中世	未図化
24628		不明鉄片	鉄	古墳?	未図化
24629		不明鉄片	鉄	古墳?	未図化
24630		釘	鉄	中世	32-M3
24631		釘	鉄	中世	32-M6
24632		長頸鏃?	鉄	中世	未図化
24633		釘	鉄	中世	未図化
24634		釘	鉄	中世	未図化
24635		不明鉄片	鉄	中世	未図化
24636		釘	鉄	中世	未図化
24637		刀子?	鉄	中世	未図化
24638		不明鉄片	鉄	中世	未図化
24639		不明環状製品	鉄	中世	未図化
24640		小型鉄片	鉄	古墳?	未図化
24641		不明鉄片	鉄	古墳?	未図化
24642		鉄鏃(短頭五角)	鉄	古墳	32-M4
24643		不明鉄片(針状)	鉄	古墳?	未図化
24644		鉄鏃(短頭三角)	鉄	古墳	32-M5
24645		不明鉄片	鉄	不明	未図化
24646		鉄釘(大型)	鉄	不明	未図化
24647		銅鏃(無文鏃)	銅・青銅	中世	未図化
24648		銅鏃(元祐通寶・行書)	銅・青銅	中世	未図化
24649		銅鏃(一銭)	銅・青銅	近代	未図化
24650		銅鏃(一銭)	銅・青銅	近代	未図化
24651		金銅製飾金具	銅・青銅	中世	18-M1
博多158次(調査番号:0564 市報989集)					
24651	837	鏃茎?	鉄	古代	71-837
24652	567	釘	鉄	中世	45-567
24653	271	釘(大型)	鉄	中世	23-271
24654	838	釘	鉄	古代	71-838
24655	846	不明鉄器	鉄	古代	71-846
24656	844	不明鉄器	鉄	古代	71-844
24657	845	針状品	鉄	古代	71-845
24658	712	刀子?	鉄	古代	58-712
24659	713	釘	鉄	古代	58-713
24660	718	鏃茎?	鉄	古代	58-718
24661	719	不明鉄器(板状)	鉄	古代	58-719
24662	716	不明鉄器(板状)	鉄	古代	58-716
24663	714	不明棒状	鉄	古代	58-714
24664	717	針状	鉄	古代	58-717
24665	600	釘	鉄	古代	48-600
24666	599	鏃茎?	鉄	古代	48-599
24667	566	刀子?	鉄	中世	45-566
24668	565	刀子	鉄	中世	45-565
24669	563	小柄	銅・青銅	中世	45-563
24670	504	銅鏃(成平元寶)	銅・青銅	中世	42-504
24671	505	銅鏃(政和通寶)	銅・青銅	中世	42-505
24672	11025	銅鏃(寛永通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24673	564	不明板状品	銅・青銅	中世	45-564
24674	278	銅鏃(五銖)	銅・青銅	中世	24-278
24675	715	不明鉄器	鉄	古代	58-715
24676	711	不明鉄器(板状)	鉄	古代	58-711
24677	841	不明鉄器(板状)	鉄	古代	71-841

処理No.	遺物No.	資 料 名	材質	時代	報告書Fig
24678	842	不明鉄器(模状)	鉄	古代	71-842
24679	840	釘	鉄	古代	71-840
24680	839	釘	鉄	古代	71-839
24681	847	不明鉄器(薄板)	鉄	古代	71-847
24682	843	不明鉄器(工具?)	鉄	古代	71-843
24683	443	丸玉片	ガラス	中世	37-443
24684	357	容器?片	ガラス	中世	30-357
24685	279	小玉	ガラス	中世	24(一部未図化)
24686	11001	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24687	11002	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24688	11003	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24689	11004	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24690	286	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24691	283	小玉	ガラス	中世	24(一部未図化)
24692	288	小玉失敗品	ガラス	中世	24(一部未図化)
24693	280	連玉	ガラス	中世	24(一部未図化)
24694	281	小玉	ガラス	中世	24(一部未図化)
24695	11005	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24696	282	小玉	ガラス	中世	24(一部未図化)
24697	292	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24698	284	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24699	285	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24700	11006	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24701	287	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24702	11007	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24703	291	容器片?	ガラス	中世	24(一部未図化)
24704	11008	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24705	11009	小玉片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24706	11010	小玉片一括	ガラス	中世	24(一部未図化)
24707	11011	小玉片一括	ガラス	中世	24(一部未図化)
24708	11012	帯状	ガラス	中世	24(一部未図化)
24709	11013	細丸棒	ガラス	中世	24(一部未図化)
24710	293	薄板状	ガラス	中世	24(一部未図化)
24711	11014	帯状	ガラス	中世	24(一部未図化)
24712	11015	不明小片	ガラス	中世	24(一部未図化)
24713	11016	帯状	ガラス	中世	24(一部未図化)
24714	11017	小玉片?	ガラス	中世	24(一部未図化)
24715	11018	薄板状	ガラス	中世	24(一部未図化)
24716	11019	不明角状	ガラス	中世	24(一部未図化)
24717	11020	不定形塊	ガラス	中世	24(一部未図化)
博多161次(調査番号:0572 未報告)					
24718		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24719		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24720		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24721		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24722		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24723		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24724		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24725		小玉	ガラス	中世	未報告資料
24726		小玉	ガラス	中世	未報告資料
那珂112次(調査番号:0602 市報981集)					
24195	26	鍔造鉄斧(二条凸帯)	鉄	弥生終末	8-26
24196	46	刀子	鉄	古墳初頭?	15-46
那珂114次(調査番号:0627 未報告)					
24729		鍔型		その他	弥生
博多165次(調査番号:0642 市報993集)					
24783	242	金付着白磁筒	土・金	中世	第24図-242
24784	243	鏃	鉄	中世	第25図-243
24785	244	小柄	銅・青銅	中世	第26図-244
24786	245	蛇尾	銅・青銅	中世	第28図-245
24787	351	銅鏃(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24788	352	銅鏃(紹定通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-2
24789	353	銅鏃(至和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24790	354	銅鏃(開元通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-4
24791	355	銅鏃(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24792	356	銅鏃(祥×××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24793	357	銅鏃(□×××)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24794	358	銅鏃(□□□□)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24795	359	銅鏃(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24796	360	銅鏃(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24797	361	銅鏃(景德元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24798	362	銅鏃(政×××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24799	363	銅鏃(□□××)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24800	364	銅鏃(開元通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-14
24801	365	銅鏃(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24802	366	銅鏃(□□□□)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24803	367	銅鏃(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24804	368	銅鏃(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24805	369	銅鏃(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24806	370	銅鏃(太平通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24807	371	銅鏃(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24808	372	銅鏃(□□□□)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24809	373	銅鏃(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24810	374	銅鏃(景祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24811	375	銅鏃(□□元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24812	376	銅鏃(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24813	377	銅鏃(□□□□)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24814	378	銅鏃(□□□×)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24815	379	銅鏃(××通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24816	380	銅鏃(□×□×)	銅・青銅	中世	未図化
24817	381	銅鏃(□□□×)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24818	382	銅鏃(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24819	383	銅鏃(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24820	384	銅鏃(政和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24821	385	銅鏃(□×××)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24822	386	銅鏃(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-36
24823	387	銅鏃(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24824	388	銅鏃(端平通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-38
24825	389	銅鏃(□×××)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24826	390	銅鏃(大觀通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-40
24827	391	銅鏃(皇)宋(通)寶	銅・青銅	中世	未図化
24828	392	銅鏃(□□××)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24829	393	銅鏃(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-43
24830	394	銅鏃(元豐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-44
24831	395	銅鏃(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-45
24832	396	銅鏃(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-46
24833	397	銅鏃(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-47
24834	398	銅鏃(咸淳元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-48
24835	399	銅鏃(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24836	400	銅鏃(嘉泰通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-50
24837	401	銅鏃(□×××)	銅・青銅	中世~近世	未図化
24838	402	銅鏃(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24839	403	銅鏃(太平通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-53
24840	404	銅鏃(□×通×)	銅・青銅	中世	未図化
24841	405	銅鏃(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化

処理No	遺物No	資料名	材質	時代	報告書Fig
24842	406	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24843	407	銅銭(×通元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24844	408	銅銭(聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24845	409	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24846	410	銅銭(景祐元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24847	411	銅銭(開××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24848	412	銅銭(×××寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24849	413	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24850	414	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24851	415	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-65
24852	416	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24853	417	銅銭(口通元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24854	418	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24855	419	銅銭(口×××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24856	420	銅銭(口×××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24857	421	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24858	422	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24859	423	銅銭(明道元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-73
24860	424	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24861	425	銅銭(×元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24862	426	銅銭(景德元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-76
24863	427	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24864	428	銅銭(治(平)元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24865	429	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24866	430	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24867	431	銅銭(咸平元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-81
24868	432	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-82
24869	433	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-84
24870	434	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24871	435	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-85
24872	436	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-86
24873	437	銅銭(至和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24874	438	銅銭(淳化元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24875	439	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24876	440	銅銭(×豐通×)	銅・青銅	中世	未図化
24877	441	銅銭(永樂通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-91
24878	442	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-92
24879	443	銅銭(口和××)	銅・青銅	中世	未図化
24880	444	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-94
24881	445	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-95
24882	446	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24883	447	銅銭(太平通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24884	448	銅銭(淳化(元)寶)	銅・青銅	中世	PL.3-98
24885	449	銅銭(開禧通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-99
24886	450	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-100
24887	451	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-101
24888	452	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24889	453	銅銭(淳化元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-103
24890	454	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-104
24891	455	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24892	456	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24893	457	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-107
24894	458	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24895	459	銅銭(××××)	銅・青銅	中世	未図化
24896	460	銅銭(周通元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-110
24897	461	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24898	462	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-112
24899	463	銅銭(洪×通×)	銅・青銅	中世	未図化
24900	464	鉄銭(口口口口)	鉄	中世～近世	未図化
24901	465	銅銭(開××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24902	466	銅銭(口平元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24903	467	銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24904	468	銅銭(太平通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24905	469	銅銭(×通元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24906	470	銅銭(治平通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-120
24907	471	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24908	472	銅銭(××元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24909	473	銅銭(皇×××)	銅・青銅	中世	未図化
24910	474	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24911	475	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-125
24912	476	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24913	477	銅銭(淳熙(元)寶)	銅・青銅	中世	PL.4-127
24914	478	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-128
24915	479	銅銭(景口口口)	銅・青銅	中世	未図化
24916	480	銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-130
24917	481	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24918	482	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24919	483	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-133
24920	484	銅銭(太平通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-134
24921	485	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24922	486	銅銭(皇)未通寶	銅・青銅	中世	未図化
24923	487	銅銭(紹熙元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-137
24924	488	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24925	489	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-139
24926	490	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-140
24927	491	銅銭(聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-141
24928	492	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-142
24929	493	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-143
24930	494	銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-144
24931	495	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24932	496	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24933	497	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24934	498	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-148
24935	499	銅銭(聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-149
24936	500	銅銭(至道元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-150
24937	501	銅銭(咸平元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-151
24938	502	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24939	503	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24940	504	銅銭(皇×××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24941	505	銅銭(×寧元×)	銅・青銅	中世	未図化
24942	506	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24943	507	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-157
24944	508	銅銭(開××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24945	509	銅銭(元口通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24946	510	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24947	511	銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24948	512	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24949	513	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24950	514	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24951	515	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24952	516	銅銭(明道元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-166
24953	517	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-167
24954	518	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24955	519	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-169
24956	520	銅銭(××元寶)	銅・青銅	中世	未図化

処理No	遺物No	資料名	材質	時代	報告書Fig
24957	521	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-171
24958	522	銅銭(口口××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24959	523	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-173
24960	524	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24961	525	銅銭(治平通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-175
24962	526	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-176
24963	527	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-177
24964	528	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-178
24965	529	銅銭(太平通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-179
24966	530	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-180
24967	531	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24968	532	銅銭(至道元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-182
24969	533	銅銭(口×××)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24970	534	銅銭(元祐通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-184
24971	535	銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-185
24972	536	銅銭(景××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24973	537	銅銭(口×××)	銅・青銅	中世	未図化
24974	538	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24975	539	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24976	540	銅銭(口通元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24977	541	銅銭(口口口口)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24978	542	銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-192
24979	543	銅銭(端平元寶)	銅・青銅	中世	PL.4-193
24980	544	銅銭(至和元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24981	545	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24982	546	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24983	547	銅銭(宣和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24984	548	銅銭(政××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24985	549	銅銭(政和通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24986	550	銅銭(熙寧元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24987	551	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-201
24988	552	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-202
24989	553	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-203
24990	554	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-204
24991	555	銅銭(祥××寶)	銅・青銅	中世	未図化
24992	556	銅銭(×祐×寶)	銅・青銅	中世	未図化
24993	557	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24994	558	銅銭(×××寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24995	559	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24996	560	銅銭(×××寶)	銅・青銅	中世～近世	未図化
24997	561	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	中世	未図化
24998	562	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	中世	未図化
24999	563	銅銭(皇宋通寶)	銅・青銅	中世	未図化
25000	564	銅銭(天禧通寶)	銅・青銅	中世	PL.3-214
25001	565	銅銭(嘉×××)	銅・青銅	中世	未図化
25002	566	銅銭(天聖元寶)	銅・青銅	中世	PL.3-216
25003	567	銅銭(大××寶)	銅・青銅	中世	未図化
25004	568	銅銭(永樂通寶)	銅・青銅	中世	PL.4-218
25005	569	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化
25006	570	鉄銭(口口口口)	鉄	中世～近世	PL.4-220

比恵109次(調査番号:0644 市報1002集)

処理No	遺物No	資料名	材質	時代	報告書Fig
24730	45	銅型(中細?戈)	銅	近世	付1-1
24731	10001	小玉	ガラス	弥生(～古墳)	未図化
24732	10004	小玉	ガラス	弥生(～古墳)	未図化
24733	10002	小玉	ガラス	弥生(～古墳)	未図化
24734	10003	小玉	ガラス	弥生(～古墳)	未図化

博多167次(調査番号:0647 市報994集)

処理No	遺物No	資料名	材質	時代	報告書Fig
25007	164	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-1
25008	165	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-2
25009	166	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-3
25010	167	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-4
25011	168	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-5
25012	169	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-6
25013	170	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-7
25014	171	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-8
25015	172	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-9
25016	173	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-10
25017	174	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-11
25018	175	銅銭(嘉祐通寶)	銅・青銅	近世	付1-1-12
25019	176	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-1
25020	177	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-2
25021	178	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-3
25022	179	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-4
25023	180	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-5
25024	181	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-6
25025	182	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-7
25026	183	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-8
25027	184	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-9
25028	185	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-10
25029	186	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-11
25030	187	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-2-12
25031	188	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1-3-1
25032	189	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付1

処理No	遺物No	資料名	材質	時代	報告書Fig
25065	222	銅銭(天祐通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-8-4)
25066	223	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-8-5)
25067	224	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-8-6)
25068	225	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-9-1)
25069	226	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-9-2)
25070	227	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-9-3)
25071	228	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-9-4)
25072	229	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-9-5)
25073	230	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-10-1)
25074	231	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-10-2)
25075	232	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-10-3)
25076	233	銅銭(□×××)	銅・青銅	近世	未図化(付1-10-4)
25077	234	銅銭6枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-11-1)
25078	235	銅銭6枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-11-2)
25079	236	銅銭6枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-11-3)
25080	237	銅銭6枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-11-4)
25081	238	銅銭6枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-11-5)
25082	239	銅銭6枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-11-6)
25083	240	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-12-1)
25084	241	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-12-2)
25085	242	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-12-3)
25086	243	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-12-4)
25087	244	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-12-5)
25088	245	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-13-1)
25089	246	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-13-2)
25090	247	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-13-3)
25091	248	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-13-4)
25092	249	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-13-5)
25093	250	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-14-1)
25094	251	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-14-2)
25095	252	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-14-3)
25096	253	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-14-4)
25097	254	銅銭5枚錯着(現状維持)	銅・青銅	近世	未図化(付1-14-5)
25098	255	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-15-1)
25099	256	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-15-2)
25100	257	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-15-3)
25101	258	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-16-1)
25102	259	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-16-2)
25103	260	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-16-3)
25104	261	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-17-1)
25105	262	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付7-17-2
25106	263	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-18)
25107	264	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-19)
25108	265	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-20)
25109	266	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	付7-21
25110	267	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-22)
25111	268	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-23)
25112	269	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-24)
25113	270	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-25)
25114	271	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-26)
25115	272	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-27)
25116	273	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-28)
25117	274	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-29)
25118	275	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-30)
25119	276	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-31)
25120	277	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-32)
25121	278	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-33)
25122	279	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-34)
25123	280	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-35)
25124	281	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-36)
25125	282	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-37)
25126	283	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-38)
25127	284	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-39)
25128	285	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-40)
25129	286	銅銭(寛永通寶)	鉄	近世	付7-41
25130	287	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-42)
25131	288	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-43)
25132	289	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-44)
25133	290	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-45)
25134	291	銅銭(元豐通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-46)
25135	292	銅銭(紹聖元寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-47)
25136	293	銅銭(永樂通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-48)
25137	294	銅銭(永樂通寶)	銅・青銅	近世	未図化(付1-49)
25138	295	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-50)
25139	296	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-51)
25140	297	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-52)
25141	298	銅銭(□□××)	銅・青銅	近世	未図化(付1-53)
25142	299	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-54)
25143	300	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-55)
25144	301	銅銭(□□□□)	銅・青銅	近世	未図化(付1-56)
25145	302	銅錠(大)	銅・青銅	近世	付2-57
25146	303	銅錠(小)	銅・青銅	近世	付2-58
25147	304	煙管 雁首	銅・青銅	近世	付4-59
25148	305	煙管 雁首	銅・青銅	近世	付4-60
25149	306	煙管 雁首	銅・青銅	近世	付4-61
25150	307	煙管 吹口	銅・青銅	近世	付4-62
25151	308	煙管 吹口	銅・青銅	近世	付4-63
25152	309	煙管 吹口	銅・青銅	近世	付4-64
25153	310	煙管 筒部	銅・青銅	近世	付4-65
25154	311	筒	銅・青銅	近世	付4-66
25155	312	銅製品	銅・青銅	近世	付4-67
25156	313	銅製品	銅・青銅	近世	付4-68
25157	314	銅匙	銅・青銅	近世	付4-69
25158	315	銅鏡片か	銅・青銅	近世	付4-70
25159	316	銅製品	銅・青銅	近世	付4-71
25160	317	鉄 釘	鉄	近世	付4-72
25161	318	鉄 釘	鉄	近世	付4-73
25162	319	鉄 釘	鉄	近世	付4-74
25163	320	鉄 釘	鉄	近世	付4-75
25164	321	釣針か	鉄	近世	付4-76
25165	322	釣針か	鉄	近世	付4-77
25166	327	赤色顔料	顔料	近世	付9-82
25167	328	ガラス増幅?片	土・ガラス	近世	付10-83

飯倉 F5次(調査番号:0649 市報972集)					
24735	39	方形板鋳先	鉄	弥生後期中葉~終末	42-3
24736	38	方形板鋳先	鉄	弥生後期中葉~終末	42-2
24737	37	方形板鋳先	鉄	弥生後期中葉~終末	42-1

箱崎54次(調査番号:0650 市報998集)					
24738		釘	鉄	中世	未図化
24739		釘	鉄	中世	未図化
24740		釘	鉄	中世	未図化
24741		釘	鉄	中世	未図化
24742		釘	鉄	中世	未図化
24743		紡錘車	鉄	中世	34-M5
24744		釘	鉄	中世	34-M8

処理No	遺物No	資料名	材質	時代	報告書Fig
24745		不明部材(限付き)	鉄	中世	未図化
24746		鋳造り手	鉄	中世	34-M6
24747		鐵	鉄	中世	34-M2
24748		鐵	鉄	中世	34-M1
24749		刀子切っ先	鉄	中世	未図化
24750		釘	鉄	中世	未図化
24751		釘	鉄	中世	未図化
24752		釘	鉄	中世	未図化
24753		刀子	鉄	中世	34-M3
24754		銅銭(元祐通寶・行書)	銅・青銅	中世	35-M9
24755		銅銭(元豐通寶・行書)	銅・青銅	中世	35-M10
24756		銅銭(熙寧元寶・真書)	銅・青銅	中世	35-M11
24757		銅銭(元祐通寶・行書)	銅・青銅	中世	35-M12
24758		銅銭(祥符通寶)	銅・青銅	中世	35-M13
24759		銅銭(開元通寶)	銅・青銅	中世	35-M14
24760		銅銭(皇宋通寶・真書)	銅・青銅	中世	35-M15
24761		銅銭(政和通寶・分書)	銅・青銅	中世	35-M16
24762		銅銭(元祐通寶・行書)	銅・青銅	中世	35-M17
24763		銅銭(祥符元寶)	銅・青銅	中世	35-M18
24764		銅銭(元祐通寶・行書)	銅・青銅	中世	35-M19
24765		銅銭(××口寶)	銅・青銅	中世	35-M20
24766		銅銭(紹聖元寶・篆書)	銅・青銅	中世	35-M21
24767		銅銭(紹聖?元寶・行書)	銅・青銅	中世	35-M22
24768		鏡片	銅・青銅	中世	34-M7
24769		不明板状	銅・青銅	中世	未図化
24770		切羽	銅・青銅	中世	34-M4

那珂115次(調査番号:0661 市報983集)					
24771		不明品(棒状)	鉄	不明	未図化
24772		不明品(棒状湾曲)	鉄	不明	47-4
24773		不明品(棒状)	鉄	不明	未図化
24774		不明品(棒状)	鉄	不明	未図化
24775		不明品(棒状)	鉄	不明	未図化
24776		不明品(棒状)	鉄	不明	47-3
24777		不明品(板状)	鉄	不明	47-2
24778		不明品(板棒状)切羽?	鉄	不明	47-1
24779		不明品(棒状)	銅・青銅	不明	未図化
24780		不明品(棒状)	鉄	不明	未図化
24781		小玉	ガラス	不明	47-7

今宿五郎江13次(調査番号:0718 未報告)					
24782		印章	銅・青銅	古代	未報告資料

妻野B12次(調査番号:0746 市報970集)					
24728	20	金具?	その他金属	近現代?	未図化

資料紹介1：鴻臚館から出土したガラス資料の 蛍光X線分析調査について

1. はじめに

福岡市内では日々多くの発掘調査が行われている。その内容は整理作業を経て発掘調査報告書として刊行されるが、時間的、費用的な制約を多分に受けており、検出された全ての遺構や遺物が全て掲載されることは希である。報告書の刊行後、発掘調査に伴って生じた記録類や出土遺物は、活用のため埋蔵文化財センターに搬入されるが、特に出土遺物について、何らかの意義や特徴を有しながら報告書に掲載されていないものを抽出し、より広く活用されるべく紹介することは、埋蔵文化財センターの中でも特に重要な業務の一つであると考えられる。

2. 調査対象資料について

福岡城址43（鴻臚館17）次調査は、平成11年度に発掘調査が行われ、その2年後に報告書が刊行されている（池崎2001）。その後、收藏のための整理作業を経て埋蔵文化財センターに本收藏された。保存処理室では金属器等の保存処理対象遺物を受け入れ、その点検作業を行ったが、ガラス資料台帳の中に「イスラムガラス」と書かれたものが含まれていた。この資料は北館と南館の間に設けられた堀が鴻臚館の廃絶後に埋没し池となった部分（SG-1046）から出土したものである。池の時期は中世後期（15～16世紀）であるが、中からは鴻臚館の時期に遡る中国製陶磁器類が多数出土しており、中世後期の整地の際、池の中に廃棄されたものと解釈されている。淡い緑色の透明ガラスで、5×3cm（厚さ1～2mm）大の板状であるが、僅かに湾曲しており何らかの容器と見られる。気泡や汚れ（不純物）が平行して筋状に流れる様子が観察できる。

3. 類例の調査

鴻臚館では、これまでもイスラムガラスが

出土している。3次調査のSK-02と呼ばれる土壙からの出土で、深い緑色で透明を呈する細口のもの、無色透明で比較的広口の2種類がある。厚さが1～2mm程度の非常に薄い作りである。中国製陶磁器の破片の下や、破片に混じった状態で発見されており、時代的にも鴻臚館の時代のもの（9世紀代）として問題ないとされる（山崎1991）。これらは出土後早い段階で、日本電気硝子（株）により材質分析が行われ、マグネシウムの量などから西アジア地方のアルカリ石灰ガラスとの所見が得られている（非公式文書による）。これにより以後、イスラムガラスとして報告、紹介され、注目を集めることとなった。この資料は、福岡県が発掘調査を行った大宰府史跡187次調査で出土したガラス容器片の分析調査を行った際、比較のために分析を行っている。大宰府の容器片は、土壙（SK4573）からの出土で、共伴遺物は8世紀末～9世紀代の年代を示している。非常に淡い青緑色透明で、2.5×2cm（厚さ1～3mm）ほどの破片である。小壺に復元されると考えられている（中間・小田2003）。これら3点の資料は、福岡市埋蔵文化財センターの蛍光X線分析装置を用いて、平成15年度に材質調査を行った（比佐2003）。ガラス資料の場合、局部的に強いX線を照射すると、その部分が変色を来すため、X線強度が小さくても検出感度の優れたエネルギー分散型蛍光X線分析法が有効である。一連の作業では、微小領域用のエネルギー分散型装置を使用した。分析の結果、これら3点は色調の違いによると見られる微細な差異は認められるものの、全体的には非常に似通った定性チャートを示している。ガラスの主成分である珪素の他、ナトリウムの明瞭なピークが認められ、カルシウムが特徴的に現れていることから、ソーダ石灰ガラスであることが分かる。定量的な判断ではないものの、アルミニウムのピークは比較的小さく、マグネシウムが明瞭でマンガンが非常に強い点も特徴的である。

その後、平成19年度に福岡市博物館で開催さ

れた、鴻臚館発掘20周年記念特別展『鴻臚館とその時代』に関連し、もう1例の古代のガラス製品の分析調査を行った（比佐2007）。この資料は1973年に発掘調査が行われた多々良込田遺跡1次調査の出土品である。この遺跡は東区に所在する。これまで6次にわたる調査で奈良～平安の重要な遺構や遺物が多数見つかり、その立地と合わせ、古代の物流を管理する官衙として評価されている。ガラス資料は1次調査の4号溝出土で、やはり容器と見られる青緑色で4×3cmほどの破片である。共伴遺物は8世紀後半～9世紀初頭を中心とする時期を示す。分析では、やはり上記3例とよく似た定性チャートが得られた。

4. 鴻臚館17次出土資料の分析結果

これらを踏まえ、鴻臚館17次出土のガラス片を同じ装置、手法により分析を行った。結果はこれまで得られていたチャートと同じものであり、マグネシウムが明瞭でマンガンを多く含むソーダ石灰ガラスのものであった。

鴻臚館は廃絶後、近世には福岡城、近代には陸軍の施設として使われており、上層には新しい時代の遺物も多数認められる。ガラス資料の中には明らかに新しい（近～現代）と見られる瓶類なども含まれており、念のため比較として同条件にて数点の分析を行った。これらはソーダ石灰ガラスのチャートは示すものの、マグネシウムやマンガンのピークが低かったり、亜鉛やヒ素が検出されるなど、古代とされる資料とは明確な差異が認められた。

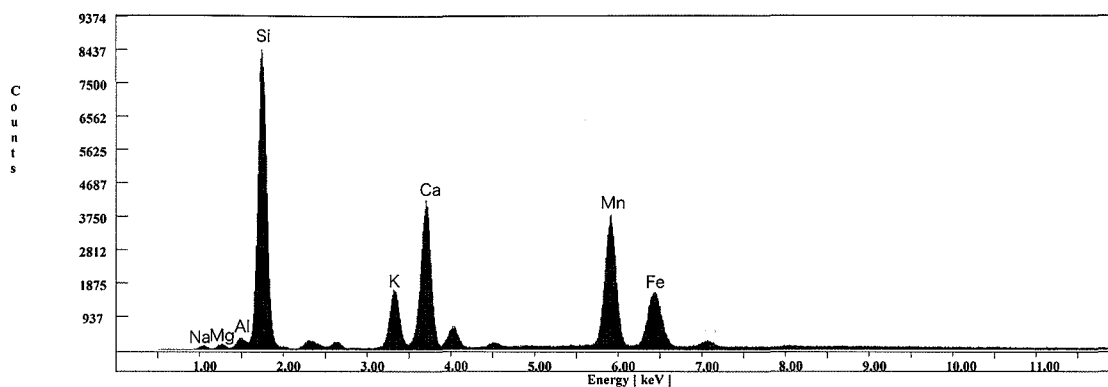
5. まとめ

これまでに福岡市とその周辺である鴻臚館、大宰府、多々良込田という奈良～平安時代の遺跡より出土したガラス容器について、材質分析を行ってきたが、これらはいずれもよく似た分析結果を示していた。それと共に新たに鴻臚館で出土した資料についても分析を行い、やはり過去の類例と共通する結果を得ている。状況か

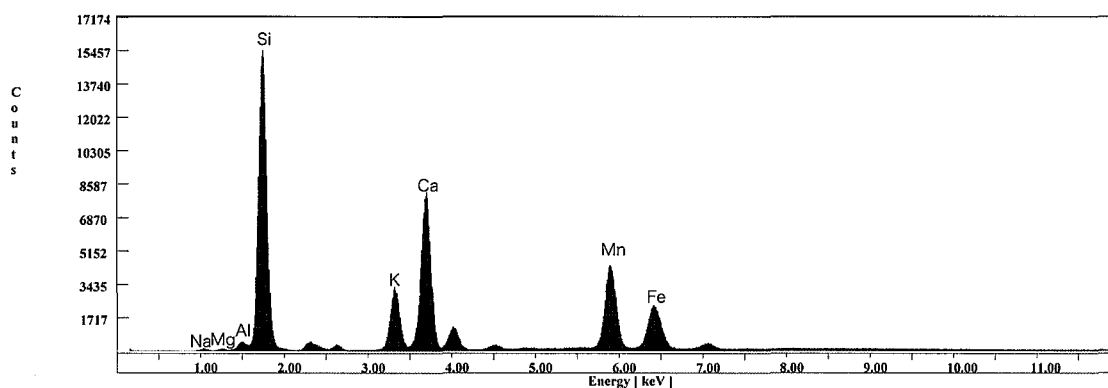
ら見て、新たなイスラムガラスの類例が発見されたといえる。ただ、いうまでもなく今回の調査は非破壊による定性分析であり、先学によって示されている定量値と比較して資料の性質を論じることが難しい。また、今回使用した装置で、実際のイスラムガラスを分析してもいないので、前提がやや不安定なことは否めない。しかし、この時期のガラス資料は限られており、敢えて調査結果を提示することで、これを叩き台として古代の広い物流が活発に論じられることを願うものである。

（参考文献）

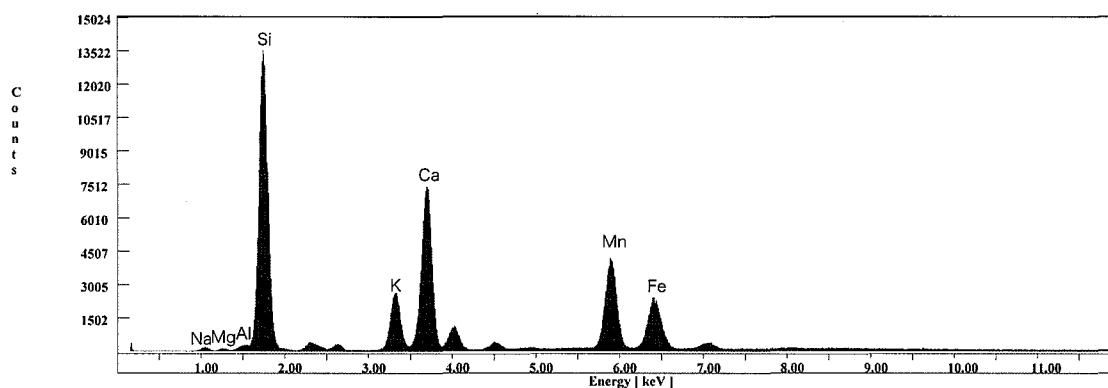
- 池崎譲二(編)2001『鴻臚館跡11—平成11年度発掘調査報告書—』福岡市埋蔵文化財調査報告書第695集 福岡市教育委員会
- 中間研志・小田和利(編)2003『大宰府史跡発掘調査報告書Ⅱ 平成13・14年度』九州歴史資料館
- 比佐陽一郎2003「大宰府史跡187次調査及び鴻臚館跡から出土したガラス製品の材質調査」『大宰府史跡発掘調査報告書Ⅱ 平成13・14年度』九州歴史資料館
- 比佐陽一郎2007「鴻臚館出土ガラスの蛍光X線分析」『古代の博多 鴻臚館とその時代』鴻臚館跡発掘20周年記念特別展図録 福岡市博物館
- 山崎純男(編)1991『鴻臚館跡Ⅰ 発掘調査概報』福岡市埋蔵文化財調査報告書第270集 福岡市教育委員会



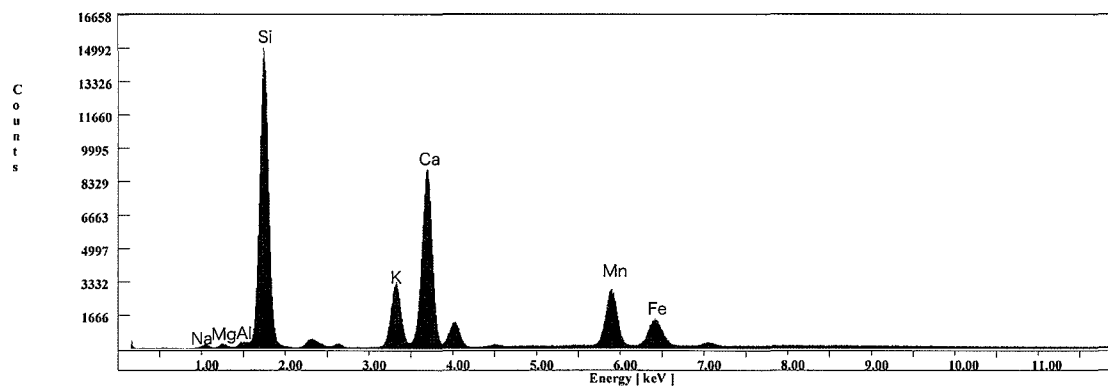
多々良込田1次出土資料



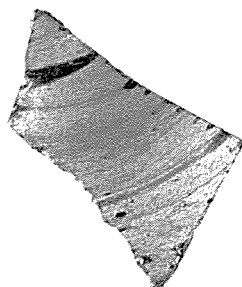
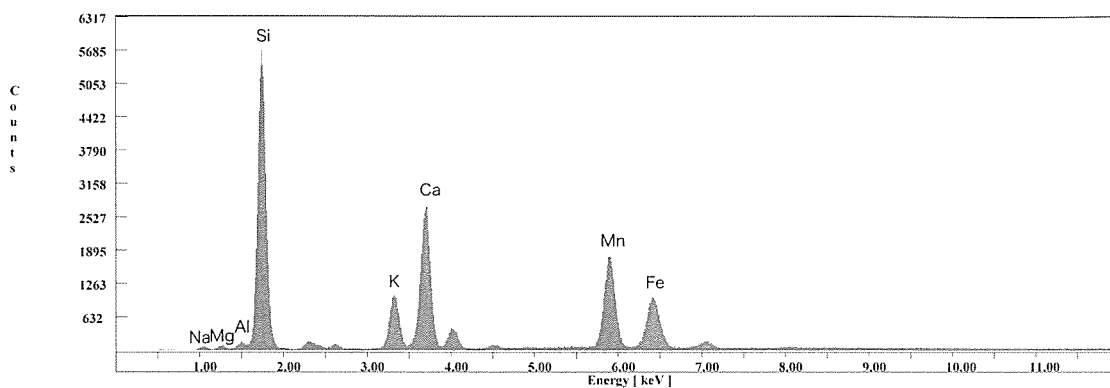
大宰府史跡187次出土資料



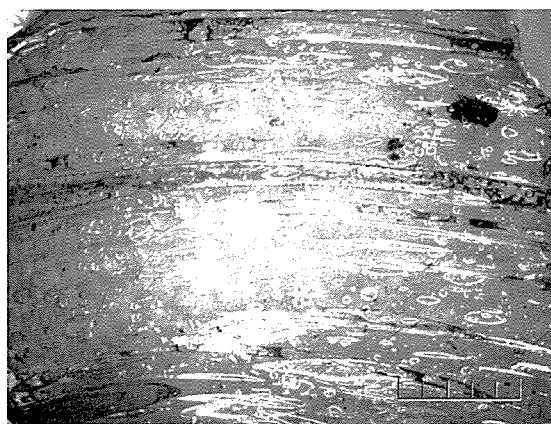
鴻臚館3次出土資料：緑色 (874740002)



鴻臚館3次出土資料：透明 (874740003)

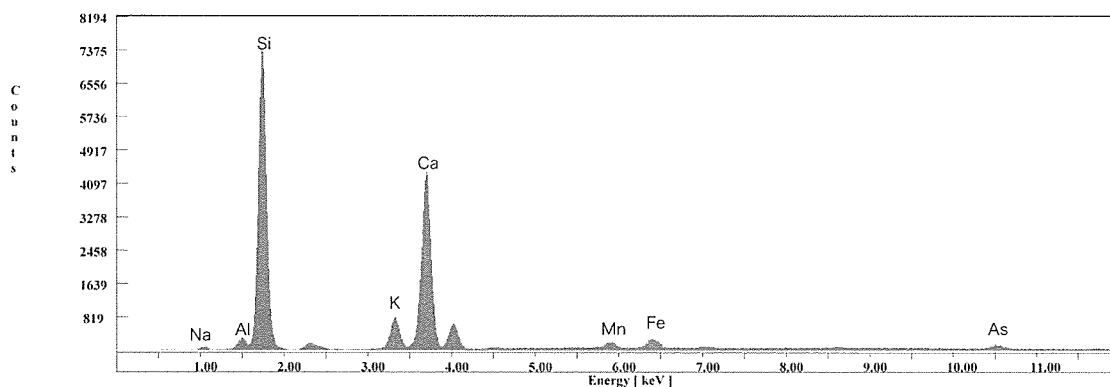


資料の外観

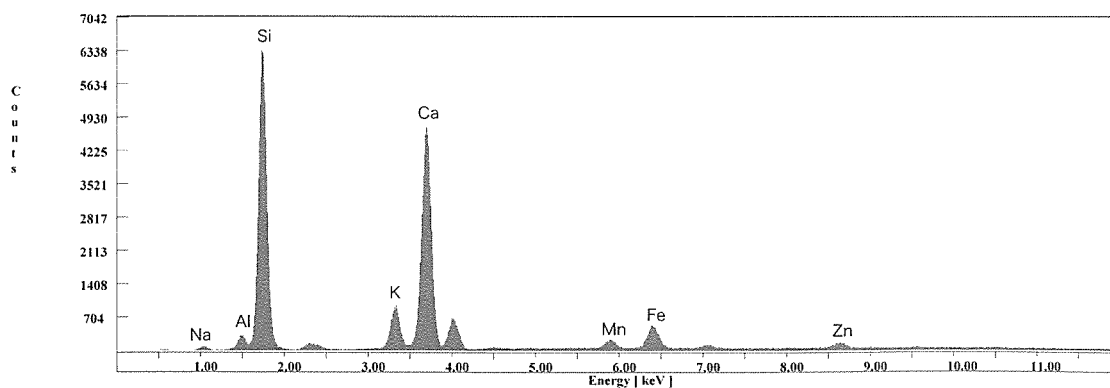


顕微鏡で見た気泡の状況

福岡城址43（鴻臚館17）次出土資料（991040036）



福岡城址43（鴻臚館17）次出土資料：近現代資料（991040009）



福岡城址43（鴻臚館17）次出土資料：近現代資料（991040011）

資料紹介 2：博多遺跡群祇園町工区から出土した古墳時代の鉄釧と鏡

1. 資料の出土状況

標記の資料は、昭和53年に地下鉄建設に伴う発掘調査において、博多祇園町工区本体部のL区で検出されたSK-14から、石製の玉類（勾玉・管玉）とともに出土した。この遺構は、大半が調査区外にかかるが、平面長方形の土墳墓と見られる。遺物は多くが床面近くからの出土であるが、玉類の一部はやや上層からも出土しており、調査者は木蓋上におかれたものもあったと推測している。釧と鏡は一部が接する形で出土。両者に接点の痕跡が残っており、出土状況を再現することが可能である。土器が出土しておらず詳細な時期は不明であるが、副葬品の組成から5世紀前後の時期が想定されている（市報193集）。

2. 鉄釧（登録番号：783303036）

鉄釧は外径7.3cm。当初、砂粒が鉄錆で固着しており詳細な形状は分からなかったが、今回、保存処理に当たり透過X線撮影を行ったところ、太さ5mmほどの断面円形の丸棒を主環として、小型の環を2個付属した構造であることが判明した。また数カ所破断した部分は見られるが、明確な開口部は不明である。クリーニングの結果、小環は幅5mmほどの板を径1.5cm程度に曲げたものであった。この様な小環を付属する鉄釧は、同じ福岡市では西区の金武城田遺跡1号墳でも出土している。竪穴式石室から中国鏡や刀子、多量の滑石製白玉とともに出土した。周溝から出土した土師器より、4世紀後半の時期が考えられている（市報866集）。この釧は主環も板状であり、主体部の構造、鏡の型式といった相違点も見られるものの、鏡、鉄釧、玉類という副葬品の組成で見れば似通っており、祇園町工区SK-14の時期推定の大きな手掛かりになる。

また事前の顕微鏡観察では、鏡と接触してい

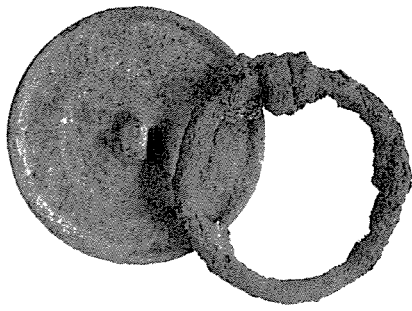
た部分を中心に布と見られる織り目のある繊維が観察された。布としての依存状況は不良で糸の撚りなどが観察できないため断定はできないが、太さから見ると麻などの植物系繊維と見られる。今回は実施していないものの、繊維そのものは形状をよく残しているようなので、電子顕微鏡を用いた観察により、ある程度の絞り込みは可能であろう。クリーニングに当たっては、繊維付着部分や鏡との接触痕跡の部分は保存するように努めて作業を行った。

3. 青銅鏡（登録番号：783303035）

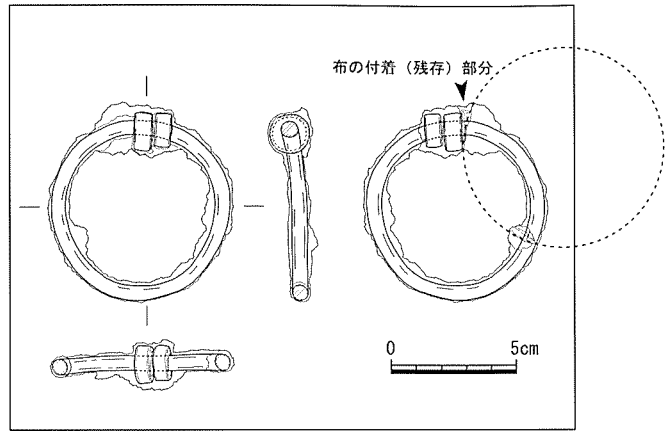
青銅鏡は面径7.95～8cmを計る。文様は非常に不鮮明で、肉眼では僅かに圈線が見られる程度である。透過X線による観察でも状況はほとんど改善されず、外周に僅かに鋸歯文が観察される以外に明瞭な文様は見られない。鈕孔は比較的大きく開いている。鏡には繊維の付着は見られない。釧の繊維も残存範囲は限られており、何の繊維が残ったものかは不明である。

4. 結語

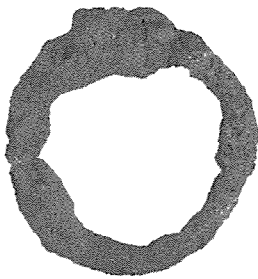
周辺では17・20次及び62次で、鉄器を副葬する方形周溝墓が検出された他、28次調査では、埴輪を巡らせた全長60～65mと推定される前方後円墳、博多1号墳（5世紀前葉）が発見されている。今回取り上げた祇園町工区SK-14も、鏡と鉄釧、そして玉類を副葬品として有しており、博多1号墳と同時期かやや先行する可能性が考えられる有力墳墓として位置づけることができそうである。当該地域の首長系譜を考える上で重要な要素であり、特徴的な釧の発見は被葬者像を推定する上での有益な情報源になるものと考えられる。



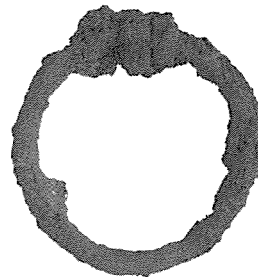
1. 両者に残る接点から復元した出土状況



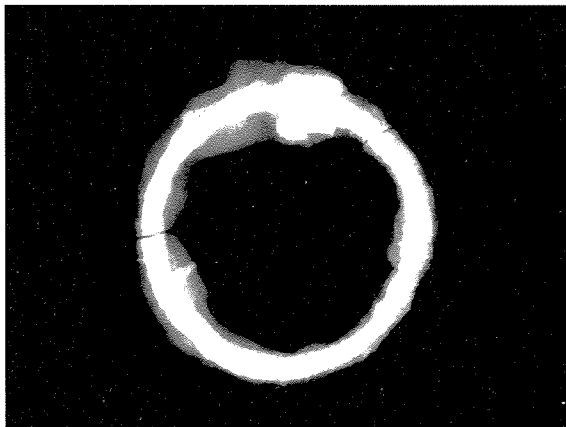
2. 鉄釧実測図 (S=1/3)



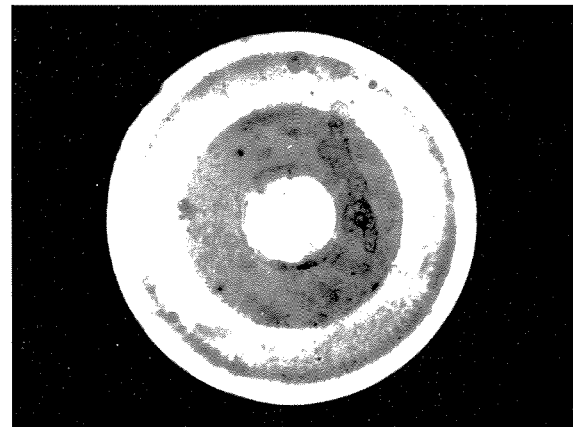
3. 鉄釧の保存処理前



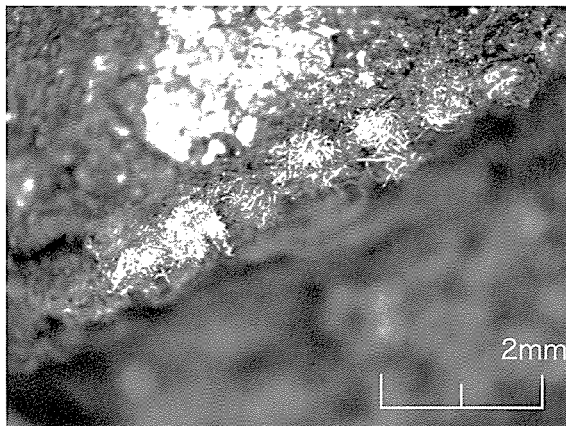
4. 鉄釧の保存処理後



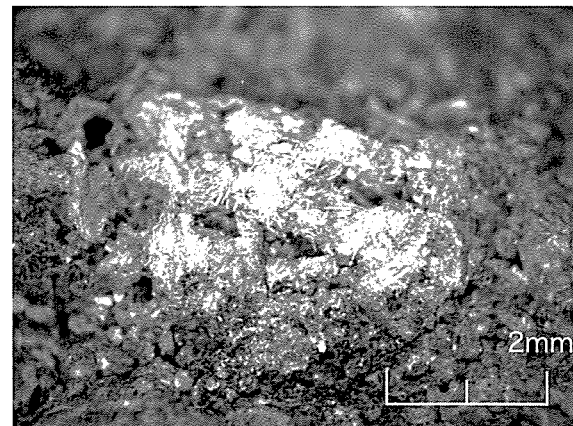
5. 鉄釧の透過X線像



6. 青銅鏡の透過X線像



7. 鉄釧に残る繊維の顕微鏡写真



8. 同左・別角度から

3. 教育・普及

(1) 教育活動

1) 出前授業

福岡市の教育方針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想をもって様々なことを構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。

このため平成17年度から当センターでは、上記の趣旨を生かし、併せて義務教育学校における

る郷土の歴史学習の充実と拡大を図るための具体的施策として、依頼のあった学校へ当センターの学芸員（考古学専門職）を派遣し、出土品に直接触れて歴史を身近に感じると共に古代の生活体験をととして歴史認識を深めることを授業の骨格とする出前授業要項を策定、決定して本格的に事業を開始した。

【平成19年度授業プログラム】

A. 小学校・特別支援学校小学部

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
1	大昔のくらし① 「石と鉄のナイフ」	45分	学級	班	黒曜石製と鉄製のそれぞれのナイフで切り比べ体験。道具の発達を体験をととして学習
2	大昔のくらし② 「火起こし」	45分	学級	班	火起こし道具を用いて発火を体験。火がもたらす生活への影響と変遷を学習。
3	大昔のくらし③ 「祈りとまじない」	45分	学級	班	祈りに用いた品々をととして大昔の人々の生活と想いを学習。祈りが現在に繋がっていることも学ぶ。
4	大陸との交わり① 「シルクロードと鴻臚館」	45分	学級	班	木簡を製作して奈良時代の役人の生活を体験。当時の生活と遠く西アジアとのつながりも学習。
5	大陸との交わり② 「博多とアジア」	45分	学級	班	博多遺跡出土品に触れ、中世における東南アジアとのつながりを学習。

B. 中学校・特別支援学校中学部（理科）

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
11	酸化と還元	50分	学級	班	酸化（錆の発生）と還元（金属の生産方法）を出土品の金属器を用いて具体的に学習。
12	摩擦と熱	50分	学級	班	摩擦と摩擦熱を出土品や複製した発火道具等を用いて具体的に学習。

C. 中学校・特別支援学校中学部（社会）

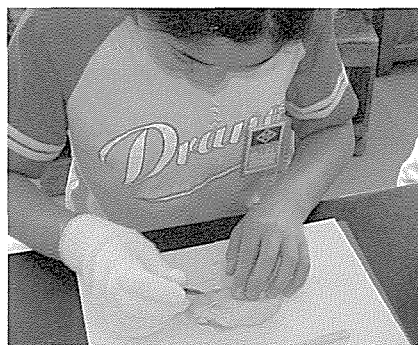
No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
21	金属器の出現と役割	50分	学級	班	黒曜石製と鉄製の各ナイフで切り比べ体験。金属製品が歴史的に果たした役割を学習。
22	焼き物の変遷	50分	学級	班	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・磁器の違いをととして生産技術の発達を学習。

D. 中学校・特別支援学校中学部（数学）

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
33	回転体と文様	50分	学級	班	縄文土器の施文原体を製作体験。縄文土器の文様が回転体によることを学習。



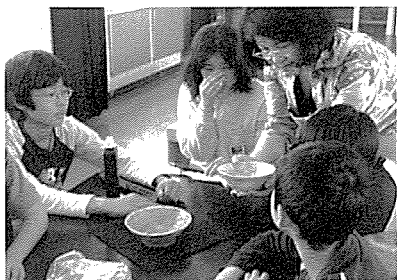
金山小学校（火起こし）



四箇田小学校（石のナイフと鉄のナイフ）



田村小学校（祈りとまじない）



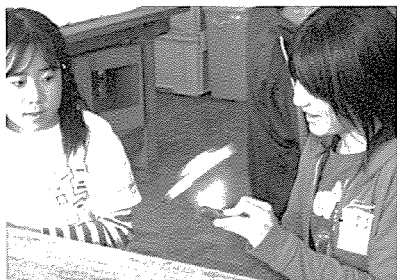
西戸崎小学校（シルクロードと鴻臚館）



簗子小学校（シルクロードと鴻臚館）



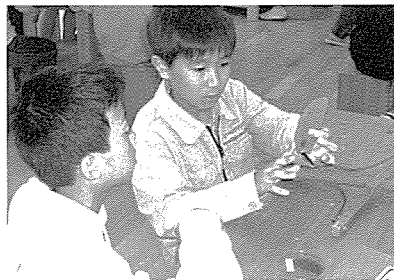
金山小学校（火起こし）



弥生小学校（火起こし）



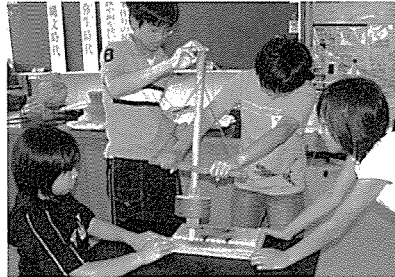
有住小学校（祈りとまじない）



馬出小学校（火起こし）



日佐小学校（火起こし）



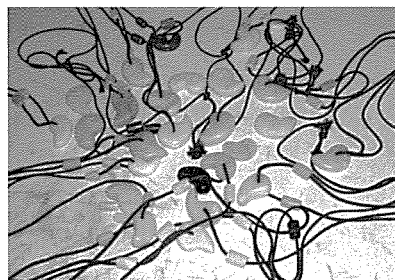
百道浜小学校（火起こし）



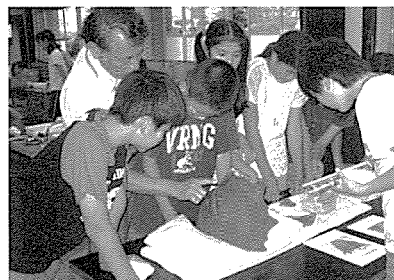
大池小学校（シルクロードと鴻臚館）



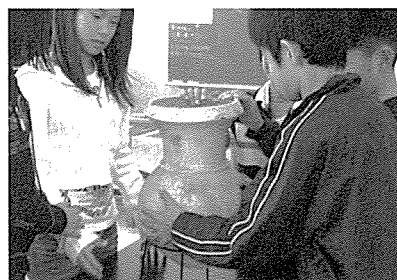
舞松原小学校（シルクロードと鴻臚館）



玄洋小学校（祈りとまじない）



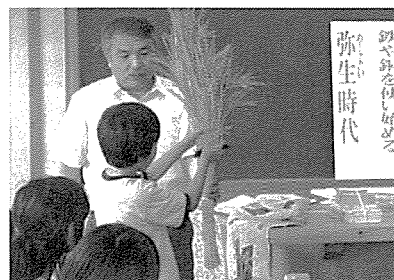
野多目小学校（シルクロードと鴻臚館）



筑紫丘小学校（火起こし）



大楠小学校（火起こし）



小笹小学校（火起こし）



四箇田小学校（石のナイフと鉄のナイフ）



若宮小学校（火起こし）



西戸崎小学校（シルクロードと鴻臚館）

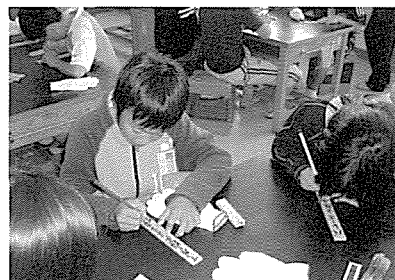
※（ ）内は学習プログラム名



西長住小学校（折りとまじない）



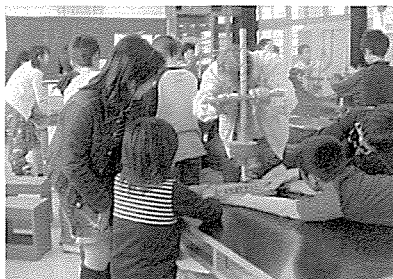
三苫小学校（火起こし）



大池小学校（シルクロードと鴻臚館）



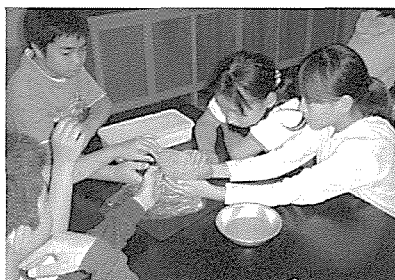
筑紫丘小学校（火起こし）



筑紫丘小学校（火起こし）



田村小学校（折りとまじない）



東住吉小学校（シルクロードと鴻臚館）



百道浜小学校（火起こし）



舞松原小学校（シルクロードと鴻臚館）



簀子小学校（シルクロードと鴻臚館）



屋形原特別支援学校（大昔のくらし）



屋形原特別支援学校（大昔のくらし）



適応指導教室（大昔のくらし）



今津特別支援学校（土器の文様）



今津特別支援学校（土器の文様）



今津特別支援学校（土器の文様）



東光中学校（金属の出現）



東光中学校（金属の出現）

※（ ）内は学習プログラム名

【2007年度出前授業実施状況】

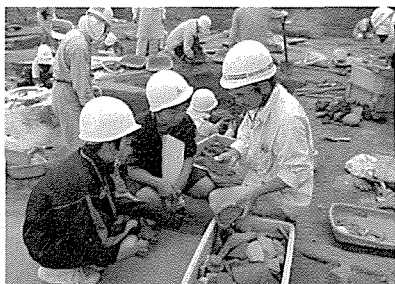
授業実施日	学 校 名	受講生徒数	授業プログラム	授業回数	派遣職員
2007年 4月12日 (木)	北崎小学校	24	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田
2007年 4月12日 (木)	弥生小学校	47	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 4月13日 (金)	香椎下小学校	103	大昔のくらし③「祈りとまじない」	3	柳田・片多
2007年 4月13日 (金)	那珂小学校	182	大昔のくらし②「火起こし」	5	荒牧・比佐
2007年 4月17日 (火)	田村小学校	103	大昔のくらし③「祈りとまじない」	3	柳田・荒牧
2007年 4月17日 (火)	筑紫丘小学校	102	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・田上
2007年 4月18日 (水)	西長住小学校	64	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	柳田
2007年 4月18日 (水)	長尾小学校	120	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・比佐
2007年 4月19日 (木)	愛宕小学校	129	大昔のくらし③「祈りとまじない」	6	柳田・荒牧
2007年 4月19日 (木)	箱崎小学校	78	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 4月25日 (水)	弥永小学校	59	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	柳田・片多
2007年 4月25日 (水)	金山小学校	53	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本・田上
2007年 4月25日 (水)	内野小学校	63	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本・田上
2007年 4月26日 (木)	鳥飼小学校	99	大昔のくらし②「火起こし」	3	柳田・比佐
2007年 4月26日 (木)	賀茂小学校	90	大昔のくらし③「祈りとまじない」	6	荒牧・片多
2007年 4月26日 (木)	早良小学校	27	大昔のくらし③「祈りとまじない」	6	荒牧・片多
2007年 4月27日 (金)	苅岐南小学校	74	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田・片多
2007年 5月 1日 (火)	小田部小学校	132	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	4	比佐・田上
2007年 5月 1日 (火)	塩原小学校	70	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 5月 2日 (水)	板付小学校	115	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・荒牧
2007年 5月 2日 (水)	東箱崎小学校	79	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	瀧本
2007年 5月 8日 (火)	今津小学校	28	大昔のくらし②「火起こし」	2	柳田
2007年 5月 8日 (火)	千代小学校	40	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	荒牧
2007年 5月 9日 (水)	西戸崎小学校	56	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 5月 9日 (水)	有住小学校	41	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	瀧本
2007年 5月10日 (木)	舞松原小学校	93	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・比佐
2007年 5月10日 (木)	原 小学校	97	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・田上
2007年 5月10日 (木)	県立豊小学部	8	大昔のくらし②「火起こし」	1	瀧本・田上
2007年 5月11日 (金)	飯原小学校	63	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 5月11日 (金)	東住吉小学校	27	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 5月11日 (金)	大池小学校	77	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 5月15日 (火)	三宅小学校	124	大昔のくらし③「祈りとまじない」	5	瀧本・荒牧
2007年 5月15日 (火)	四箇田小学校	73	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	2	柳田・片多
2007年 5月16日 (水)	馬出小学校	51	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 5月16日 (水)	和白小学校	120	大昔のくらし③「祈りとまじない」	6	柳田・田上
2007年 5月17日 (木)	三筑小学校	95	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・片多
2007年 5月17日 (木)	那珂南小学校	73	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 5月18日 (金)	有田小学校	112	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・比佐
2007年 5月18日 (金)	香椎小学校	96	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・田上
2007年 5月22日 (火)	奈多小学校	67	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	柳田
2007年 5月22日 (火)	高取小学校	185	大昔のくらし②「火起こし」	5	瀧本・田上
2007年 5月23日 (水)	東吉塚小学校	77	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	荒牧
2007年 5月24日 (木)	百道浜小学校	123	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本・片多
2007年 5月29日 (火)	三苦小学校	110	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・比佐
2007年 5月29日 (火)	月隈小学校	74	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 5月30日 (水)	高木小学校	60	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	田上
2007年 5月30日 (水)	香陵小学校	62	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 6月 1日 (金)	長丘小学校	142	大昔のくらし③「祈りとまじない」	5	柳田・片多
2007年 6月 1日 (金)	小笹小学校	149	大昔のくらし②「火起こし」	4	瀧本
2007年 6月 5日 (火)	日佐小学校	67	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本・片多
2007年 6月 5日 (火)	香住丘小学校	158	大昔のくらし③「祈りとまじない」	7	柳田・荒牧
2007年 6月 6日 (水)	野芥小学校	109	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・比佐
2007年 6月 6日 (水)	堤丘小学校	55	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	瀧本
2007年 6月 7日 (木)	住吉小学校	19	大昔のくらし③「祈りとまじない」	2	瀧本
2007年 6月 7日 (木)	城南小学校	131	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	4	柳田・田上
2007年 6月 8日 (金)	若久小学校	104	大昔のくらし③「祈りとまじない」	6	柳田・比佐
2007年 6月 8日 (金)	若宮小学校	108	大昔のくらし②「火起こし」	3	瀧本・荒牧
2007年 6月12日 (火)	金武小学校	37	大昔のくらし②「火起こし」	1	瀧本
2007年 6月12日 (火)	城浜小学校	41	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 6月13日 (水)	宮松小学校	91	大昔のくらし①「石と鉄のナイフ」	3	瀧本・田上
2007年 6月13日 (水)	北崎小学校	24	地域の歴史	2	柳田
2007年 6月14日 (木)	野多目小学校	126	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	4	柳田・片多
2007年 6月15日 (金)	東光小学校	38	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 6月15日 (金)	大橋小学校	45	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 6月20日 (水)	名島小学校	147	大昔のくらし②「火起こし」	4	荒牧・田上
2007年 6月20日 (水)	美野島小学校	44	大昔のくらし③「祈りとまじない」	4	瀧本
2007年 6月22日 (金)	南当仁小学校	106	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・田上
2007年 6月22日 (金)	適応指導教室	9	大昔のくらし「勾玉作りと火起こし」	2	瀧本
2007年 6月26日 (火)	玄洋小学校	101	大昔のくらし③「祈りとまじない」	3	柳田・片多
2007年 7月 4日 (水)	玄洋中学校	30	元寇防塁	2	柳田
2007年 7月 6日 (水)	東光中学校	57	金属器の出現と役割	2	瀧本
2007年 9月13日 (木)	實子小学校	42	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	瀧本・柳田
2007年 9月14日 (金)	舞鶴小学校	34	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・田上
2007年 9月18日 (火)	今津小学校	28	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	2	柳田
2007年 9月20日 (木)	大名小学校	20	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田・比佐
2007年 10月16日 (火)	屋形原特別支援学校	6	大昔のくらし②「火起こし」	2	瀧本
2007年 10月16日 (火)	多々良中学校	107	金属器の出現と役割	3	柳田・田上
2007年 10月17日 (水)	多々良中学校	107	金属器の出現と役割	3	柳田・片多
2007年 10月18日 (木)	当仁小学校	100	大陸との交わり①「シルクロードと鴻臚館」	3	柳田
2007年 1月29日 (火)	今津特別支援学校	6	大昔のくらし「勾玉作りと火起こし」	2	瀧本
2007年 3月19日 (木)	住吉小学校	28	指導案研究授業「鏡づくり」	2	瀧本
合 計		4,024		129	

2) 職場体験（インターンシップ）

本センターでは、中学生に将来の職業や進路に対する関心や理解を深めてもらうことを目的

として、センター業務を体験する職場体験を受け入れている。

実習期間	平成19年9月25日(火)～9月28日(金)	平成19年11月20日(火)
実習生学校名	福岡市東光中学校	適応指導教室「まつ風学級」
人 数	2名	5名
主な 実習内容	オリエンテーション・施設見学 (0.3日), 保存処理作業 (1日), 発掘調査体験 (0.5日), 資料収蔵作業 (0.5日), 出土品修復作業 (1.5日), 体験発表 (0.2日)	オリエンテーション・施設見学 (0.2日) 出土品修復作業 (0.3日), 発掘調査体験・体験発表 (0.5日)



発掘調査作業(東光中学校)



遺物修復作業(東光中学校)



発掘調査作業(適応指導教室)

3) 博物館実習

毎年、市内外の大学からの博物館学芸員(補)資格取得を目的とした博物館実習の依頼に博物館相当施設である本センターは応じている。2007年度も実習生を受け入れて下記のように実施した。

本センターの実習における特徴として、博多駅地下通路に設置されている2箇所の展示施設(Fギャラリー)を実際に用いることにある。

実習生は二つのグループに分かれ、学芸員の助言を受けながらグループごとに展示計画を立案、検討して、作業を進めていく。実習の最終日前日には、前年度の実習生が展示した作品を撤去した後に、実習生たちだけで展示を行う。後一年間、地下通路を通る人たちの目を楽しめるものとなった。

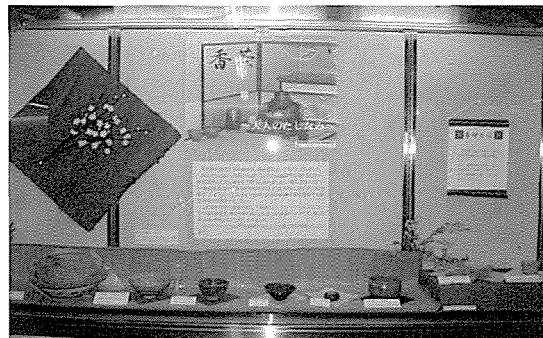
実習期間	平成19年8月21日(火)～9月1日(土)
実習内容	オリエンテーション・施設見学 (0.5日), 資料収蔵管理実習 (1.0日), 教育普及実習 (1.0日), 遺物保存処理実習 (2日), 図書資料管理実習 (0.5日), 展示実習 (4日), 実習反省会・講座受講 (1日)
実習生	11名(西南学院大学英文学科・法律学科・商学科・国際文化学科, 福岡大学歴史学科, 筑紫女学園大学日本語日本文学科, 福岡教育大学環境情報教育課程, 福岡女学院大学人間関係学科, 福岡女子短期大学文化コミュニケーション学科)

	実習内容	担 当
8月21日(火)	オリエンテーション 施設説明・見学 発掘から収蔵活用まで	荒牧 比佐 荒牧
8月22日(水)	教育普及概論 展示計画Ⅰ	瀧本 田上
8月23日(木)	遺物の保存と活用Ⅰ 木製品保存処理実習	比佐 田上
8月24日(金)	遺物の保存と活用Ⅱ 木製品保存処理実習	比佐 田上

8月25日(土)	図書資料整理実習 展示計画Ⅱ	荒牧 比佐
8月28日(火)	展示資料取扱い実習 展示計画Ⅲ	瀧本 田上
8月29日(水)	収蔵棚整理実習 展示計画Ⅳ	荒牧 比佐
8月30日(木)	展示計画Ⅴ	比佐・田上
8月31日(金)	展示準備 「Fギャラリー」展示	比佐 田上
9月1日(土)	実習成果発表	全職員



実習生展示①「博多で発見 ～モチーフ図鑑～」



実習生展示②「香茶 ～大人のたしなみ～」

(2) 普及活動

1) 展 示

①常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と、本市の都市像のひとつである「海と歴史を抱いた文化都市」に則した「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第1展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果を「埋蔵文化財とは何か」、「埋蔵文化財の保存処理」、「埋蔵文化財の修復」、「発掘現場での保存科学的作業」、「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」、「埋蔵文化財と考古学」、「旧石器・縄文時代の福岡」の項目で展示している。木器・金属器等の科学的保存処理の成果を展示し

ている。

第2展示室では、江戸時代に鎖国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」、「奴国以前」、「大型建物」、「環濠・大溝・条溝」、「墳丘墓」、「争う」、「交流と交易」、「祭る」、「装う」、「まかなう」、「つくる」と「日本の玄関・博多」、「鴻臚館の時代」、「匠」、「海外との交易」、「国内の交易」、「中世博多の情景」、「たしなむ・木器・金あそぶ」、「戦乱」の項目でテーマ展示を行っている。



第1展示室



第2展示室

第3展示室は、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展、発掘

調査速報展・特別展などを実施している。2007年度は下表のとおり7回の展示会を実施した。

【第3展示室展览会開催一覧】

種 別	名 称	期 間
企画室	「邪馬台国の時代」前期展	2007年 4月21日～2007年 8月26日
	「邪馬台国の時代」後期展	2007年11月 3日～2008年 3月30日
特別展	「甕の出土遺物—平成18年度保存処理成果—」展	2007年 9月 1日～2007年10月28日
	「平成19年度市指定文化財資料」展	2008年 3月25日～2007年 4月 6日
調査速報展	今宿五郎江遺跡発掘調査速報展	2007年 8月10日～2007年 8月19日
	那珂遺跡発掘調査速報展	2007年 9月15日～2007年 9月28日
	今宿五郎江遺跡発掘調査速報展「一印章—」	2007年12月 2日～2007年12月16日



「邪馬台国の時代」前期展



「邪馬台国の時代」後期展



「今宿五郎江遺跡」発掘調査速報展

②館外展示

本センターでは、出土品の活用の一環として、地域・学校・家庭の中に出土品と接する機会を積極的に設け、市民の文化財保護に対する理解が自然と深まるように努めている。

A ま〜るごと博物館

市役所・区役所庁内の各フロアーや地下鉄駅構内に市内遺跡出土品を展示して市民や内外の来訪者が容易に本市の歴史と接する機会を設けたもの。将来的には各建物全体に展示テーマに即した資料を配置して、施設を一巡することで歴史を身近に感じられるようにするものである。

【設置場所】

市議会議員・副議長室／教育長室・教育次長室／国際センター／地下鉄藤崎駅／博多駅地下通路

B オラガマチ博物館

小学校や公民館に小型展示ケースを設置して遺跡から出土した考古資料を展示するもの。特に展示品は各校区内の遺跡から出土したものに限定することにより、生徒や利用者が校区の歴史と容易に接することを可能とした。さらに人々が歴史を身近に感じるにより、ふるさとを誇りに思える環境のひとつを提供するものである。

【設置場所】

三苫小学校／名島小学校／東箱崎小学校／馬出小学校／板付北小学校／野多目小学校／賀茂小学校／城原小学校／四箇田公民館／横浜地区自治会館

C 出前博物館

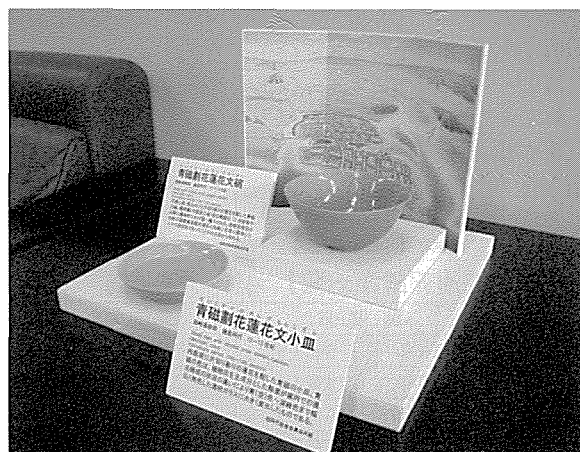
地域商店街や自治会、さらには市内で開かれる各種フェスタ・学会等の主催者と連携して福岡市の歴史理解を深めてもらうことを目的とし、依頼に基づいたテーマに沿った地域短期型の展示会を開催するもの。本センターが企画から展示まで担当し、依頼者はテーマと展示会場の確保だけを担うものである。

【開催者】

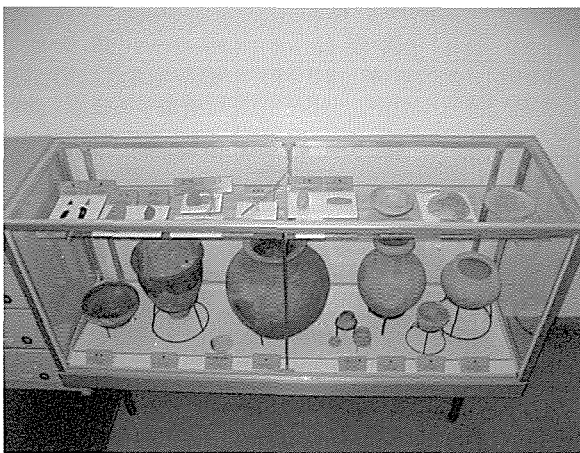
高取商店街



地下鉄藤崎駅構内



教育長室



城原小学校



四箇田公民館



高取商店街

2) 公開講座

①考古学講座

2007年度の考古学講座は、「邪馬台国の時代」をテーマとし、2006年度で学んだ奴国を取り巻く北部九州の国々の状況を踏まえ、同時期において巨大勢力が存在した出雲、吉備・瀬戸内、畿内の様相を明らかにすると共に邪馬台国の存在地を明らかにしようと試みるものである。このため、最近の発掘調査成果による研究成果をもとに掘り下げるべく、それぞれの研究分野の第一人者を招いて6回の講座を開催した。

【考古学講座一覧】

	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	2007年 4月28日(土)	三世紀の鏡 ―ツクシとヤマト―	芦屋市教育委員会 森岡秀人 氏	206名
第2回	2007年 5月26日(土)	武器形青銅器の終焉と大型墳丘墓の出現	久留米大学 柳田康雄 氏	164名
第3回	2007年 6月23日(土)	出雲の様相	島根大学 渡邊貞幸 氏	228名
第4回	2007年10月27日(土)	銅鐸のマツリから前方後円墳祭祀へ―「首長」の誕生と前方後円墳の本質―	奈良県立橿原考古学研究所 寺沢 薫 氏	178名
第5回	2007年11月17日(土)	瀬戸内の様相 ―四国の3世紀―	松山市考古館 梅木謙一 氏	132名
第6回	2007年12月15日(土)	2・3世紀における極東アジアの情勢と倭	徳島文理大学 石野博信 氏	168名

【発掘調査速報講座一覧】

	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	2007年 6月 9日(土)	今宿五郎江遺跡	福岡市教育委員会 加藤隆也	87名
第2回	2007年 7月14日(土)	老司瓦窯跡	福岡市教育委員会 榎本義嗣	89名
第3回	2007年 9月15日(土)	那珂遺跡	福岡市教育委員会 吉武 学	76名
第4回	2008年 3月15日(土)	遺跡調査総まとめ ―平成19年度市内遺跡調査から―	福岡市教育委員会 常松幹雄	91名

【考古学特別講座一覧】

	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	2007年 6月10日(土)	「福岡市・釜山広域市文化財担当者交流事業成果報告」 青銅矛の儀器・祭器的機能 ―弁・辰韓地域出土例を中心に―	釜山市福泉博物館 林 昭延 氏	87名
第2回	2007年 9月 1日(土)	甕の出土遺物 ―平成18年度保存処理成果について―	福岡市教育委員会 比佐陽一郎 田上勇一郎	82名



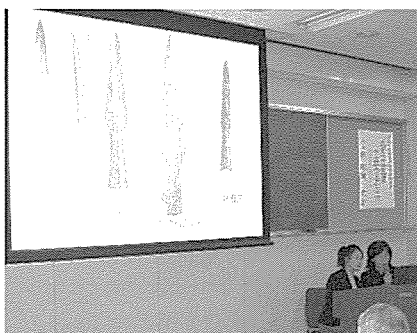
『考古学講座.3』風景(渡辺先生)



『考古学講座.4』風景(寺澤先生)



『考古学講座.6』風景(石野先生)



『特別講座.1』風景(林先生)



『特別講座.2』展示説明風景(田上)



『発掘調査速報講座.2』風景(榎本)

3) 資料利用

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は館内利用と館外利用（貸出）とに分かれる。

近年において考古資料の利用点数が高水準で推移しているのは、福岡市史編纂に伴う骨類の調査が要因である。貸出期間が1年以上の案件を長期貸出、未満を短期貸出として区分している。

【館内利用】

利用種類	件数	点 数
考古資料	149	10,436
写真・記録類	11	618
図 書	312	1,709
計	472	12,763

【館内利用】

貸出種類	件数	点 数		
		考古資料	写真他	合 計
長期貸出	41	2,230	24	2,254
短期貸出	57	818	209	1,027
計	98	3,048	233	3,281

4) 図書の収蔵と閲覧

①2007年度図書受入状況 計3,708冊（一般3,304・雑誌404）

内訳：購入161冊（一般11・雑誌150）・受贈3,547冊（一般3,293・雑誌254）

②2007年度廃棄蔵書数 29冊

③2007年度末蔵書数 61,881冊（購入8,939・受贈52,971）

5) 施設利用

利 用 日	利 用 者	利用内容	人数	利用施設
2007年 4月14日(土)	東アジア考古学会	例 会	15名	研修室
2007年 5月 8日(火)	福岡市職員課	研 修	32名	研修室
2007年 5月 9日(水)	福岡市職員課	研 修	28名	研修室
2007年 6月16日(土)	東アジア考古学会	例 会	20名	研修室
2007年 6月27日(水)	木簡検討会	資料検討	13名	研修室
2007年 7月21日(土)	土器付着炭化物検討会	資料検討	18名	研修室
2007年 7月22日(日)	土器付着炭化物検討会	資料検討	18名	研修室
2007年 9月22日(土)	福岡考古学会	例 会	6名	会議室
2007年 9月29日(土)	九州旧石器研究会	例 会	70名	研修室
2007年 9月30日(日)	九州旧石器研究会	例 会	60名	研修室

利 用 日	利 用 者	利用内容	人数	利用施設
2007年 9月30日(日)	九州旧石器研究会	例 会	60名	研修室
2007年10月18日(木)	鴻臚館跡調査研究指導委員会	指導委員会	35名	研修室
2007年10月21日(日)	出土銭貨研究会	資料検討	10名	会議室
2007年10月25日(木)	福岡市文化財部技術者会議	例 会	10名	会議室
2007年11月10日(土)	東アジア考古学会	例 会	20名	研修室
2008年 1月19日(土)	研究会	例 会	12名	会議室
2008年 2月23日(土)	中四国九州保存修復研究会	例 会	47名	研修室
2008年 2月24日(日)	中四国九州保存修復研究会	例 会	47名	研修室
2008年 3月 1日(土)	歴史民族博物館科学研究会	検討会	20名	研修室
2008年 3月 2日(日)	歴史民族博物館科学研究会	検討会	20名	研修室

6) 団体見学

見 学 日	団 体 名	人 数
2007年 5月 2日(水)	福岡市立西花畑小学校	124名
2007年 5月 8日(火)	福岡市立堤小学校	108名
2007年 5月19日(土)	ながさき古代探訪	28名
2007年 5月25日(金)	山口県和田小学校	20名
2007年 5月31日(木)	福岡市立柏原小学校	109名
2007年 6月 9日(水)	(株)カーグリーン会津	11名
2007年 6月13日(水)	福岡市立板付小学校	116名
2007年 6月17日(水)	NHK文化センター	16名
2007年 6月17日(水)	別府大学	23名
2007年 6月23日(土)	福岡女学院	16名
2007年 7月 7日(土)	みやま市山川町郷土史研究会	20名
2007年 8月 2日(木)	大野城市子ども考古学教室	20名
2007年 8月24日(金)	九州地方整備局	6名
2007年 8月25日(土)	入部校区人権尊重推進協議会	36名
2007年 9月14日(金)	金山校区人権尊重推進協議会	36名
2007年 9月14日(金)	城南区役所	23名
2007年 9月23日(日)	郷土史研究会	11名
2007年 9月26日(水)	福岡市立板付小学校	11名
2007年 9月26日(水)	筑紫女学園高校	4名
2007年10月 3日(水)	福岡市立板付小学校	12名
2007年10月 6日(土)	多次元的古代研究会	32名

見 学 日	団 体 名	人 数
2007年10月20日(土)	東アジア古代文化を考える会	14名
2007年10月21日(日)	史好会	14名
2007年10月24日(水)	福岡市立板付小学校	12名
2007年10月26日(金)	ディーサービスひだまり	9名
2007年10月28日(日)	別府大学	13名
2007年10月31日(水)	サザンクラブ	60名
2007年10月31日(水)	老司公民館	50名
2007年10月31日(水)	福岡市立名島小学校	152名
2007年11月 8日(木)	中国遼寧省文物考古研究所	13名
2007年11月20日(火)	福岡市教育センター	8名
2007年12月 2日(日)	青少年育成連合会	40名
2008年 1月11日(金)	いのちの旅博物館歴史友の会	7名
2008年 1月23日(水)	A・T・N MODE	40名
2008年 2月 3日(日)	松山クラブ	11名
2008年 2月17日(日)	いのちの旅博物館歴史友の会	67名
2008年 2月21日(木)	馬出公民館	28名
2008年 2月23日(土)	第二いわお園	29名
2008年 3月 8日(土)	東北芸術工科大学	6名
2008年 3月 9日(日)	戸畑郷土史会	14名
2008年 3月27日(木)	大阪府高齢者大学	27名

7) 刊 行 物

- 『福岡市埋蔵文化財センター年報』第26号 平成18（2006）年度 A4版44ページ。2008年1月31日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。
- 『見学のしおり』（展示案内パンフレット）B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。
- 『マイコレ』（児童向け収蔵品紹介）変形A4版3つ折り6ページ。児童に無料配布。
- 『2008年度講座案内』（チラシ）A4版2ページ。文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。

平成19(2007)年度資料貸出等一覧

件数	区分	申請者	資料名	点数			貸出日	備考
				遺物	写真	他計		
1	A	福岡市博物館学芸課	城ノ原他	1232	0	0	1232	20070401 常設展示
2	A	国立歴史民俗博物館	板付・有田・三筑	25	0	0	25	20070401 常設展示
3	A	大阪府立弥生文化博物館	今山・藤崎・有田他	24	0	0	24	20070401 常設展示
4	A	広島県立歴史博物館	博多陶磁器	6	0	0	6	20070401 常設展示
5	A	焼津市歴史民俗資料館	藤崎58号甕棺	2	0	0	2	20070401 常設展示
6	A	新宮町教育委員会	石丸古川・飯氏ゾウサ土器	3	0	0	3	20070401 町立歴史資料館内常設展示
7	A	リコーテクノシステムズ(株)九州支社	比恵25次土器	3	0	0	3	20070401 ロビー常設展示
8	A	グランドホームサンケア和白	唐原土器・展示台	6	0	4	10	20070401 ロビー常設展示
9	A	粕屋町教育委員会	戸原麦尾六花鏡・陶磁器	44	0	0	44	20070401 町立歴史資料館内常設展示
10	A	菊池市教育委員会	博多人骨・陶磁器他	150	0	0	150	20070401 菊池神社歴史館内常設展示
11	A	東京国立博物館	鴻臚館陶磁器	23	0	0	23	20070401 平成館考古展示室常設展示
12	A	市立賀茂小学校	鶴町土器・石器	36	0	0	36	20070401 校内常設展示
13	A	市立馬出小学校	藤崎馬出土器	6	0	0	6	20070401 校内常設展示
14	A・B・C	市立三苫小学校	三苫土器・石器・ケース	69	3	2	74	20070401 校内常設展示
15	A	市立野多目小学校	野多目土器	47	0	0	47	20070401 校内常設展示
16	A	市立名島小学校	蒲田・海の中道他	28	0	0	28	20070401 校内常設展示
17	A	市立東箱崎小学校	箱崎・板付他	7	0	0	7	20070401 校内常設展示
18	A	市立城原小学校	拾六町ツイジ	35	0	0	35	20071215 校内常設展示
19	A	市立板付北小学校	板付土器	10	0	0	10	20070401 校内常設展示
20	A・B・C	博多区総務部振興課	博多土器・陶磁器他	25	12	2	39	20070401 まちかど文化ひろば「えふギャラリー」展示
21	A	福岡市交通局	藤崎3次甕棺	4	0	0	4	20070401 藤崎駅常設展示
22	A	文化財管理課(鴻臚館展示館)	鴻臚館跡出土陶磁器など	113	0	0	113	20070401 鴻臚館展示館
23	A	文化財管理課(金隈展示館)	金隈遺跡出土土器	61	0	0	61	20070401 金隈遺跡展示館
24	A	文化財管理課(野方遺跡展示館)	野方遺跡出土遺物	42	0	0	42	20070401 野方遺跡展示館
25	A	文化財管理課(板付弥生ムラ)	板付遺跡出土遺物	71	0	0	71	20070401 板付遺跡展示館
26	A	群馬県立歴史博物館	藤崎50号甕棺	2	0	0	2	20070401 館内常設展示
27	A	神戸市教育委員会	有田64次甕棺	3	0	0	3	20070401 埋蔵文化財センター内常設展示
28	A	高口宿屋ビル	博多126次白磁他	7	0	0	7	20070401 エントランス常設展示
29	A	市立市川考古博物館	西新町2次12号甕棺	2	0	0	2	20070401 館内常設展示
30	A	今宿横浜地区すみよい町づくりの会	今山石斧・土器	18	0	0	18	20070401 自治会館内常設展示
31	A	古賀市教育委員会	藤崎2次40号甕棺他	2	0	1	3	20070401 古賀市歴史資料館常設展示
32	A	東北歴史博物館	有田7次弥生壺	1	0	0	1	20070401 館内常設展示
33	A	西南学院大学	羽根戸原C須磨器	20	0	0	20	20070401 博物館実習教材
34	A	福岡市博物館管理課	藤崎・徳永他土器	10	0	0	10	20070401 博物館体験学習
35	A	福岡市四箇田公民館	四箇田第2次精製土器・十字型石器など	8	0	0	8	20070401 館内常設展示
36	A	議会事務局 総務課		2	0	0	2	20070401 議長室・副議長室に展示
37	A	福岡市教育委員会(教育長室)	比恵84次壺・クエゾノ遺跡有蓋高坏セット	2	0	0	2	20070704 教育長室
38	A	福岡市教育委員会総務課	鴻臚館出土品	2	0	0	2	20070704 教育次長室
39	A	(財)福岡コンベンションセンター	雀居12次壺	2	0	0	2	20070401 国際センター内に展示
40	A	茨城県立歴史館	吉武高木遺跡・藤崎遺跡出土甕棺	4			4	20070401 館内常設展示
41	A	九州国立博物館	雀居遺跡出土案など	55			55	20070401 常設展示
42	B	(財)ベネッセコーポレーション	板付遺跡出土土器		1		1	— 単元別問題8回
43	C	福岡市埋蔵文化財センター	SONY DCR-HC30			1	1	20070523 遺物の撮影
44	B	(株)フォト・オリジナル	四箇田遺跡出土二又鍬ほか		2		2	20070605 (株)文理刊「社会科写真史料問題集」
45	B	福岡市文化財部	野多目(846)ほか		25		25	20070525 大学の講義資料
46	B	(株)至文堂	柏原遺跡F出土深鉢		1		1	— 『日本の美術 第495号』[縄文土器 草創期・早期]
47	A	九州歴史資料館	比恵遺跡第25次出土木製具ほか	2			2	20070619 『モノから学ぶ考古学』展
48	B	福岡市文化財部	板付ほかスライド		38		38	20070531 講義資料
49	B	文化財整備課	博多111ほか		15		15	20070601 出版物に使用
50	A	国立歴史民俗博物館	雀居遺跡出土組合せ鍬ほか	34			34	20070614 「弥生時代はいつから?—年代研究の最新線—」展
51	D	福岡市教育委員会文化財部	服飾・化粧道具関係遺物				0	— 「中世の博多を掘る」
52	D	(株)至文堂	柏原遺跡F出土深鉢				0	— 「日本の美術 第495号」[縄文土器 草創期・早期]
53	D	福岡市史編纂室	銅銭拓本ほか				0	— 市政だより fukuoka 第5号
54	D	福岡市史編纂室	比恵遺跡				0	— 第3回福岡市史講演会
55	D	(株)至文堂	柏原遺跡出土深鉢				0	— 「日本の美術 第495号」[縄文土器 草創期・早期]
56	A	荒神谷博物館	雀居遺跡第5次出土土製単甲ほか	4			4	20070619 平成19年度特別展「記—荒神谷銅剣一戦—」
57	B	荒神谷博物館	雀居遺跡第5次出土土製単甲・盾		1		1	20070608 平成19年度特別展「記—荒神谷銅剣一戦—」
58	B	福岡市文化財部	仲島2次		1		1	20070608 報告書整理のため
59	D	(株)岩波書店	桑原石ヶ元古墳出土耳環				0	— 村上隆著「金・銀・銅の日本史」
60	B	青谷上寺地遺跡展示館	藤崎遺跡ほか		4		4	20070622 企画展「日本海側にみる弥生のガラス」展
61	B	文化財管理課	金隈遺跡ほか		9		9	20070709 金隈遺跡展示館内説明パネル
62	B	福岡市文化財部	藤崎ほか		55		55	20070615 大学の講義資料
63	E	福岡大学考古学研究室	梅林古墳土器	1			1	— MBC放送局「韓国の長鼓壺特集」
64	D	(株)テルス	農耕具・土器				0	— NHK教育テレビ「天才てれびくんMAX」
65	E	(株)テルス	農耕具・土器				0	20070620 NHK教育テレビ「天才てれびくんMAX」
66	B	第一法規(株)	雀居遺跡出土土器3点集合写真		1		1	20070706 『月刊文化財 平成19年8月号』
67	A	丸隈山古墳保存会	丸隈山古墳出土水鳥形埴輪	1			1	20070719 水鳥埴輪(レプリカ)作成の為
68	B	福岡市文化財部	スライド		1		1	20070705 ぶどうの会 研修会
69	B	福岡市文化財部	席田青木一次など		15		15	20070706 講義資料
70	D	国立歴史民俗博物館	橋本一丁田遺跡出土方形浅鉢				0	— 学術創世研究ニューズレター 8号およびホームページ
71	A	博物館市史編纂室	博多遺跡第8次炭化穀物ほか	17			17	20070715 『新修 福岡市史 資料編考古3』
72	D	(株)小学館	板付遺跡				0	— 早川和子著『よみがえる日本の古代』
73	A	下関市立考古博物館	橋本一丁田遺跡鍬ほか	24			24	200709中旬 「木の文化—ハレとケの世界—」展
74	B	下関市立考古博物館	橋本一丁田遺跡鍬ほか		40		40	20070720 「木の文化—ハレとケの世界—」展
75	B	(有)オフィスJ・B	板付遺跡出土土器		1		1	20070719 「CG日本史シリーズ古代日本(仮題)」
76	B	文化財整備課	海の中道跡4次		5		5	— 鴻臚館跡発掘20周年記念リーフレット
77	D	九州大学大学院人文科学研究院	老司古墳ほか				0	— 鏡と初期ヤマト政権
78	E	大阪府立近つ飛鳥博物館	鏡先古墳出土ほか	28			28	20070801 「横穴式石室誕生—黄泉国の成立—」展

件数	区分	申請者	資料名	点数				貸出日	備考
				遺物	写真	他	計		
79	B	埋蔵文化財課	博多144次ほか		29		29	20070728	図録作成
80	A	椎葉民俗芸能博物館	大原D遺跡縄文土器ほか	6			6	20070829	『先史時代農耕と九州山地の焼畑』展
81	B	椎葉民俗芸能博物館	大原D遺跡ほか		3		3	20070808	『先史時代農耕と九州山地の焼畑』展
82	A	大阪府立近つ飛鳥博物館	鉾先古墳出土ほか	40			40	20070918	『横穴式石室誕生—黄泉国の成立—』展
83	B	大阪府立近つ飛鳥博物館	鉾先古墳玄室前壁ほか		12		12	20070814	『横穴式石室誕生—黄泉国の成立—』展
84	B	文化財整備課	築港線1次ほか		17		17	20070814	図書作成
85	A	島根県立古代出雲歴史博物館	有田遺跡177次前漢鏡ほか	16			16	200709下旬	企画展「弥生王墓誕生」展
86	B	島根県立古代出雲歴史博物館	藤崎遺跡3次ほか		11		11	20070818	企画展「弥生王墓誕生」展
87	B	東京法令出版(株)	藤崎遺跡13次甕棺墓ほか	2			2	20070824	『小学ウィンパス』
88	B	東京法令出版(株)	有田七田前遺跡出土甕	1			1	20070825	『新日本史総覧(仮称)』
89	D	タイ国立シラパコーン大学院	福岡市文化財調査報告書183集資料				0	—	「モノから見た海域アジア交流」
90	D	(株)フォト・オリジナル	藤崎遺跡13次甕棺墓ほか				0	—	「新日本史総覧(仮称)」
91	D	(株)アルパ	板付遺跡ほか				0	—	「総合百科事典ポプラディア」シリーズ
92	A	博物館学芸課	博多遺跡群120次青磁花入ほか	78			78	20070825	平成19年度部門別展「博多を掘る」
93	B	博物館学芸課	博多遺跡群31次ほか		5		5	20070825	平成19年度部門別展「博多を掘る」
94	A	水巻町教育委員会	博多遺跡138次絵馬墨書杯ほか	2			2	20071002	企画展「水巻の神社・絵馬」
95	B	水巻町教育委員会	博多遺跡138次絵馬墨書杯ほか		2		2	20070825	企画展「水巻の神社・絵馬」
96	A	福岡市博物館	鴻臚館展開催資料	1			1	20070830	平成19年度特別展「古代の博多—鴻臚館とその時代—」
97	B	小郡市教育委員会	上月遺跡銅剣		1		1	20070907	『幸福銅剣と保存科学—考古学と保存科学のあいだ—』
98	B	福岡市文化財部	藤崎2次ほか	3			3	20070901	出版物作成
99	B	(株)至文堂	四箇遺跡20次鉢形土器	1			1	20070907	『日本の美術 第498号』『縄文土器 後期』
100	B	福岡市博物館 市史編纂室	昭和初期地図群	81			81	20070907	資料をデジタル複製するため
101	D	(株)アートよみうり	越前窯系青磁水注ほか				0	—	特別展「鴻臚館とその時代」
102	D	時事通信社	橋本一丁田遺跡2次浅鉢形土器				0	—	「弥生時代後期をテーマにした記事」
103	D	西日本新聞社広告局	博多遺跡群墨書土器ほか				0	—	西日本新聞 9月29日朝刊
104	B	(株)オルカビジョン	危機分析データ画像	1			1	20070922	教育支援Webサイト「ニュークバル」
105	B	(株)至文堂	雀居遺跡5次壺ほか		2		2	20070926	『日本の美術 第499号』『縄文土器 晩期』
106	A	前原市教育委員会	比恵遺跡53次土器ほか	12			12	20071003	秋季特別展「倭人の海道—一支国と伊都国—」
107	D	(株)小学館	板付遺跡出土土器ほか				0	—	『日本の歴史』第1巻「列島創世記」
108	D	個人	藤崎遺跡出土銅鏡				0	—	「王権と武器と信仰(仮題)」
109	A	福岡市文化財部	雀居12次出土土器	1			1	20071016	ボランティア講座
110	B	福岡市文化財部	博多111次メダイ		1		1	20071012	書籍作成
111	D	(株)朝倉書店	板付1式期水田実測図ほか				0	—	『アジアの歴史地理』第2巻「都市と農地景観」
112	A	福岡市博物館 市史編纂室	博多遺跡出土動物遺存体	1			1	20071115	福岡市史編纂事業の調査
113	D	毎日新聞	鉾先古墳石室				0	—	毎日新聞文化面
114	D	(有)海鳥社	博多遺跡出土「丁網」墨書磁器碗				0	—	川添昭二著「中世・近世博多史話」
115	E	(株)インフロント	博多遺跡出土鉢	1			1	20071101	J・COM福岡「ふくはく見聞録〜まんじゅうの発祥博多にあり〜」
116	D	(株)オルカビジョン	笹遺跡出土土器3点集合写真				0	—	教育支援Webサイト「ニュークバル」
117	D	(財)日本原子力文化振興財団	雀居遺跡出土土器3点集合写真				0	—	『原子力・エネルギー』の副読本
118	B	(株)新人物往来社	元岡・桑原遺跡20次出土土簡ほか		2		2	20071107	月刊「歴史読本」2008年1月号
119	D	宮崎県埋蔵文化財センター	福岡市内出土火打ち石ほか				0	—	申請者執筆論文に掲載
120	D	(株)明石書店	福岡市内遺跡出土土器				0	—	保高英児氏著「列島に映る古代出雲をたずねて」
121	D	博物館市史編纂室	下月隈C遺跡6次調査植物核ほか				0	—	「市史だより fukuoka」第6号
122	A	九州歴史資料館	雑餉隈遺跡15次出土資料ほか	19			19	20071204	企画展「渡来人が伝えたもの—基から探る弥生文化成立の実像」
123	B	九州歴史資料館	雑餉隈遺跡15次出土資料ほか		17		17	20071126	企画展「渡来人が伝えたもの—基から探る弥生文化成立の実像」
124	E	九州大学人文科学研究院	博多遺跡出土元青花ほか	10			10	20071127	『モノから見た海域アジア』
125	D	(財)大阪府文化財協会	雀居遺跡出土土器ほか				0	—	『九州大学考古学研究会50周年記念論文集』
126	B	(株)雄山閣	今山遺跡8次ほか		4		4	20071207	『季刊考古学』第102号
127	D	(株)小学館	元岡・桑原遺跡20次出土土簡ほか				0	—	『日本の歴史』第3巻「律令国家と万葉人」
128	B	(株)帝国書院	金隈遺跡1次風景写真ほか	5			5	20071209	『中学校スタンダード歴史資料—福岡県の歴史—』
129	D	(株)郷土出版社	博多遺跡出土中国系瓦ほか				0	—	『図説 福岡・宗像・糸島の歴史』
130	B	(株)郷土出版社	有田遺跡5次貯蔵穴群ほか	4			4	20071214	『図説 福岡・宗像・糸島の歴史』
131	D	(株)九州テクノリサーチ	羽根戸南古墳群3次鉄滓出土状況写真				0	—	北九州市産業博物館展示資料
132	A	福岡市博物館	箱崎23 楠葉型瓦器碗ほか	33			33	20080115	「やきものに見る中世瀬戸内と博多」
133	A	福岡市文化財部	有田遺跡5次貯蔵穴土壌サンプル	24			24	—	種子分析のため
134	D	(株)小学館	博多遺跡出土中国産瓦ほか				0	—	『日本の歴史』第4巻「揺れ動く貴族社会」
135	D	福岡市博物館 市史編纂室	高畑遺跡出土人面墨書土器ほか				0	—	「市史だより fukuoka」第3号
136	A	佐賀県立名護屋城博物館	名島城跡出土瓦ほか	11			11	20080205	「城を移す 一名護屋から唐津へ」
137	D	(株)大和書房	雀居遺跡出土方形浅鉢ほか				0	—	『東アジアの古代文化』134号
138	B	福岡市文化財部	海の中道遺跡第3次	1			1	20080225	『図説 福岡・粕屋・宗像・糸島の歴史』
139	B	福岡市文化財部	博多小学校防塁跡	1			1	20080225	『図説 福岡・粕屋・宗像・糸島の歴史』
140	B	福岡市文化財部	吉武遺跡第9次甕棺墓ほか	65			65	20080212	調査報告書作成
141	B	福岡市文化財部	博多遺跡遺構	19			19	20080212	『展示パネル』
142	A	福岡市文化財部	元岡遺跡	104			104	20080212	調査報告書作成
143	A	(財)福岡コンベンションセンター	鴻臚館跡出土水注ほか	377			377	—	『全国陶磁器フェア in 福岡2008』
144	D	NHK制作局	板付遺跡出土遺物ほか				0	—	学校デジタルライブラリー
145	D	国立歴史民俗博物館	雀居遺跡出土方形浅鉢ほか				0	—	展示パネル
146	D	個人	老司古墳出土鉄器				0	—	論文
147	B	福岡市文化財部		56			56	—	
148	D	小川光彦	唐泊発見磁石ほか				0	—	論文
149	D	(株)ベネッセコーポレーション	金隈遺跡甕棺遺構				0	—	通信教育教材
150	B	(株)新人物往来社	稲津遺跡出土鏡ほか	3			3	—	『歴史読本』2008年6月号
151	D	福岡市博物館 市史編纂室	博多遺跡出土動物遺存体ほか				0	—	市史研究 ふくおか 第3号
152	B	福岡市文化財部	寺島遺跡ほか	8			8	—	『図説 福岡・粕屋・宗像・糸島の歴史』
153	D	(有)海鳥社	板付遺跡ほか				0	—	『アクロス福岡文化誌2 ふるさとの食』
154	D	個人	雀居遺跡出土鏡				0	—	論文
155	D	(有)評価問題研究所	板付遺跡出土土器				0	—	社会科テスト
156	D	日本原子力文化振興財団	拾六町一丁遺跡出土土器				0	—	広報パンフレット

4. 入 館 者 数

(1) 入館者総数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)	
(日)		25	27	26	26	27	26	26	26	22	24	25	26	306		
人	個 一 般	男	233	218	254	167	213	202	138	125	161	163	182	181	2,237	56.6%
		女	123	94	131	105	80	60	96	56	55	43	113	66	1,022	25.9%
		小 計	356	312	385	272	293	262	234	181	216	206	295	247	3,259	82.5%
	学 生	小学生	28	96	139	29	45	7	2	0	9	2	23	14	394	10.0%
		中学生	8	9	8	8	8	2	0	0	5	6	0	1	55	1.4%
		高校生	0	0	2	0	7	0	0	1	0	0	1	1	12	0.3%
		大学生	4	4	14	8	33	20	18	7	16	8	26	8	166	4.2%
		その他	10	7	9	23	4	2	4	0	0	1	3	3	66	1.7%
		小 計	50	116	172	68	97	31	24	8	30	17	53	27	693	17.5%
	合 計(a)		406	428	557	340	390	293	258	189	246	223	348	274	3,952	100.0%
団 体	一般	221	327	375	145	62	364	412	169	168	59	229	145	2,676	76.5%	
	(団体数)	2	5	6	4	3	8	10	4	1	3		4	50		
	小学生	0	361	116	0	20	11	176	0	40	0	0	0	724	20.7%	
	(団体数)		4	1		4	1	3		1				14		
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	(団体数)													0		
	高校生	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0.1%	
	(団体数)						1							1		
	大学生	8	0	39	0	0	0	13	0	0	0	0	33	93	2.7%	
	(団体数)	1		2				1					2	6		
合 計(b)		229	688	530	145	82	379	601	169	208	59	229	178	3,497	100.0%	
(団体数計)		3	9	9	4	7	10	14	4	2	3	0	6	71		
総 計(a+b)		635	1,116	1,087	485	472	672	859	358	454	282	577	452	7,449		
出前授業		1413	2420	1851	87	0	123	321	0	0	27	0	28	6,270		
(学校数)		17	29	22	2	0	4	4			1		1	80		

(2) 個人入館者年齢区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	24	113	158	55	63	11	6	1	14	9	37	21	512	13.1%
20～29才	23	19	33	27	47	51	36	24	27	26	49	24	386	9.9%
30～39才	31	65	60	40	38	49	28	16	30	51	56	51	515	13.2%
40～49才	64	113	140	80	88	66	47	42	62	59	72	60	893	22.9%
50～59才	110	71	93	103	114	88	88	64	83	65	99	82	1,060	27.1%
60～69才	65	31	46	30	33	20	37	34	22	11	27	30	386	9.9%
70～79才	50	16	23	5	7	6	14	6	7	2	7	5	148	3.8%
80才以上	0	0	0	0	0	2	2	2	1	0	0	1	8	0.2%
計	367	428	553	340	390	293	258	189	246	223	347	274	3,908	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福 岡 市	257	311	485	236	244	160	139	132	158	151	240	164	2,677	67.7%
福 岡 県 内	125	86	49	54	71	63	48	24	46	50	56	57	729	18.4%
県 外	24	27	23	50	71	65	66	32	41	21	49	49	518	13.1%
国 外	0	4	0	0	4	5	5	1	1	1	3	4	28	0.7%
計	406	428	557	340	390	293	258	189	246	223	348	274	3,952	100.0%

(4) 年度別入場者の推移

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期計	合 計
平成17年度	605	850	612	380	592	385	481	547	223	265	416	748	3,424	6,104
平成18年度	724	1,209	922	557	498	653	580	609	585	408	288	622	4,563	7,655
平成19年度	635	1,116	1,087	485	472	672	859	358	454	282	577	452	4,467	7,449
開 館 日 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
(日)	25	27	26	26	27	26	26	26	22	24	25	26		
各月一日平均(人)	25.4	41.3	41.8	18.7	17.5	25.8	33.0	13.8	20.6	11.8	23.1	17.4		
H19年度累計(人)	635	1,751	2,838	3,323	3,795	4,467	5,326	5,684	6,138	6,420	6,997	7,449		
開館以来累計(人)	314,657	315,773	316,860	317,345	317,817	318,489	319,348	319,706	320,160	320,442	321,019	321,471		

5. 平成19年度当初予算

(1) 歳入

63,488千円（国補助金 7,140千円、使用料及び手数料 139千円、諸収入 409千円）

(2) 歳出

71,176千円（管理運営費 44,293千円、事業費 26,883千円）

Ⅱ 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

教育委員会－教育長－教育次長－文化財部長

文化財管理課	管理係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化施設の管理及び整備
	主査	やきもの歴史館・文化財資料室開設準備担当
文化財整備課	整備第1係	文化財の指定・保存・整備・活用
	整備第2係	福岡城跡及び鴻臚館跡の調査・整備
	主査	文化財調査等担当
	主任学芸主事	
埋蔵文化財第1課	調査係	第1・第2課の予算・決算、課の庶務、東部地区に係る埋蔵文化財の発掘及び保存
	事前調査係	公共及び民間開発事業の埋蔵文化財に係る事前調査
埋蔵文化財第2課	調査第1係	国庫補助事業総括、課の庶務、西部地区に係る埋蔵文化財の発掘調査及び保存
	調査第2係	九大移転地及び周辺部に係る埋蔵文化財の発掘調査
埋蔵文化財センター	運営係	施設の管理運営、考古学的資料の収集・保存・展示

(2) 埋蔵文化財センターの職員（平成19年度）

所 長 二宮 忠司	運 営 係 長 内田 寿生	文化財主事 瀧本 正志	嘱 託 片多 雅樹 (保存処理指導員) 柳田 純孝 (専門調査員)
		文化財主事 比佐陽一郎	
	主任文化財主事 荒牧 宏行	文化財主事 田上勇一郎	

2. 施 設

(1) 施設の概要

当センターは敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建（建設面積1,015㎡、延床面積1,992㎡）の規模で昭和57年2月開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を主とした増築（建設面積1,000㎡、延床面積1,994㎡）を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。

(2) 施設の紹介

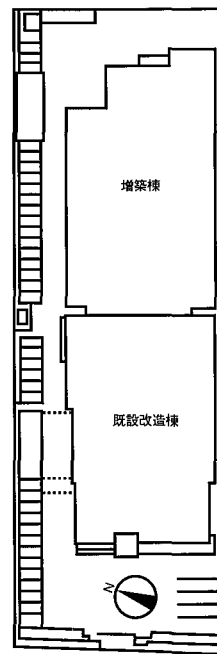
ホームページ（<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>）には施設概要のほか前年度の事業実績、年度毎の保存処理の具体例、収蔵遺物などを掲載している。平成19年度にトップページの更新などリニューアルした。



(2) 主な施設

施設区分	室 名	床面積 (㎡)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収 蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

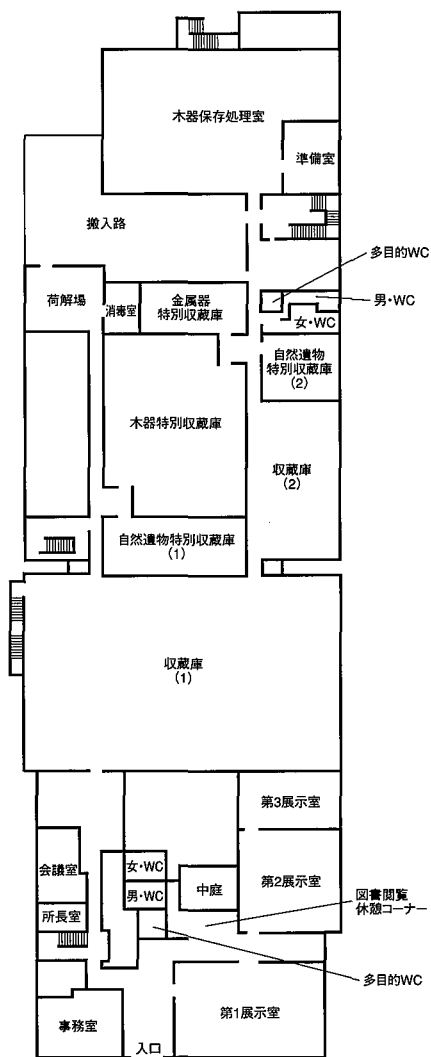
施設区分	室 名	床面積(㎡)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室（光学機器室）	154.00
資料整理	洗淨室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管 理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
	その他	505.00
計		10,713.00



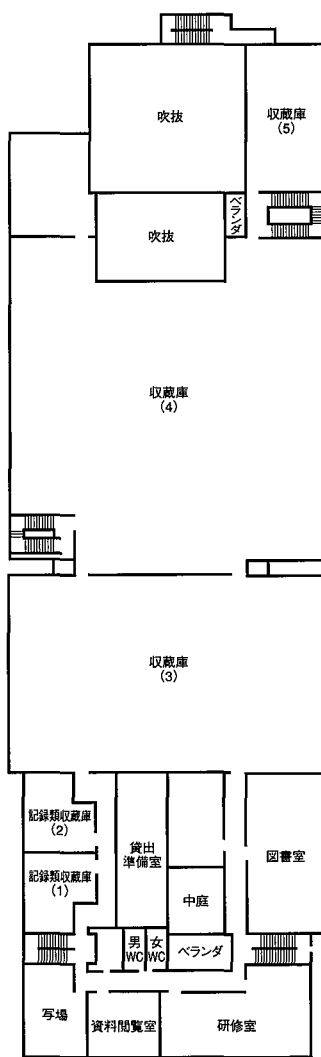
建物配置図 ▶

正面入口

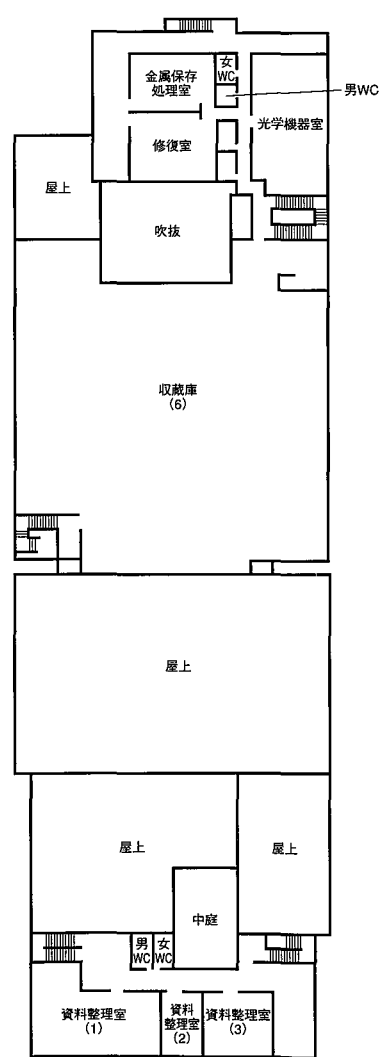
▼ 施設平面図



〔1 階〕



〔2 階〕



〔3 階〕

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日
条例第66条)

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料（以下「資料」という。）の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号いずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者

- (2) センターの管理上支障があると認められる者（資料の貸出し）

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

- 2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき事由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(昭和57年教規則第3号により
昭和57年2月22日から施行)

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和57年1月25日
教育委員会規則第4号)

改正 昭和61年一教規則2、平成3年一教規則7、
平成4年一教規則3、平成11年一教規則1

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例（昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）の事務を行うため、センターに運営係を置く。

(職員)

第3条 センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

- 2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

- 3 所長、係長、主任文化財主事及び文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

- 4 係長又は主任文化財主事のうちから総括係長を命ずることができる。

- 5 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

- 6 主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

- 7 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する

事務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

- 2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化財部長が行う。

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日

- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らねばならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は

火気を使用しないこと。

- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
 - (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
 - (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
 - (5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。
- (貸出し)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出しなければならない。

- 2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書(様式第2号)を交付して行う。

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

- 2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記要件を満たすものであることを原則とする。

- (1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。
- (2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2. その他の許可基準

- (1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。
- (2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。
- (3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。
- (4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。
- (5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。
- (6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。
- (7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合

合は、使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別紙一覧表の通りとする。

4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙) *主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式ミクロトーム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回析装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアーガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取り扱い要項

(目的)

第1 この要領は、教育委員会文化財部埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例第11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次の通りとする。なお、手数料については利用者が見

やすいところに掲示するものとする。

- (1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 平成19年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書・年報一覧

- 970集 麦野C遺跡5～麦野C遺跡第12次調査報告～(調査番号0746)
 971集 有田・小田部45(調査番号7829)
 972集 飯倉F遺跡～飯倉F遺跡群第4次・第5次調査報告～(調査番号0607・0649)
 973集 井尻B遺跡17～井尻B遺跡第26次調査報告書～(調査番号0629)
 974集 井尻B遺跡18～井尻B遺跡群第28次調査報告～(調査番号0658)
 975集 井相田C遺跡6～井相田C遺跡第7次調査報告～(調査番号0608)
 976集 蒲田部木原遺跡8～蒲田部木原遺跡群第10次調査報告書～(調査番号0556)
 977集 蒲田部木原遺跡9～蒲田部木原遺跡第11次調査報告書～(調査番号0640)
 978集 五十川遺跡4～五十川遺跡群第15次調査報告～(調査番号0610)
 979集 重留村下遺跡4～重留村下遺跡群第5次調査報告～(調査番号0621)
 980集 戸切遺跡1～戸切遺跡群第2次調査報告～(調査番号0605)
 981集 那珂48～那珂遺跡群第112次調査の報告～(調査番号0602)
 982集 那珂49～那珂遺跡群第113次調査の報告～(調査番号0618)
 983集 那珂50～那珂遺跡群第115次調査の報告～(調査番号0661)
 984集 西新町遺跡10～第19次調査報告～(調査番号0632)
 985集 西新町遺跡11～第21次調査報告～(調査番号0643)
 986集 野多目B遺跡2～野多目B遺跡群第2次調査報告～(調査番号0653)
 987集 野芥遺跡5～野芥遺跡群第12次調査報告～(調査番号0360)
 988集 博多118～博多遺跡群第157次調査報告～(調査番号0560)
 989集 博多119～博多遺跡群第158次調査報告～(調査番号0564)
 990集 博多120～博多遺跡群第160次調査報告～(調査番号0601)
 991集 博多121～博多遺跡群第163次調査報告～(調査番号0623)
 992集 博多122～博多遺跡群第164次調査報告～(調査番号0639)
 993集 博多123～博多遺跡群第165次調査報告～(調査番号0642)
 994集 博多124～博多遺跡群第167次調査報告～(調査番号0647)
 995集 博多125～博多遺跡群第168次調査報告～(調査番号0656)
 996集 箱崎32～箱崎遺跡第53次調査～(調査番号0648)
 997集 箱崎33～箱崎遺跡第52次調査の報告～(調査番号0626)
 998集 箱崎34～箱崎遺跡第54次調査報告～(調査番号0650)
 999集 箱崎35～箱崎遺跡第57次調査報告～(調査番号0671)
 1000集 比恵50～比恵遺跡群第106次調査報告～(調査番号0622)
 1001集 比恵51～比恵遺跡群第107次調査報告～(調査番号0628)
 1002集 比恵52～比恵遺跡群第109次調査報告～(調査番号0644)
 1003集 比恵53～比恵遺跡群第110次調査報告～(調査番号0645)
 1004集 比恵54～比恵遺跡群第111次調査報告～(調査番号0666)
 1005集 福岡城15～城内整備に伴う確認調査および中堀の緊急調査報告(福岡城跡第24次・33次・34次・40次, 福岡城外堀(中堀), 福岡城跡第46次)(調査番号9353・9561・9617・9751・0064)
 1006集 福重稲木遺跡2～福重稲木遺跡第1次・第2次調査報告～(調査番号7723・0344)
 1007集 南八幡遺跡群8～南八幡遺跡群第15次調査～(調査番号0630)
 1008集 三宅B遺跡1～三宅B遺跡第1次調査報告～(調査番号0606)
 1009集 今宿五郎江7～今宿五郎江遺跡第10次調査報告(1)～(調査番号0420)
 1010集 女原3～第6次調査の報告～(調査番号0625)
 1011集 元岡・桑原遺跡群11～第23・30・36次調査～九州大学総合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書(調査番号0019・0240・0341)
 1012集 元岡・桑原遺跡群12～第7次調査報告～九州大学総合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書(調査番号9813)
 1013集 元岡・桑原遺跡群13～第20次調査報告2～九州大学総合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書(調査番号0001)
 1014集 弥永原6～弥永原遺跡群第9次調査～(調査番号0603)
 1015集 中南部9～大橋E遺跡第10次調査報告、横手遺跡群第1次調査報告～(調査番号0366・0430)
 1016集 金武5～金武地区農村新興総合整備統合補助事業関係報告～城田遺跡第2次調査4・都地遺跡第6次調査・乙石遺跡第2次調査2・乙石遺跡第3次調査(調査番号0329・0547・0411・0567)
 1017集 吉武遺跡群21～金武園場整備事業に伴う吉武遺跡群第14次調査、大北遺跡第1次調査報告～(調査番号8838・8827)
 1018集 吉武遺跡群XX～飯盛吉武地区園場整備事業関係調査報告書14—総集編—(調査番号8102・8234・8335・8416・8518・8535・8650・8752・8838)
 1019集 五十川遺跡5～五十川遺跡第10次・11次調査の報告～市道御供所井尻線建設に伴う発掘調査報告書5(調査番号0229・0314)
 1020集 徳永古墳群5～徳永古墳群H群第4次調査報告書～(調査番号0222)
 1021集 那珂遺跡群51～第102次調査報告～(調査番号0454)

福岡市埋蔵文化財年報Vol. 21 —平成18(2006)年度版—

井尻B遺跡群29次(0668)、梅林遺跡8次(0624)、都地遺跡群7次(0667)、野芥遺跡群15次(0620)、博多遺跡群169次(0657)、羽根戸原B遺跡群2次(0635)、原遺跡群23次(0604)、福岡城跡58次(肥前堀)(0634)、麦野A遺跡17次(0619)

福岡市埋蔵文化財センター年報 第27号

2009年3月31日

発行 福岡市教育委員会

福岡市博多区井相田2-1-94

印刷 松影堂印刷株式会社

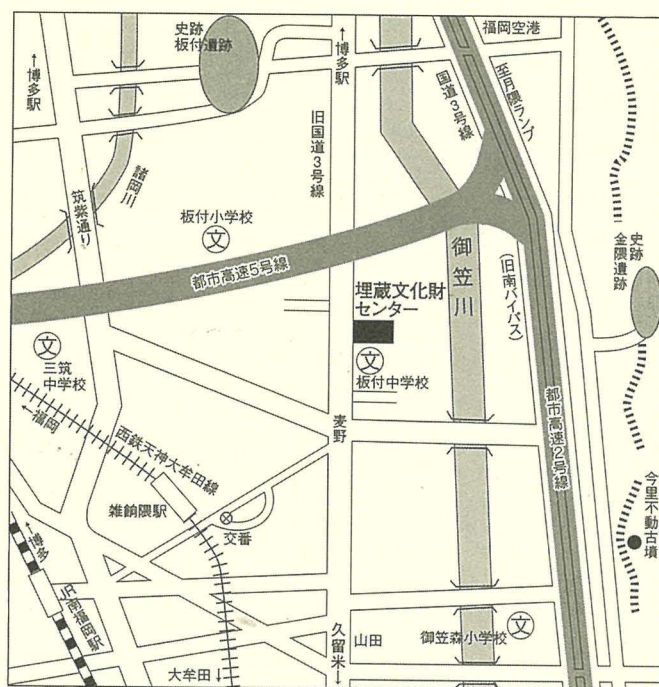
福岡市博多区吉塚5丁目13-40

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGY CENTER

Annual Report

No. 27

2008



福岡市埋蔵文化財センター

- 所在地** 福岡市博多区井相田2丁目1-94 (〒812-0881)
- 電話** (092) 571-2921 Fax. (092) 571-2825
- 開館時間** 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 毎週月曜日・年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料** 無料 (ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です)
- 交通手段**
- 西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅ざっしよのくまから徒歩15分
 - JR鹿児島本線 南福岡駅なんふくおかから徒歩25分
 - 西鉄バス 博多駅交通センターはくたから41番雑餉隈営業所行ざっしよのくまに乗車約30分
板付中学校前 (埋蔵文化財センター前) 下車すぐ

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/>